

いのち輝く未来を拓く

2025年日本国際博覧会に向けて

さらにその先の未来に向けて

第3回

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

2025.4.13_{sun} ~ 10.13_{mon}

開催報告

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

協賛 | <プラチナ協賛> 阪急電鉄(株) <ゴールド協賛> オムロン(株) / 岩井コスモ証券(株) / (株) 竹中工務店
<シルバー協賛> (株) 長谷工コーポレーション / (株) ユニオン

後援 | 京都府 / 京都市 / 経済産業省近畿経済産業局 / (一社) 関西経済同友会 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会
大阪商工会議所 / (公社) 関西経済連合会 / (公社) 2025年日本国際博覧会協会

2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合 / (一社) 関西領事団
在名古屋カナダ領事館 / 中華人民共和国駐大阪総領事館 / 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
在大阪タイ王国総領事館 / 駐大阪大韓民国総領事館 / 在大阪フィリピン共和国総領事館
在大阪モンゴル国総領事館 / 在大阪・神戸インド総領事館 / オランダ王国大使館
在大阪インドネシア共和国総領事館 / 在大阪スイス領事館 / イタリア文化会館 - 大阪
在大阪ハンガリー領事館 / 在大阪・神戸米国籍領事館 / 英国総領事館 / 在京都フランス総領事館

特別協力 | 世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺 / 世界遺産 真言宗総本山 東寺 (教王護国寺)
本山 修験宗総本山 聖護院門跡 / 臨濟宗建仁寺派 大本山 建仁寺 / 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺
世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺 (西本願寺) / 世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺



Contents

第3回日本国際芸術祭 概要	002
第3回日本国際芸術祭 協賛・後援	004
第3回日本国際芸術祭 特別協力 寺院紹介	005
日本国際芸術祭 有識者委員会	007
第3回日本国際芸術祭 開催企画一覧	009
第3回日本国際芸術祭 主催者企画 龍谷山本願寺(西本願寺)	
第3回公式参加国共創サミット	011
第3回日本国際芸術祭サミット	014
第3回日本国際芸術祭 主催者企画 大阪・関西万博会場	
第3回日本国際芸術祭 大阪・関西万博展	017
第3回日本国際芸術祭 大阪・関西万博展 セミナー会場イベント	087
オープニングセレモニー	088
第6回京都ラウンドテーブル	091
世界とつながる”海の万博”講演会&祝賀コンサート	093
2025年日本国際博覧会 ジャパンデーパレード	100
高校生による未来共創・日本伝統芸能 EXPO	101
日本国際芸術祭 in EXPO 2025 ～ KAGURA ～	103
世界の文化の万博協奏：KURAGE Band Special	105
日本国際芸術祭 in EXPO 2025 ～ 吟剣詩舞で巡る日本の美 ～	107
日本国際芸術祭 ～政や EXPO	109
グローバルプレゼンテーション	111
ジェンダーデザインサミット	113
世界子育てサミット	116
第3回日本国際芸術祭 主催者協力企画	
大阪・関西万博未来型チャレンジショップ「月化粧 × うなぎパイ」	120
第3回日本国際芸術祭 主催者企画	
次世代リーダー育成事業 事業企画スペシャリスト養成講座 2025	121
特別体験プログラム企画	
～ 真言宗総本山 東寺(教王護国寺) / 天台宗総本山 比叡山延暦寺 ～	123
スーパーヨットで大阪湾～せとうちを結ぶ社会実証実験	125
第3回日本国際芸術祭 連携企画	127
会場マップ	150
今後に向けて (ご挨拶)	151

「2025年日本国際博覧会」をメイン会場として開催
最高峰の「日本の美と心」を世界に伝え、未来を創る「日本国際芸術祭」



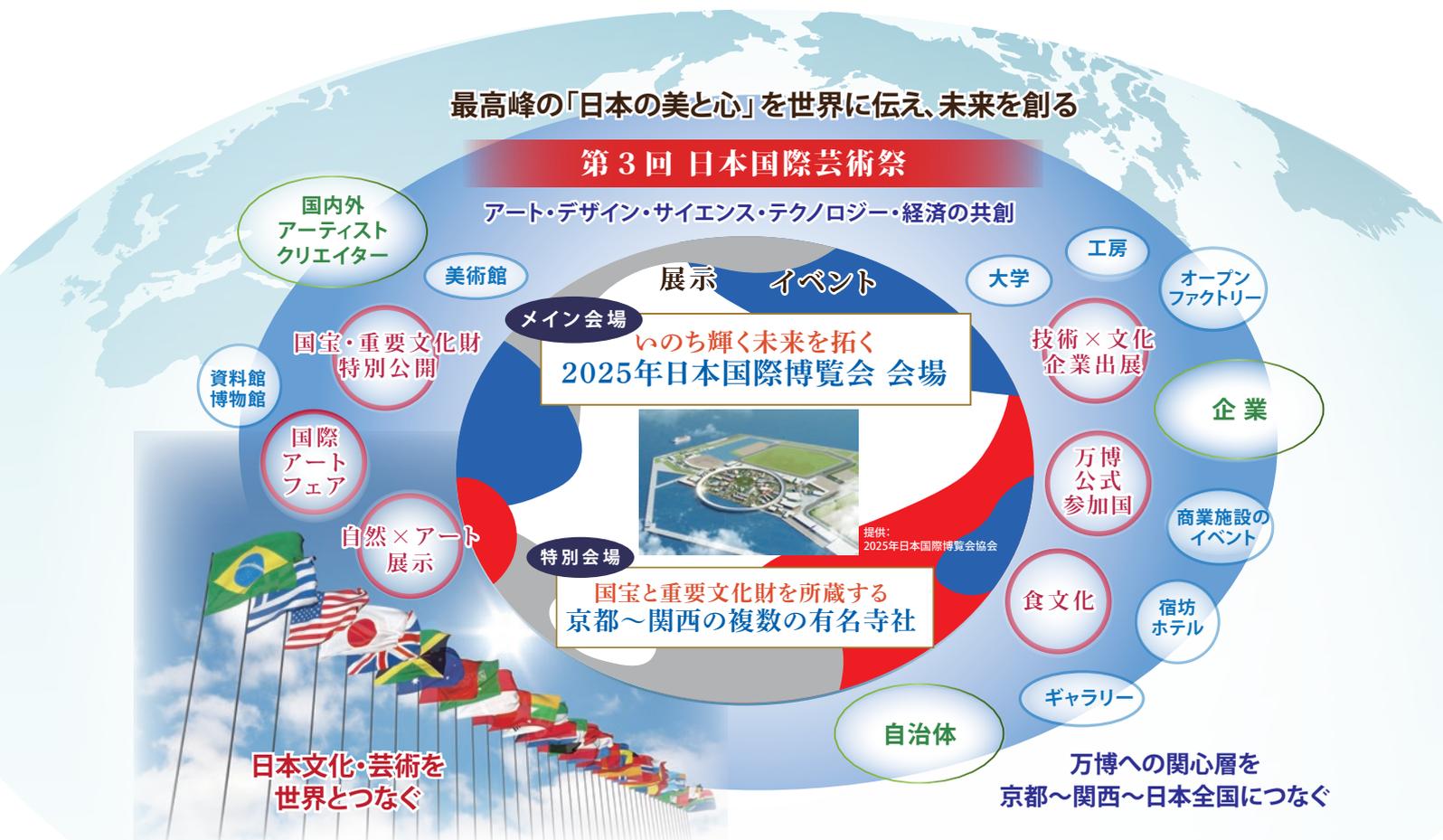
第3回 日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝)

「日本国際芸術祭」は「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創～日本の美と心を世界に伝え、未来を創る」をミッションに、千年の都・文化首都京都を拠点に日本全国、世界が繋がっていくことを目指しています。「第3回日本国際芸術祭」は、2025年日本国際博覧会と同日程の4月13日(日)～10月13日(月・祝)、万博会場と会場外を繋ぎ、6か月間開催致しました。万博会場では「EXPO メッセ」「ポップアップステージ南・北」「ウーマンズパビリオン」等複数の会場で、産学公の共創事業を繰り広げ、メインサミットの「公式参加国共創サミット」と「日本国際芸術祭サミット」を世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺(西本願寺)様で開催。更には「文化芸術×科学技術×経済産業の共創が未来を拓く」のミッションに賛同される大阪～関西～全国を繋ぎ、美術館、博物館、企業、大学、団体等に連携頂く連携企画を展開致しました。

「日本国際芸術祭」は、大阪・関西万博の成功を更なる発展に繋げ、2026年、2027年と毎年継続し、文化首都「京都」から「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創と日本の最高の美と心」を世界に発信してまいります。



2025年日本国際博覧会会場をメイン会場に、特別会場である京都の有名寺社、さらに関西～全国の連携企画会場をネットワーク

**主催者
協力企画**

大阪・関西万博
未来型
チャレンジショップ



美術館・画廊・工房

アート展・展示会
など

主催者企画

メイン会場

いのち輝く未来を拓く
2025年日本国際博覧会 会場

日本のナショナルデー「ジャパンデー」を含む日程で開催



提供: 2025年日本国際博覧会協会

EXPO メッセ「WASSE」 ポップアップステージ 北
ポップアップステージ 南 ウーマンズ パビリオン



万博会場で
世界とつながる

伝統／テクノロジー／観光／精神文化／医療／SDG s
芸術／文化／Well-being／地域産業

特別会場

国宝と重要文化財を所蔵する
京都の有名寺社



芸術祭サミット、公式参加国共創サミット

連携企画



自治体・企業
商業施設

フェア・イベント など



研究所・大学研究室

セミナー・講座
ワークショップなど



ライブ・イベント・祭

京都府、京都市及び大阪府、奈良県、兵庫県など関西圏のみならず
日本全国に拡大

第3回

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

開催期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝)

主催 (一社)夢洲新産業・都市創造機構



協賛

プラチナ協賛

阪急電鉄株式会社



ゴールド協賛



オムロン株式会社



岩井コスモ証券株式会社



株式会社竹中工務店

シルバー協賛



株式会社長谷エコーポレーション



株式会社ユニオン

後援

京都府 / 京都市 / 経済産業省近畿経済産業局 / (一社)関西経済同友会 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会

大阪商工会議所 / (公社)関西経済連合会 / (公社)2025年日本国際博覧会協会 / (一社)関西領事団

2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合

在名古屋カナダ領事館 / 中華人民共和国駐大阪総領事館 / 在大阪タイ王国総領事館

在大阪モンゴル国総領事館 / 在大阪スイス領事館 / 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

駐大阪大韓民国総領事館 / 在大阪フィリピン共和国総領事館 / オランダ王国大使館

在大阪インドネシア共和国総領事館 / 在大阪・神戸インド総領事館

在大阪ハンガリー領事館 / 在大阪・神戸米国総領事館 / イタリア文化会館 - 大阪

英国総領事館 / 在京都フランス総領事館



第3回 日本国際芸術祭 特別協力

寺院紹介

第1回、第2回に続き、この度の「第3回日本国際芸術祭」でも多くの寺院様のご協力をいただきました。大阪・関西万博 EXPO メッセで開催しました「大阪・関西万博展」ではこちらにご紹介させていただく全ての寺院様にブースへご出展いただき、セミナー会場での実演やジャパNDERパレードにご協力下さった寺院様もいらっしゃいます。更に世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山本願寺（西本願寺）様では国宝の書院「対面所（鴻之間）」にて「第3回公式参加国共創サミット」「第3回日本国際芸術祭サミット」を開催させていただきました。「日本国際芸術祭」へのご厚情に篤く御礼申し上げます。

世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺

World Heritage Ninnaji

京都府京都市右京区御室大内33

<https://ninnaji.jp/>

仁和寺の歴史は仁和2年(886年)第58代光孝天皇によって「西山御願寺」と称する一寺の建立を發願されたことに始まる。翌年、光孝天皇は崩御されたため、第59代宇多天皇が先帝の遺志を継がれ、仁和4年(888年)に完成し、皇室出身者が仁和寺の代々住職(門跡)を務め、平安～鎌倉期には門跡寺院として最高の格式を保持した。昭和時代に入り、仁和寺は真言宗御室派の総本山となり、平成6年(1994年)には世界遺産に登録された。境内には五重塔や二王門など江戸時代に建立された建造物が並び、同時期に植えられた御室桜は4月中旬に見頃を迎え、建物と同様、当時と同じ姿を現在に伝える。



世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺)

World Heritage Toji

京都府京都府京都市南区九条町1番地

<https://toji.or.jp/>

真言宗総本山。延暦13年(794年)桓武天皇の平安京造営に際し、その2年後、国家鎮護のため羅城門の東に創建。弘仁14年(823年)嵯峨天皇より弘法大師空海に下賜された。講堂(重文)には大日如来を中心に国宝の五大明王など立体曼荼羅と呼ばれる21体の仏像が安置されている。金堂(国宝)は豊臣秀頼の再建で本尊の薬師三尊像(重文)を安置。御影堂(国宝)は、大師在世時の住房で、弘法大師像(国宝)と、大師念持仏の秘仏、不動明王像(国宝)を安置。五重塔(国宝)は徳川家光が再建、高さ55メートルで、わが国最高。平成6年(1994年)世界文化遺産に登録された。



本山修験宗総本山 聖護院門跡

Shogoin-Temple

京都府京都市左京区聖護院中町15

<https://www.shogoin.or.jp/>

寛治4年(1090年)、白河上皇の熊野御幸に先達を務めた増誉(ぞうよ)大僧正が寺院を賜り、「聖護院」と称したことに始まる。その当初から皇室と深い結びつきのあった聖護院では、出家された皇族や摂家の方がたびたび住職を務められた。このような寺は門跡(もんぜき)寺院と呼ばれ、日本国内でも数少ない格式高い寺院とされる。寺内には花鳥や賢人、また雄大な自然が描かれた貴重な金碧障壁画が数多く残され、京文化の美を感じることができる。聖護院は野山に分け入った修行を旨とする「修験道」を実践する本山修験宗の総本山でもあり、自然の中に仏の教えを観るといふ山伏の信仰を現代に伝えている。



臨済宗建仁寺派 大本山 建仁寺

Kenninji

京都府京都市東山区大和太路通四条下小松町 <https://www.kenninji.jp/>

臨済宗建仁寺派の大本山。建仁2年（1202年）栄西禪師が建立した京都最初の禅寺。室町時代には京都五山が制定され、その第3位として厚い保護を受け栄えた。勅使門と方丈は重要文化財であり、勅使門は銅板葺、切妻造りの四脚門で、扉に矢痕があるところから矢の根門とも呼ばれる。方丈は、柿葺、単層入母屋造で、慶長4年（1599年）に安芸の安国寺から移築され、方丈前には方丈庭園「大雄苑」がある。俵屋宗達作の風神雷神図（国宝）（展示は複製）が有名であり、法堂天井には畳108枚分の双龍図が平成14年（2002年）に完成した。



真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺

Mitera Sennyuji Temple

京都府京都市東山区泉涌寺山内町27 <https://mitera.org/>

真言宗泉涌寺派の総本山。諸宗兼学の道場として、壮麗な堂宇が蔓を連ね、幽閑脱俗の仙境、清浄無垢の法城となっている。天皇家から篤く信仰されたお寺であり、皇室との関連が深いため『御寺（みてら）』とも呼ばれる。名は、鎌倉初期に月輪大師俊苧（しゅんじょう）が宋の法式を取り入れて、大伽藍を営むことを志した際、敷地の一角から清水が湧き出たことから改称された。大門や仏殿、開山堂などが国の重要文化財に指定されており、心照殿には泉涌寺に伝わる開山大師の墨跡を始め、とくに歴代天皇の御尊影・御遺品ほか、仏画・経典・古文書など、国の重要文化財や府・市指定の文化財および未公開資料も多く収蔵している。



世界遺産 浄土真宗本願寺派

龍谷山本願寺（西本願寺）Nishi Hongwanji temple

京都府京都市下京区堀川通花屋町下本願寺門前町 <https://www.hongwanji.kyoto/>

浄土真宗本願寺派の本山。文永9年（1272年）宗祖・親鸞聖人の末娘覚信尼が京都の東山大谷に建立した廟堂に始まる。第3代覚如上人のときに本願寺と公称。第8代蓮如上人の尽力により大教団に発展。天正19年（1591年）豊臣秀吉が寺地を寄進、現在地に移った。慶長7年（1602年）本願寺は東西に分立。御影堂と阿弥陀堂はともに国宝。書院の庭園（特別名勝）は桃山文化を代表する枯山水様式。その他、わが国最古の能舞台である北能舞台、唐門など桃山文化を今に伝える国宝建造物を多数有している。美術工芸品では三十六人家集（国宝）などを所蔵。平成6年（1994年）世界文化遺産に登録された。



世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺

Hieizan Enryakuji

滋賀県大津市坂本本町4220 <https://www.hieizan.or.jp/>

延暦7年（788年）伝教大師最澄により開創された。国宝の本堂根本中堂（一乗止観院）は京の都の鬼門を護る鎮護国家の道場となっている。比叡山は日本仏教の母山とも称され、法然上人、親鸞聖人、良忍上人、一遍上人、真盛上人、栄西禪師、道元禪師、日蓮聖人など日本仏教の各宗の祖師がここで学び、あるいはここで出家得度している。また比叡山は、東には「天台薬師の池」と詠われた日本一の琵琶湖を眼下に望み、西には古都京都の町並を一望できる景勝の地でもある。このような美しい自然環境の中で、1200年の歴史と伝統が世界に高い評価をうけ、平成6年（1994年）には世界文化遺産に登録された。



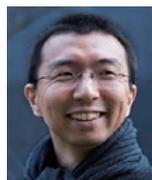
日本国際芸術祭 有識者委員会

(ご芳名五十音順) 2025.10月現在

日本国際芸術祭を継続開催していくに際し、クオリティの高い「日本国際芸術祭」に成長させていくために、2025年日本国際博覧会のプロデューサーの先生方をはじめ、関西経済界など経済界や大学・アカデミア等で文化芸術に造詣の深い著名な方々に有識者委員のご就任をお願いさせて頂き、ご指導、ご助言を賜る有識者委員会を設置させて頂いています。最新名簿は下記からご確認ください。<https://yumeshimakikou.org/jiaf-intellectual/>

日本国際芸術祭 有識者委員会

2025年日本国際博覧会プロデューサー



© David Wintner
藤本 壮介氏



石川 勝氏



石黒 浩氏



小山 薫堂氏



中島 さち子氏



© Shoji Kawamori / KENTA AMINAKA
河森 正治氏



小橋 賢児氏

+ 経済界や学界の著名な方々

- | | |
|---------|---|
| 池坊 専好氏 | 華道家元池坊 次期家元 |
| 石川 勝氏 | プランナー・プロデューサー、(公社) 2025年日本国際博覧会協会 会場運営プロデューサー |
| 石黒 浩氏 | 大阪大学 教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長
(公社) 2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー |
| 上村 多恵子氏 | 京南倉庫(株) 代表取締役社長 |
| 浮舟 邦彦氏 | 滋慶学園グループ 総長、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構 理事 |
| ウスビ・サコ氏 | 京都精華大学 元学長・名誉教授、東京都立大学法人 理事
(公社) 2025年日本国際博覧会協会 副会長・理事・シニアアドバイザー |
| 大塚 耕司氏 | 大阪公立大学 学長補佐 |
| 岡橋 達哉氏 | (株) 長谷エコーポレーション 副社長執行役員、(公財) リそなアジア・オセアニア財団 理事長 |
| 小川 理子氏 | パナソニック ホールディングス(株) 執行役員
渉外担当・ソリューションパートナー担当(兼) テクニクスブランド事業推進室長 |
| 河森 正治氏 | アニメーション監督・メカニックデザイナー・ビジョンクリエイター
(公社) 2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー |
| 喜多 隆氏 | 神戸大学 副学長 |
| 黒田 章裕氏 | コクヨ(株) 会長、大阪商工会議所 副会頭、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構 理事 |
| 小橋 賢児氏 | The Human Miracle(株) 代表取締役 兼 クリエイティブディレクター
(公社) 2025年日本国際博覧会協会 催事企画プロデューサー |
| 小山 薫堂氏 | 放送作家、京都芸術大学 副学長
(公社) 2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー |
| 齊藤 行巨氏 | 政治と経済研究所 代表、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構 監事 |
| 笹川 貴生氏 | 岩井コスモホールディングス(株) 代表取締役社長COO、岩井コスモ証券(株) 代表取締役社長COO |

澤 芳樹 氏	(一財)未来医療推進機構 理事長、大阪けいさつ病院 理事長、大阪大学 特任教授
澤井 宏文 氏	2025年日本国際博覧会とともに、地球の未来社会を創造する首長連合 会長、松原市長
芝井 敬司 氏	(学) 関西大学 理事長
鈴木 博之 氏	丸一鋼管(株) 代表取締役会長兼CEO
角南 篤 氏	(公財)笹川平和財団 理事長、昭和音楽大学 学長・昭和音楽大学短期大学部 学長
高橋 朋幸 氏	(株) 三菱総合研究所 執行役員
高橋 豊典 氏	オリックス(株) 執行役 グループ関西代表
田中 邦裕 氏	さくらインターネット(株) 代表取締役社長
田畑 利彦 氏	ジーライオングループ 代表
手代木 功 氏	塩野義製薬(株) 代表取締役会長兼社長CEO、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構 理事
堂目 卓生 氏	大阪大学 総長補佐 社会ソリューションイニシアティブ長
富森 浩治 氏	(一社)関西経済同友会 常任幹事 事務局長
鳥井 信吾 氏	サントリーホールディングス(株) 代表取締役副会長、大阪商工会議所 会頭 (一社)夢洲新産業・都市創造機構 理事
永井 靖二 氏	(株) 大林組 副社長執行役員、(一社) 関西経済同友会 代表幹事
中島 さち子 氏	ジャズピアニスト・数学研究者・STEAM教育家・メディアアーティスト (公社) 2025年日本国際博覧会協会 テーマ事業プロデューサー
仲谷 善雄 氏	(学) 立命館総長 立命館大学 学長
難波 正人 氏	(株) 竹中工務店 取締役 会長
橋爪 紳也 氏	大阪公立大学研究推進機構 特別教授、大阪公立大学 観光産業戦略研究所 所長
長谷川 祐子 氏	金沢21世紀美術館 前館長、東京藝術大学 名誉教授、総合地球環境学研究所 客員教授 国際文化会館 アート・デザイン ディレクター
廣瀬 茂夫 氏	語らいず 代表、(一社) 関西経済同友会 前常任幹事 事務局長
藤本 壮介 氏	建築家、(公社) 2025年日本国際博覧会協会 会場デザインプロデューサー
松村 到 氏	近畿大学 学長、近畿大学短期大学部 学長
三笠 裕司 氏	日本生命保険(相) 副会長執行役員、(一社) 関西経済同友会 代表幹事
宮田 喜一郎 氏	オムロン(株) 代表取締役 執行役員副社長
宮部 義幸 氏	(一社) 関西経済同友会 特別幹事(前代表幹事)、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構 理事
山極 壽一 氏	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 所長、理学博士
井垣 貴子	(株) 健康都市デザイン研究所 代表取締役社長、(一社) 夢洲新産業・都市創造機構 代表理事

主催者企画(16企画)

特別会場
開催
西本願寺

- 第3回公式参加国共創サミット
- 第3回日本国際芸術祭サミット
- 第3回日本国際芸術祭 大阪・関西万博展
- 第6回京都ラウンドテーブル
- 高校生による未来共創・日本伝統芸能 EXPO / 大阪高等学校・神戸市立神港橋高等学校・広島県立吉田高等学校
和歌山県立橋本高等学校・和太鼓政や・安芸高田神楽協議会
- 日本国際芸術祭 in EXPO 2025 ~ KAGURA ~ / 広島県安芸太田町合同神楽団
- 世界の文化の万博協奏：KURAGE Band Special / KURAGE BAND
- 日本国際芸術祭 in EXPO 2025 ~ 吟剣詩舞で巡る日本の美 ~ / (公財) 日本吟剣詩舞振興会
- 日本国際芸術祭 ~ 政や EXPO 2025 ~ / 政本憲一 × 和太鼓政や
- グローバルプレゼンテーション
- ジェンダーデザインサミット
- 世界子育てサミット
- 次世代リーダー育成事業 事業企画スペシャリスト養成講座 2025
- 特別体験プログラム企画 ~ 世界遺産 真言宗総本山 東寺 (教王護国寺) ~
- 特別体験プログラム企画 ~ 世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺 ~
- スーパーヨットで大阪湾~せとうちを結ぶ社会実証実験

大阪・関西万博会場開催

主催者協力企画(1企画)

- 大阪・関西万博未来型チャレンジショップ「月化粧 × うなぎパイ」 / (株) 青木松風庵・(有) 春華堂

連携企画(67企画)

- 描かれし京菓子 / (一財) ギルドハウス京菓子 / 京菓子資料館
- LIFE® いのち with スーパーキッズオーケストラ / (一社) Feel&Sense
- 春の京都 さくらと芸術鑑賞 / ユニオン (株)
- 常設展示 “マンガ” って何? / 京都国際マンガミュージアム
- 黒と白。時々 コハク色 展 / ART-M momo / SOT COFFEE
- 浮世絵 北斎と広重を西陣織で魅了する / 西陣織あさぎ美術館
- 常設展示 / 琵琶湖疏水記念館
- 中国青銅器の時代 / 泉屋博古館
- 帰ってきた泉屋博古館 いにしへの至宝たち / 泉屋博古館
- 続・帰ってきた泉屋博古館 近代の美術、もうひとつの在り方 / 泉屋博古館
- 生誕 151 年目の鹿子木孟郎 — 写実絵画の精髓 — / 泉屋博古館
- 戦後日本の博覧会—70 年万博から 55 年— / 吹田市立博物館
- 茶摘み体験 / お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
- 茶づなミュージアム + 茶臼から抹茶づくり体験 / お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
- The Rite of Spring~Lavrenty Bruni Exhibition in Kyoto 2025 / 白沙村荘 橋本関雪記念館
- 空港までの近さを活かし出国直前の隙間時間を思い出作り & 観光消費ヘラストミッツまで日本文化に触れ、日本を遊び尽くす(食べ尽くす)体験造成事業 / 阪南市役所 未来創生部 まちの活力創造課
- 2025 展示II「四条派ですが、実は— 詩情派。呉春」 / 逸翁美術館
- 2025 展示III「二次元刀剣物語 ~浮世絵をのぞいてみたら~」 / 逸翁美術館
- 2025 展示IV「あの作品に会いたい! ~推しの作品、紹介します~」 / 逸翁美術館
- 新野洋企画展「茶木化蝶」 / アートスペース福寿園
- 兵庫ゆかりの芸術家たち・県公館所蔵作品 / 兵庫県立円山川公苑美術館
- 子どもへの思い、女の愛 — シューマンのよろこび — / ミジカムジカ

連携企画

琳派展 2025 / 黎明教会資料研修館

ReimeiArt2025 夏季展 / 黎明教会資料研修館

在原業平 - 王朝文化と三十六歌仙 (仮) / 黎明教会資料研修館

万博・日本画繚乱 - 北斎、大観、そして翠石 - / 福田美術館・嵯峨嵐山文華館

改善美 - 美で社会を変革する - / 大阪大谷大学博物館

島山崇の写真 2 - 京都を切り撮る - / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

罫・髪飾りのかたちとデザイン / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

建築設計実習 IV 歴史グループ アーカイブズ課題 / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

建築アーカイブズをひらく Vol.3 / 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

企画展「新米子市ができるまで」 / 米子市立山陰歴史館

常設展 / 菘翁美術館

みんなでつくる歌の物語 - Global Harmony Way / スケールアウト (株)

小さきものの魅力〜装いと遊びの工芸品〜 / 高槻市立しろあと歴史館

たかつき発掘 - 遺跡が語る高槻の歴史 - / 高槻市立今城塚古代歴史館

大阪・関西万博記念事業「高田賢三展 パリに燃ゆ、永遠の革命児」 / 姫路市立美術館

洛宙 久遠〜KUON〜プロジェクト「感性・伝統・未来」展 / 洛宙 KANSEI アート展実行委員会

「シットリ心おちつく絵」展 / 笹倉鉄平ちいさな絵画館

「コンニチワ! 日本情緒みつけた」展 / 笹倉鉄平ちいさな絵画館

「フンワリ心ときめく絵」展 / 笹倉鉄平ちいさな絵画館

りんくう EXPO・まるかじり JAPAN / 泉佐野市 りんくうアイスパーク

京都中央信用金庫創立 85 周年記念所蔵品展 / 中信美術館

常設展示 / 帝塚山大学附属博物館

第 44 回特別展示 / 帝塚山大学附属博物館

市民大学講座 / 帝塚山大学東生駒キャンパス 1301 教室

笹部さくらコレクション「桜歌爛漫」 / 酒ミュージアム (白鹿記念酒造博物館)

日本の節句飾り〜正月の玩具と節句の人形飾り / 日本玩具博物館

子どもの晴れ着〜祝い着にみる招福のデザイン / 日本玩具博物館

「小枝繁昭 - 花のワンダーランド」展 / 西脇市岡之山美術館

「にしわき横尾忠則コレクション V」展 / 西脇市岡之山美術館

蓮月没後 150 年 鉄斎が敬慕した大田垣蓮月 / 鉄斎美術館

常設展示 / 季節の茶道具と美術工芸品 / 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館

初心者も楽しめる能公演 とくい能 / (公財) 山本能楽堂

山本能楽堂 特別開放 / (公財) 山本能楽堂

初心者のための上方伝統芸能ナイト / (公財) 山本能楽堂

松本ヒデオ ディテールの連鎖 / 中信美術館

特別展「獣脚類 2025〜『フクイ』から探る恐竜の進化〜」 / 福井県立恐竜博物館

未来国会 2025 関西 NPO1 大会 / NPO 法人ドットジェイピー

未来国会 2025 関西 NPO2 大会 / NPO 法人ドットジェイピー

未来国会 2025 関西 NPO3 大会 / NPO 法人ドットジェイピー

未来国会 2025 京都大会 / NPO 法人ドットジェイピー

未来国会 2025 大阪大会 / NPO 法人ドットジェイピー

Kaico - 参加型アートプロジェクト - 『音気楽団 (おんきがくだん)』 - 機 (はた) の妖精にきく -
/ 京都:Re-Search 実行委員会

ニュー・ブランシュ 京都 2025 / 京都市・関西日仏学館

第 37 回 濱田青陵賞授賞式・記念シンポジウム / 岸和田市教育委員会

きしわだ地車小屋めぐりウォーク 2025 / 岸和田市



6/17 TUE 13:00-16:20 第3回公式参加国共創サミット

会場 | 龍谷山本願寺(西本願寺)

これまで6回に亘り開催して参りました「公式参加国共創サミット/フォーラム」では、2025年日本国際博覧会・公式参加国の代表者や2025年日本国際博覧会協会・自治体・企業の代表をお迎えし、貴重な講演やパネルディスカッションを展開していただきました。「第3回日本国際芸術祭」のメイン企画として「第3回公式参加国共創サミット」を契機に、今後も世界の国々との多様な文化芸術・科学技術・経済の共創を推進して参ります。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

会場 | 世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺 (西本願寺) 書院「対面所(鴻之間)」(国宝)

ご登壇者

- 開会のご挨拶 ▶ 龍谷山 本願寺 執行長 藤貫 無極 氏
- ご挨拶 ▶ 在大阪・神戸インド総領事 チャンドル・アッパル 氏
- 政府代表 特命全権大使 (関西担当) 三澤 康 氏
- / 2025年日本国際博覧会政府代表代理
- 在大阪英国総領事 マイケル・ブライス 氏
- 在大阪ハンガリー領事館長 アンドラーシュ・ケレケシュ 氏
- 在大阪スイス領事館長 フェリックス・メスナー 博士
- イタリア文化会館 - 大阪 館長 アンドレア・ラオス 氏
- 大阪大学教授
- / 2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー 石黒 浩 氏
- 大阪商工会議所 副会頭 (株) 広瀬製作所 代表取締役社長 廣瀬 恭子 氏
- モデレーター ▶ (株) 三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸 氏

特別会場 龍谷山 本願寺 (西本願寺) 書院「対面所(鴻之間)」(国宝)

浄土真宗本願寺派の本山で、1994年に世界文化遺産に登録され、宗祖・親鸞聖人の自筆著述や影像などの法宝物、建造物をはじめ、宗教的、歴史的に価値の高い重要な文化財や、豪壮華麗な桃山文化を伝える 飛雲閣や対面所、白書院など数々の国宝を有しています。対面所(鴻之間)は、書院では最も規模の大きい広間で、ご門主との対面に使われ、上段正面の欄間に雲間を飛ぶ鴻の透かし彫りがあることからその名があります。



龍谷山 本願寺 執行長 藤貫 無極 氏



在大阪・神戸インド総領事 チャンドル・アッパル 氏



政府代表 特命全権大使(関西担当)
/2025年日本国際博覧会政府代表代理 三澤 康氏



在大阪英国総領事 マイケル・ブライス 氏



在大阪ハンガリー領事館長 アンドラーシュ・ケレケシュ 氏



在大阪スイス領事館長 フェリックス・メスナー 博士



イタリア文化会館-大阪 館長 アンドレア・ラオス 氏



大阪大学教授 /2025年日本国際博覧会
テーマ事業プロデューサー 石黒 浩 氏



大阪商工会議所 副会頭 (株) 広瀬製作所 代表取締役社長
廣瀬 恭子 氏



(株) 三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸 氏



集合写真



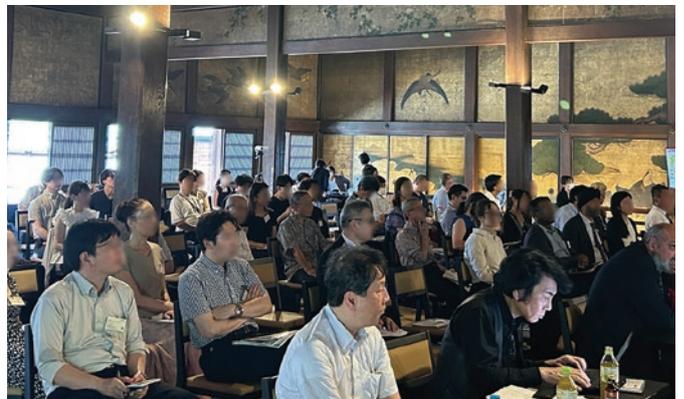
パネルディスカッション



パネルディスカッション



会場の模様



会場・西本願寺（虎之間）



会場・西本願寺（能舞台）



10/9 THU 11:30-15:20 第3回日本国際芸術祭サミット

会場 | 龍谷山本願寺(西本願寺)

「日本国際芸術祭サミット」は、「日本国際芸術祭」開催年の2023年に第1回、2024年に第2回を開催し、各界の著名な方々から貴重なご示唆とお導きを賜っております。大阪・関西万博の成功を更なる発展に繋げ、今後も文化首都「京都」から「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創と日本の最高の美と心」を世界に発信してまいります。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

会場 | 世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺 (西本願寺) 書院「対面所(鴻之間)」(国宝)

ご登壇者

- 開会のご挨拶 ▶ 浄土真宗本願寺派 総長 園城 義孝氏
- 来賓ご挨拶 ▶ 京都府知事 西脇 隆俊氏 / 京都市長 松井 孝治氏
- 文化庁長官 都倉 俊一氏
- 2025年日本国際博覧会協会 理事 小川 理子氏
- 2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 中島 さち子氏
- オンライン講演
- 2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー 石川 勝氏
- ビデオメッセージ
- 2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 石黒 浩氏
- 関西エアポート(株) 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之氏
- 2025年日本国際博覧会協会 副会長 池坊 専好氏
- 経済産業省 近畿経済産業局長 信谷 和重氏
- モデレーター ▶ (株) 三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸氏

特別会場 龍谷山 本願寺(西本願寺) 書院「対面所(鴻之間)」(国宝)

浄土真宗本願寺派の本山で、1994年に世界文化遺産に登録され、宗祖・親鸞聖人の自筆著述や影像などの法宝物、建造物をはじめ、宗教的、歴史的に価値の高い重要な文化財や、豪壮華麗な桃山文化を伝える 飛雲閣や対面所、白書院など数々の国宝を有しています。対面所(鴻之間)は、書院では最も規模の大きい広間で、ご門主との対面に使われ、上段正面の欄間に雲間を飛ぶ鴻の透かし彫りがあることからその名があります。



集合写真



浄土真宗本願寺派 総長 園城 義孝氏



京都府知事 西脇 隆俊氏



京都市長 松井 孝治氏



文化庁長官 都倉 俊一氏



2025年日本国際博覧会協会 理事 小川 理子氏



2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
中島 さち子氏



2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー
石川 勝氏 (オンライン)



2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
石黒 浩氏 (ビデオメッセージ)



関西エアポート(株) 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 氏



2025年日本国際博覧会協会 副会長 池坊 専好 氏



経済産業省 近畿経済産業局長 信谷 和重 氏



(株)三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸 氏



パネルディスカッション



会場の模様



7/3 ジャパンデー

7/2
WED

7/6
SUN

10:00-20:00
(最終日は12:00まで)



提供:2025年日本国際博覧会協会

第3回日本国際芸術祭 / 大阪・関西万博展 EXPO メッセ「WASSE」

日本の美と心が世界を繋ぐ「第3回日本国際芸術祭」
～アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創が、
いのち輝く未来を拓く～

2,000 m²の大催事場をメイン会場に、
最高峰の日本の美と心を世界に向けて発信致しました。

世界 158 か国・地域の人々が集う大阪・関西万博会場 大催事場である「EXPO
メッセ」にて、夢洲機構の主催による展示会を開催致しました。
古来からの伝統を今に伝える関西の7寺院様をはじめ、夢洲機構の会員企業様や自
治体・大学、国内・海外で活躍中のアーティストなど、計 54 団体が 106 ブースを展開。
大阪・関西万博のナショナルデー、なかでも最も注目の高いジャパンデーを含む 5
日間で 5 万人を超える来場者に、最高峰の日本の美と心をお届けしました。初日の
オープニングセレモニーを含め、多数のメディアでもご紹介いただきました。

2025.7.3 ジャパンデーとは

Japan Day

日本のナショナルデーのことで、
公式参加者の参加を称える日です。
公式参加者の文化に対する理解を深め、
国際親善の増進に寄与することを目的に、
当日は公式参加者が国内外の賓客や
一般の来場者を招いて行う式典と
文化イベントが行われます。

Mission
Value
場の位置づけ
催事テーマ

最高峰の日本の美と心を世界に伝え、未来を創る
いのち輝く Well-being な世界
世界からの来場者と共感する場
未来につなぐ文化芸術と経済社会との共創
Co-creating Art & Economy for the Future

54団体106ブースを4エリアにて出展

A
AREA

日本の最高の美と心

B
AREA

世界を繋ぎ、未来を創るアート

C
AREA

日本の地域の豊かな文化と自然の魅力
(観光 / ラグジュアリー・ツーリズム)

D
AREA

Well-being & SDGs+Beyond
いのち輝く未来社会



A
AREA

日本の最高の美と心

Japan's finest beauty and spirit



B
AREA

世界を繋ぎ、未来を創るアート

Art that connects the world and creates the future



C
AREA

日本の地域の豊かな文化と自然の魅力
(観光 / ラグジュアリー・ツーリズム)

*The rich culture and natural attractions
of Japan's regions*



D
AREA

Well-being & SDGs+Beyond
いのち輝く未来社会

*Well-being & SDGs+Beyond
Bright and vibrant future society*



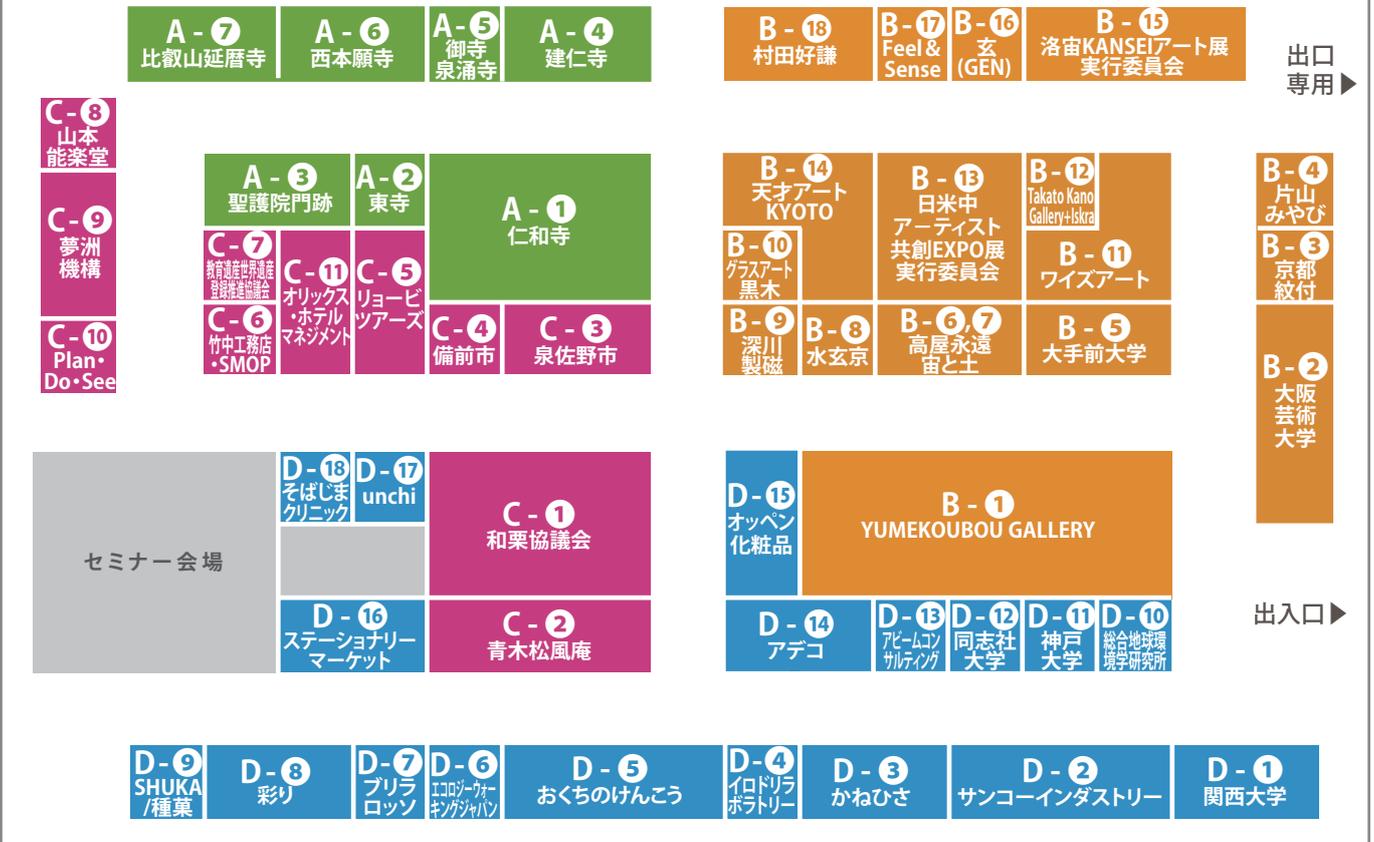
第3回日本国際芸術祭 / 大阪・関西万博展

EXPO メッセ「WASSE」会場レイアウト

7/3 ジャパンデー
7/2 WED
7/6 SUN

10:00-20:00
(最終日は12:00まで)

※法人格・敬称略



- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>A</p> <p>日本の最高の美と心</p> <ol style="list-style-type: none"> 仁和寺 東寺 聖護院門跡 建仁寺 御寺泉涌寺 西本願寺 比叡山延暦寺 | <p>B</p> <p>世界を繋ぎ、未来を創るアート</p> <ol style="list-style-type: none"> YUMEKOUBOU GALLERY 大阪芸術大学 株式会社京都紋付 片山みやび 大手前大学 高屋永遠 株式会社 宙と土 株式会社水玄京 深川製磁株式会社 株式会社グラスアート黒木 株式会社 ワイズアート Takato Kano Gallery + Iskra 日米中アーティスト共創 EXPO 展 実行委員会 天オアート KYOTO (特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構) 洛宙 KANSEI アート展実行委員会 玄 (GEN) 一般社団法人 Feel&Sense 村田好謙 | <p>C</p> <p>日本の地域の豊かな文化と自然の魅力 (観光/ラグジュアリー・ツーリズム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 一般社団法人和栗協議会 株式会社青木松風庵 泉佐野市 岡山県備前市 株式会社リョービツアーズ 株式会社竹中工務店・合同会社四国まちづくり & おもてなしプランニング (SMOP) 教育遺産世界遺産登録推進協議会 公益財団法人 山本能楽堂 一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 株式会社 Plan・Do・See オリックス・ホテルマネジメント 株式会社 | <p>D</p> <p>Well-being&SDGs+Beyond いのち輝く未来社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 関西大学 サンコーインダストリー株式会社 かねひさ株式会社 / KANEHISA CORPORATION イロドリラボラトリー 特定非営利活動法人 おくちのけんこう 一般社団法人 エコゾーウーキングジャパン プリラロッソ株式会社 彩り 有限会社斗六屋 (SHUKA/ 種菓) 総合地球環境学研究所 (地球研) 神戸大学 同志社大学 アビームコンサルティング株式会社 アデコ株式会社 オープン化粧品株式会社 株式会社ステーションナリーマーケット UNCHI 株式会社 医療法人再生会そばしまクリニック |
|---|---|--|--|

A - ② 世界遺産 真言宗総本山 東寺 (教王護国寺)



真言宗総本山。延暦13年(794年)桓武天皇の平安京造営に際し、その2年後、国家鎮護のため羅城門の東に創建。弘仁14年(823年)嵯峨天皇より弘法大師空海に下賜されました。講堂(重文)には大日如来を中心に国宝の五大明王など立体曼荼羅と呼ばれる21体の仏像が安置されています。金堂(国宝)は豊臣秀頼の再建で本尊の薬師三尊像(重文)を安置。御影堂(国宝)は、大師在世時の住房で、弘法大師像(国宝)と、大師念持仏の秘仏、不動明王像(国宝)を安置。五重塔(国宝)は徳川家光が再建、高さ55メートルで、わが国最高。平成6年(1994年)世界文化遺産に登録されました。



展示テーマ 日本最大の古塔 / 国宝である五重塔や東寺のご紹介

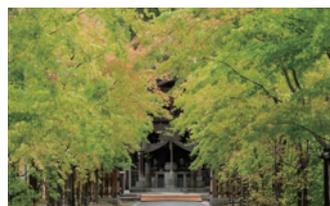
日本最大の国宝「五重塔」の断面図を基にした大きなイラストをシンボルに、その優れた耐震構造や歴史的価値をわかりやすくご紹介し、日本の伝統建築の魅力をお伝え致しました。また様々な角度から「立体曼荼羅」に迫る映像や、四季折々に表情を変える東寺の美しさを会場モニターにてご覧いただきました。さらに多言語で東寺を紹介するサイトや、五重塔以外の国宝もパネルでご紹介し、伝統と先端技術が響き合う展示に多くのご来場の皆様からご好評をいただきました。



A - ① 世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺



仁和寺の歴史は仁和2年(886年)第58代光孝天皇によって「西山御願寺」と称する一寺の建立を發願されたことに始まります。翌年、光孝天皇は崩御されたため、第59代宇多天皇が先帝の遺志を継がれ、仁和4年(888年)に完成し、皇室出身者が仁和寺の代々住職(門跡)を務め、平安～鎌倉期には門跡寺院として最高の格式を保持しました。昭和時代に入り、仁和寺は真言宗御室派の総本山となり、平成6年(1994年)には世界遺産に登録されました。境内には五重塔や二王門など江戸時代に建立された建造物が並び、同時期に植えられた御室桜は4月中旬に見頃を迎え、建物と同様、当時と同じ姿を現在に伝えます。



展示テーマ 仁和寺の過去・現在・未来 ～時を超えて継承される美と歴史～

①【過去コーナー】では、仁和寺が888年に創建されてからの歴史を年表やパネルで紹介。皇室との関係や応仁の乱を乗り越えて再建された伽藍のエピソードなど、仁和寺が歩んできた軌跡をわかりやすく展示しました。また、御室桜や独特の伽藍配置など、仁和寺の魅力も映像や写真で紹介しました。

②【現在コーナー】では、今も仁和寺に受け継がれる文化や活動を紹介しました。御室流華道の実際の生け花作品展示や、金剛流御詠歌に使われる法具の展示、音声による御詠歌体験がご好評をいただきました。また、春の御室桜、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季折々の仁和寺の姿や、国宝・重要文化財の写真も展示。さらに、裏山・成就山の自然や登拝文化についても紹介しました。

③【未来コーナー】では、最新技術を活用した体験型展示を行いました。国宝「薬師如来坐像」を3Dスキャンし、最新の3Dプリント技術で再現。実際に仏像のレプリカに触れ、その姿を感じていただくことができました。さらに、VRゴーグルを使って、万博会場から仁和寺へ“バーチャルトリップ”する体験も提供。通常は非公開の仏像や伽藍内部を仮想空間で拝観いただくことができました。受け継がれる祈りのかたちと、未来への展望をご体感いただける内容となりました。





A - 3 本山修験宗総本山 聖護院門跡



寛治4年(1090年)、白河上皇の熊野御幸に先達を務めた増誉(ぞうよ)大僧正が寺院を賜り、「聖護院」と称したことに始まります。その当初から皇室と深い結びつきのあった聖護院では、出家された皇族や摂家の方がたびたび住職を務められました。このような寺は門跡(もんぜき)寺院と呼ばれ、日本国内でも数少ない



格式高い寺院とされます。寺内には花鳥や賢人、また雄大な自然が描かれた貴重な金碧障壁画が数多く残され、京文化の美を感じることができます。聖護院は野山に分け入っての修行を旨とする「修験道」を実践する本山修験宗の総本山でもあり、自然の中に仏の教えを観るといふ山伏の信仰を現代に伝えています。

展示テーマ 本山派修験道

日本で古来隆盛してきた、「修験道」をご存じでしょうか。役行者(634～701)を開祖として、山岳信仰に仏教や神道・道教が融合して生まれた修験道は、平安から江戸時代にかけて日本の隅々まで広がり、人々への助けを通じて信仰の世界のみならず日本文化そのものに大きな影響を与えてきました。明治時代の弾圧により一度は下火となりましたが、今日も各地の修験道寺院において法儀は連綿と伝わり、霊山に身をしぼる昔ながらの山岳修行が営まれています。京都の聖護院門跡は、最古の修験道宗派である「本山派修験」の総本山として、今日まで役行者の法脈を伝えてきました。今回の会場では、聖護院の歴史や仏尊、法具、山中での修行風景などの展示を通じて、修験道世界の一端をご紹介します。修験道の興隆と受難、祈りを受ける仏の慈悲と叱咤、修行に身を投じる修験者(山伏)たちの横顔をご覧ください。今もなお巷間に生きる山伏の実像と、人々の心の中に流れ続ける修験の教えに触れていただく機会となりました。



A - ④ 臨済宗建仁寺派 大本山 建仁寺



臨済宗建仁寺派の大本山。建仁2年(1202年)栄西禅師が建立した京都最初の禅寺。室町時代には京都五山が制定され、その第3位として厚い保護を受け栄えました。勅使門と方丈は重要文化財であり、勅使門は銅板葺、切妻造りの四脚門で、扉に矢痕があるところから矢の根門とも呼ばれています。方丈は、柿葺、単層入母屋造で、慶長4年(1599年)に安芸の安国寺から移築され、方丈前には方丈



庭園「大雄苑」があります。俵屋宗達作の風神雷神図(国宝)(展示は複製)が有名であり、法堂天井には畳108枚分の双龍図が平成14年(2002年)に完成しました。

展示テーマ 京都最古の禅寺 建仁寺の至宝

建仁寺は建仁2年(1202年)将軍源頼家が寺域を寄進し栄西禅師を開山として宋国百丈山を模して建立された京都最古の禅寺です。

開山栄西禅師は日本における茶の文化を広めたことで「茶祖」として知られています。「風神雷神図屏風」は琳派の祖とされる俵屋宗達によって描かれました。本図には落款も印章もありませんが、俵屋宗達の真作として、しかも晩年の最高傑作とされており国宝に指定されています。二曲一双の屏風全面に金箔を押し、右隻に風神、左隻に雷神を描いています。会場にてご覧いただいた物は高精細複製品となり実物は京都国立博物館に寄託されております。



A - 5 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺



真言宗泉涌寺(せんにゅうじ)派の総本山。諸宗兼学の道場として、壮麗な堂宇が蒼を連ね、幽閑脱俗の仙境、清浄無垢の法城となっています。天皇家から篤く信仰されたお寺であり、皇室との関連が深いため『御寺(みでら)』とも呼ばれます。名は、鎌倉初期に月輪大師俊苧(しゅんじょう)が宋の法式を取り入れて、大伽藍を営むことを志した際、敷地の一角から清水が湧き出たことから改称されました。大門や仏殿、開山堂



などが国の重要文化財に指定されており、心照殿には泉涌寺に伝わる開山大師の墨跡を始め、とくに歴代天皇の御尊影・御遺品ほか、仏画・経典・古文書など、国の重要文化財や府・市指定の文化財および未公開資料も多く収蔵しています。

展示テーマ 未来へつなぐ 祈りの心(800年の時を超えて未来へ)

京都・東山に佇む泉涌寺は、皇室ゆかりの御寺として、800年にわたり静寂な

祈りの場であり続けてきました。本ブースでは、泉涌寺が歩んできた長い歴史とともに、そこに息づく「祈りのこころ」が、いまを生きる私たち、そしてこれからの未来とどうつながっていくのかをご紹介します。四季に彩られた美しい伽藍の風景や、受け継がれてきた法要・文化・建築のかたちを通じて、現代における「祈り」の意味や、心の静けさと向き合う大切さを体感していただける展示となりました。未来へ—祈りの心は、これからも人と人をつなぎ続けていきます。



A - 6 世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺（西本願寺）



浄土真宗本願寺派の本山。文永9年（1272年）宗祖・親鸞聖人の末娘覚信尼が京都の東山大谷に建立した廟堂に始まります。第3代覚如上人のときに本願寺と公称。第8代蓮如上人の尽力により大教団に発展。天正19年（1591年）豊臣秀吉が寺地を寄進、現在地に移りました。慶長7年（1602年）本願寺は東西に分立。御影堂と阿弥陀堂はともに国宝。書院の庭園（特別名勝）は桃山文化を代表する枯山水様式。その他、わが国最古の能舞台である北能舞台、唐門など桃山文化を今に伝える国宝建造物を多数有しています。美術工芸品では三十六人家集（国宝）などを所蔵。平成6年（1994年）世界文化遺産に登録されました。



御影堂は桃山文化を代表する枯山水様式。その他、わが国最古の能舞台である北能舞台、唐門など桃山文化を今に伝える国宝建造物を多数有しています。美術工芸品では三十六人家集（国宝）などを所蔵。平成6年（1994年）世界文化遺産に登録されました。

展示テーマ 誰もが、ただ、いていい場所。

世界最大級の木造建築物であり宗祖である親鸞（しんらん）聖人の像を安置した御影堂（国宝）と、阿弥陀如来像を安置した阿弥陀堂（国宝）、二つのお堂が並ぶお寺です。他にも飛雲閣・書院（国宝）など多数の国宝・重文がある本願寺の魅力の一端をご紹介します。お寺の名前にある“本願”とは、本尊である阿弥陀如来の「あらゆる人を救う」という願いのこと。

がんばっている人も、がんばるのが難しい人も、悩みのある人も、何かに後悔している人も。阿弥陀如来は、一人も取り残さずに救う仏さまです。その平等の救いは、誰もが入れる二つのお堂という、本願寺のあり方につながっています。お堂の中で、一人ひとりが、思い思いのほっとする時間を過ごしていただけるお寺でありたい。あらゆる人の一生に寄り添う、ひらかれたお寺でありたい。私たちはそう思っています。



A - ⑦ 世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺



延暦7年(788年)伝教大師最澄により開創。国宝の本堂根本中堂(一乗止観院)は京の都の鬼門を護る鎮護国家の道場となっています。比叡山は日本仏教の母山とも称され、法然上人、親鸞聖人、良忍上人、一遍上人、真盛上人、栄西禅師、道元禅師、日蓮聖人など日本仏教の各宗の祖師がここで学び、あるいはここで出家得度しています。また比叡山は東には「天台薬師の池」と詠われた日本一の琵琶湖を眼下に望み、西には古都京都の町並を一望できる景勝の地でもあります。このような美しい自然環境の中で、1200年の歴史と伝統が世界に高い評価を受け、平成6年(1994年)には世界文化遺産に登録されました。



展示テーマ 1200年続く想いと文化、未来へ伝え残すもの

1200年前に伝教大師最澄によって開かれた比叡山延暦寺。本堂国宝根本中堂には「不滅の法灯」

が光り輝き、山全体が修行の霊山として多くの高僧を輩出してきました。1994年にはその歴史的価値から世界文化遺産にも登録されています。日本国際芸術祭では、未来へ伝え残すものとして、1200年間守り伝えてきた伝教大師最澄の想いの象徴である「不滅の法灯」のミニチュアを展示するとともに、重文聖観世音菩薩のタペストリーを前に写経ができるブースを設置、修行の一端を体感していただきました。また、文化財として残していかなければいけないものが多くある中、延暦寺では2016年から15年の期間をかけ国宝根本中堂の大改修を行っています。改修では、再建当時の姿を復元できるようさまざまな角度から検証が行われ、その様子の紹介映像を放映、また最新の技術をもって鮮やかな彩色を復元することができた彫刻のレプリカの展示、自身のスマートフォンを用い、ARやVR技術により実際の修理途中の根本中堂の様子や、改修が完成した姿を様々な方向から見ていただき、歴史的事業の様子を体験していただきました。



B - ① YUMEKOUBOU GALLERY



YUMEKOUBOU GALLERYは京都、香港、パリの3拠点のスペースで活動をしています。本店である京都店は祇園新門前通り、白川のほとりにひっそりと佇む築150年以上の歴史ある建物を拠点としています。この静謐な空間から、私たちは現代日本の美術・工芸における多様な表現を国内外へと発信し続けています。素材、技法、思想を越えた創造の可能性を追求し、伝統に根ざしながらも新たな挑戦を恐れない作家たちと共にこれからも歩んで参ります。

展示テーマ YUMEKOUBOU GALLERY Group Show "Timeless Dialogues"



石塚大介



古谷和也



リュ・ジェюн



四代 田辺竹雲斎



若杉聖子



中島麦



藤井蓮



加藤巍山



北浦雄大



西久松友花



藤井勘介



小野川直樹



本展は“Timeless Dialogues”と題し、陶、竹、漆、絵画など、多様な技法を携えた12名の現代作家が一堂に会す場となりました。それぞれの作品は、単独で完結するのではなく、過去と未来、東洋と西洋、自然と人工という重層的な対話を紡ぎました。“Timeless Dialogues”は、深い思索と静かな挑戦の場。かたちを通じて、時間を超え、人と人、文化と文化をつなぐ行為そのものです。出展作家には、石塚大介、小野川直樹、加藤巍山、北浦雄大、四代田辺竹雲斎、中島麦、西久松友花、藤井勘介、藤井蓮、古谷和也、リュ・ジェюн、若杉聖子といった多彩な顔ぶれが揃いました。彼らはそれぞれ、素材やモチーフへの鋭い感受性と独自の解釈をもって、時代や文化の境界を越える自由な表現を展開しています。個々の作品は、見る者に強い印象を与えると同時に、会場全体として「いま、この場所で、日本から何を発信できるのか」という共通の問いかけを生み出しました。それは、単なる作品の展示にとどまらず、文化的対話の場を創出する試みとなりました。多様性が声高に叫ばれる現代において、文化と表現の根を問い直すことは、未来を構想するための重要な出発点です。本展を通して、YUMEKOUBOU GALLERYは、芸術の持つ対話性、時間の可能性を、来場者一人ひとりの心に深く響かかたちで届けることができました。





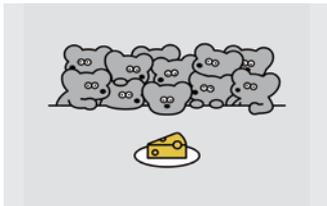
B - ② 大阪芸術大学

大阪芸術大学 新進気鋭アーティスト展



大阪芸術大学は美術、デザイン、工芸、写真、建築、映像、漫画、文芸、放送、舞台芸術、音楽、アートプロデュース、さらに最先端科学技術を使ったアート表現が学べる15の学科がひとつのキャンパスに集っています。学内外での作品展示や演奏会、舞台公演といった発表の機会が多彩で、企業や地域とのコラボによるさまざまな協働プロジェクトにも参加し、イベント企画や商品開発も実践しています。

展示テーマ **大阪芸術大学 新進気鋭アーティスト展** / 大阪芸術大学の卒業生 4組が出展しました。



松本 セイジ氏



茂本 ヒデキチ氏

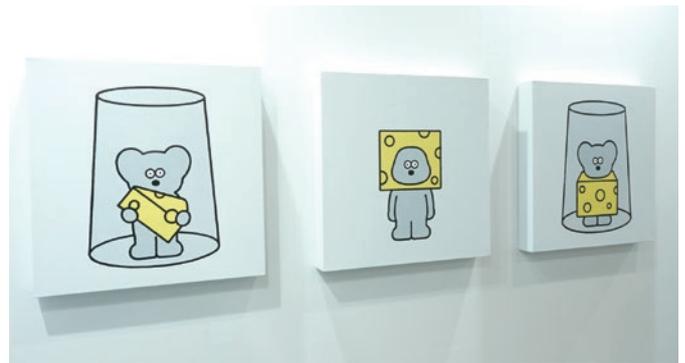
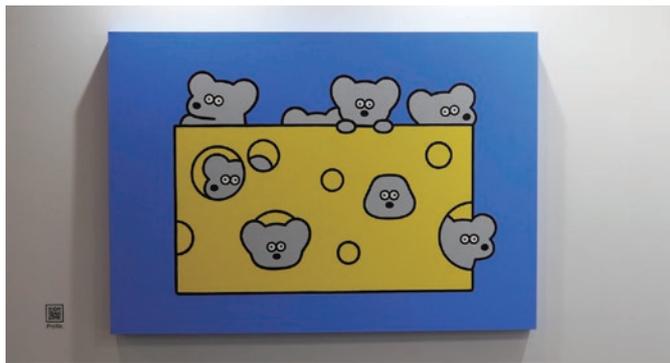


石塚 大介氏



THREE [スリー]





B - ③ 株式会社京都紋付



創業以来100年以上受け継がれてきた京黒紋付染めの技術を活かし、着物や洋服を深みのある黒色に染め上げる染色会社です。

またこちらの技術を活用し、消費者向けに着られなくなった衣類や汚れが目立つ衣類を黒染めによって蘇らせる衣類のアップサイクルサービスを展開しております。

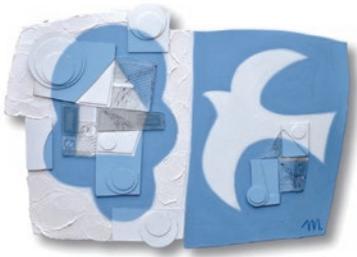
また企業には在庫品の染替による再販、アップサイクルを提案。黒染めによる再生は、衣類に新たな価値を与え、持続可能なファッションの実現にも貢献します。

展示テーマ KUROZOME REWEAR FROM KYOTO 「K」

KUROZOME REWEAR FROM KYOTO「K」は、京都紋付が100年以上にわたり培ってきた黒染めの技術を活かし、消費者が持っている汚れた衣類や色褪せた服を黒染めすることで再び着られるようにするサービスです。使われなくなった衣類に新たな命を吹き込み、黒染めの美しさを再発見します。このプロジェクトの核となる「深黒加工」は、繊維の奥深くまで染料を浸透させることで、漆黒の色合いを実現する京都紋付独自の技術です。また、アパレルブランド向けには、黒の美しさを最大限に引き出す染色提案を行い、ブランド価値の向上をサポートしています。会場では、色褪せた衣服もまるで新品のように生まれ変わる様子や、染まる素材と染まらない素材を使い分けることで、染色前後で2つの表情を楽しめる服をご提案しました。「K」は今後も、衣類への想いを未来へつなげる、新たな選択肢を提供します。



B - ④ 片山みやび



片山みやびは、主にガラスフュージングという技法を使ったガラス作品などを制作しています。人間は、自然や周りにある全てのものと共存し生かされていることを、身近なモチーフを使って表現しています。その唯一無二な表現は、見る人々にエネルギーや癒しを与え続けています。

展示テーマ アーティスト片山みやびの世界

アーティスト片山みやびの世界をご覧いただきました。今回の展示では、独自の手法で制作されたガラスレリーフ作品、絵画とガラスを融合させた作品など、また身につけられるオリジナルデザインのガラスアクセサリーなども展示いたしました。



B - 5 大手前大学



本学は2026年開学60年を迎えます。大阪大手前、夙川の2キャンパスに、国際日本、建築&芸術、現代社会、健康栄養、国際看護、経営学部を配置し、2027年度には情報学部(仮称)を設置構想中で中規模総合大学の強みを生かした学びをさらに進化させます。建学の精神は「STUDY FOR LIFE」(生涯にわたる、人生のための学び)であり、「一人ひとりの人生のウェルビーイング」を実現する人材を「胸を打つ教育」で育成します。

展示テーマ 最も高貴な色「紫」を再現

古代から未来に繋がる いまふくふみよ 自然の色彩の世界

紫草の根は「紫根」と呼ばれ、古代から最も高貴な色「紫」を染める染料として、貴重なものでした。大手前大学では植物染料研究者であり美術家でもある建築&芸術学部 いまふくふみよ教授と国際日本学部の考古学者 森下章司教授が福井大学 東村純子准教授と共同研究で古代の紫染色再現実験を4年かけて実施しました。会場では、樺を灰にして媒染を80回繰り返し、日本産紫根で染めた「濃紫」の生地と、そのプロセスを展示しました。また、今回展示している着物は、その研究を基に、古代の染色方法で2024年京丹後市にて大手前大学の学生や子どもたちと共に染色した紫です。会場では植物の色で染めた舟を浮かべました。古代、染色文化は舟で大陸から伝えられました。時を超え、未来や過去、人と自然、人と人、文化と文化が互いに影響し合って繋がる。植物の種子は海や川を流れて、新天地で芽吹く。当日は自然の色彩でインスタレーションした研究と作品の世界をお楽しみいただきました。

いまふくふみよ 1989年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。現在、大手前大学建築&芸術学部教授。主に天然染料の研究及び、作品を制作する研究者であり美術家。古代の最も高貴な色「紫」の研究者。1989年ローザンヌビエンナーレ(スイス)入選、その後、国内外で作品を発表。京都、大阪中心に個展、グループ展多数。2024年兵庫県学術教育功労者受賞。



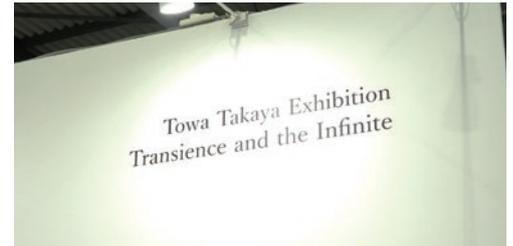
B - 6 高屋永遠



1992年東京都生まれ。ロンドン大学ゴールドスミス校を卒業後、現在東京を拠点に活動。国内外の土地や植物、化粧原料などから自作した色材を用いて作品を制作します。繊細な色のスペクトラムの探求と豊かな階調が織りなす独自の奥行きは、鑑賞者を日常から切り離された精神の空間へと誘います。2019年より、アーティストや美術分野で活動する個人の交流を目的としたプロジェクト WHYNOTを主宰。継続的に、美術を通じた連帯とコミュニティ形成に取り組んでいます。

展示テーマ 高屋永遠展 流転と無限

美術家・高屋永遠による瞑想的で没入感のある新たな絵画作品の展示を行いました。神秘的な色彩と移ろいゆくような揺らぎを特徴とした独特の絵画空間と、その鑑賞体験の創出は国内外で評価されています。伝統的な西洋絵画技法と顔料を中心とした素材の研究に基づき、独自に生み出された技法によって現れる光の揺らぎは、私たちの心象と呼応し、この地球、あるいは宇宙の大いなる循環を呼び起こす体験となりました。



B - ⑦ 株式会社 宙と土



地元目黒区祐天寺の再開発計画をきっかけに、地域の文化継承と若い世代の望む便利さ、暮らしやすさの共存を住民参加型で検討するプラットフォームの構築を初期目標として2019年より活動を開始。持続可能な世界の実現へ向けた課題に視座を持ち、個人で活動する、アーティスト、研究者（アート＆サイエンス分野）と、その活動サポートを行うメンバーで構成された「WHYNOT」というアーティストコレクティブを運営。社会への問いかけを実践する作家・研究者の発表の機会の創出、継続的に活動可能な環境作りを行っています。

展示テーマ やさしいくろとたゆたうあお

世界農業遺産に指定された能登の美しい里山里海のなかで育まれてきた珠洲焼。手仕事ならではのあたたかみが感じられ、使い込むほどに味わいが深まります。石川県指定の伝統工芸である珠洲焼は平安期から室町時代に六古窯と並び隆盛を極め、500年の時を経て再興されました。令和4年から続く三度の地震、とりわけ令和6年の地震では、域内のほぼ全ての窯が被災しました。度重なる大きな自然の力に向き合いながら今一步一步復活の道を歩みはじめています。珠洲の大地から掘り出された鉄分の多い珠洲土を長年熟成し創り上げられた造形美、「燻べ焼き」という独自の焼成技法で黒く焼き締められた素地の灰黒色の艶、高温で溶けた灰が自然釉となって創り出す一期一会の珠洲焼の世界。会場では現代に甦った古窯の魅力をご堪能いただきました。



B - ⑧ 株式会社水玄京



株式会社水玄京は、日本の伝統工芸をテーマに、映像を通じて世界とつながる活動を行っています。職人たちの静かで力強い手仕事の瞬間を映像で丁寧に記録・発信し、100万人を超える海外フォロワーと共鳴を生んできました。

展示テーマ **日本の工芸を世界へ**

本企画では、普段はなかなか触れることのできない工芸品に実際に手で触れ、その質感や重み、細やかな美意識を直接体験していただきました。映像と実物の双方を通じて、暮らしに息づく「日本の美意識」と、未来へと受け継がれる職人の想いを表現しました。



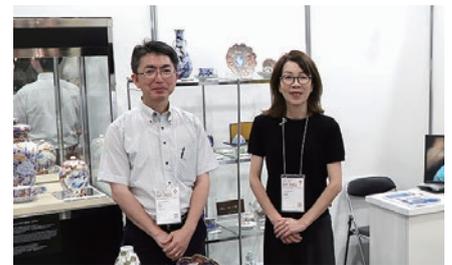
B - 9 深川製磁株式会社



有田の地で代々窯焚き業を営んできた深川忠次によって明治27年(1894)に設立された窯元 深川製磁。「世界一のやきものづくり」を目指した忠次は、有田の伝統的な技法に欧州から取り入れた先進技術を加え、日本の美感を表現した独自のデザインを追求します。また1350度の高温還元焼成に挑み、「フカガワブルー」と呼ばれる染付の澄んだ青、光にかざすと透けるほどの透白磁を生みだしました。パリを芸術の都として世界に印象付けるきっかけともなった1900年パリ万国博覧会に、高い装飾技術によってつくられた一対の大壺を出品して金牌を受賞。その後も各国の展覧会で賞を得て、世界にやきものの魅力を発信します。深川製磁の商標「富士に流水」には、100年以上前に忠次が求めた技と美感が、現在も脈々と息づいています。

展示テーマ 有田焼窯元 深川製磁

染付の澄んだ青「フカガワブルー」と光にかざすと透けるほどの透白磁



B - 10 株式会社グラスアート黒木

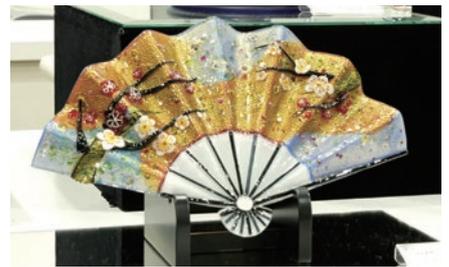


【グラスアート黒木】は、ガラスを通して近年薄れゆく日本の文化、歴史、伝統、装飾を、後世へ伝え残していきたいと考えています。日本の美「琳派」を念頭に制作をする国の卓越技術者「現代の名工」黒木国昭と、谷口榮を始めとする弟子たちで創り上げる宮崎県綾町にある工房の作品は、日本人の心を西洋の素材であるガラスに融合させ、国内外で高い評価を得ており、令和7年「綾ガラス」として宮崎県の伝統工芸品に認定されました。

展示テーマ 「ガラスで語る日本の美」

日本文化を西洋の素材のガラスに融合させ 色褪せず後世へ伝え残す伝道者

黒木国昭の代表作「光琳」の作品と、工房を構える綾町の照葉樹林から発想を得てカットデザインしたグラスアート黒木独自の「綾切子」などの作品を展示販売致しました。



B - 11 株式会社 ワイズアート



株式会社ワイズアートは、国内外のオールドマスターや現代アートの最前線を、展覧会の企画や作品販売を通じて発信する会社です。特に、若手作家の可能性を広げることに力を入れ、日本ではまだ出会うことの少ない多様な価値観や表現を積極的に取り上げることで、新たな視点やインスピレーションを提供する場を創出しています。アートの力で多様な感性が交差する豊かな文化の形成を目指していきます。

展示テーマ Energetic Movement



ジョンワン「Destiny」
アクリル 140×140cm



池内信介「Untitled 605」
アクリルミクストメディア 15p



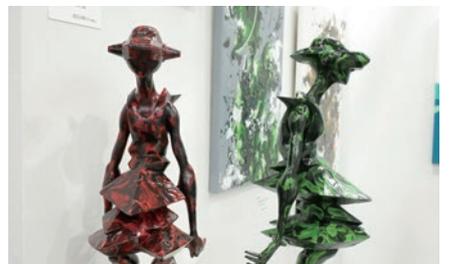
松田重仁「生命の樹」
樟 真鍮 H36×W17×D17cm



名古屋剛志「Energy Flow」
紙本彩色 10p

エネルギーの躍動をテーマに、「静と動」の緩急の中に生まれる、いのちの輝きを表現するアーティストたちをご紹介します。ジョンワンは、1963年、ニューヨーク生まれで、現在フランスで制作活動を行い、世界的に活躍するアーティストです。2015年に、フランスの国民議会にドラクロアの「民衆を導く自由の女神」にインスパイアされた作品「自由・平等・博愛」を制作し、レジオン・ド・ヌール勲章を授与されました。今年、仁川国際空港のアートパビリオンに大規模な壁画を発表。池内信介は、1984年福岡生まれで、現代アーティストとして精力的に活動。特殊樹脂や錫を用いたミクストメディア作品は、流動的な質感によって、生命の根源、エネルギーやその起源が拡大していく様を表現しています。松田重仁は1959年山形県に生まれ、木彫と真鍮の融合した彫刻作品を制作。日本各地にパブリックアートも多く発表しています。万物の生命の根源としての水をテーマに、いのちの輝きを表現。また、日本の精鋭作家11人により、多様な文化が共鳴し、未来への文化が創造される万博の地で、アートのチカラを再確認し、世界にむけて発信する作品群をご紹介します。





B - 13 日米中アーティスト共創 EXPO展実行委員会



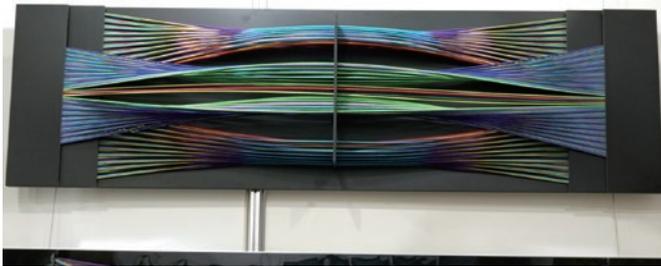
京都の歴史あるお寺での会場を見立てて、展覧会をしています。二条城の台所、建仁寺、泉涌寺、2025年9月21日～30日 清水寺の会場で日本の歴史ある美術建造物と現在の作家の作品（日本画、洋画、染色、立体造形、アートファイバー、写真、織物、陶器などの作品）を展示して過去から未来に向けた美術の展示会を開催して、京都から世界に向けて発信しました。今後も海外での展覧会も視野に入れて日本の伝統文化、精神、美術を広めたいと思います。

展示テーマ 日米中アーティスト共創 EXPO 展

人間の原点に返り”心の問” ”五感”をしっかりとらえて私たちは新しい芸術の創造に進んでいきたいと思います。日本独自の文化（絵画、能、和歌、文学、華道、禅、茶道、思想、etc.）などの精神性を過去から現在へそして未来に向かって紡ぎ、若い人たちへ継承していければと思います。今は海外にも日本の文化・精神に興味を持っている人が多いことが日本の文化を見直す良い機会になるとみています。社会情勢が刻々と変化し、また多様な価値観も存在する現在社会の中にあって今まさに経済を背景とした美術の存在を新しく見据える時期でもあると考えています。科学の発達、特ににIT、AIの進化でデジタル化された社会の地球規模での広がり私達に目だけでは見えない事、数値だけでは割り切れない事に心を向ける必要性を教えてください。海外作家の人達と新たな美術の創造発展に邁進するために日米中アーティストと展覧会を開催いたしました。



ジョリー・ジョンソン「私のひのまるシリーズ：イエロー」(中央)



草間 喆雄「Double Wing La」



坂部 隆芳「末法」



磯部茂亀「赫(かく)」



信ヶ原良和「踊ーI・II・III」



松原 昭俊「未来に続く黄金の道(ウクライナ・キーウ・聖ソフィア大聖堂)」(中央)



アナ・リサ・ヘドストラム「ORIGAMI FOLDS:PATTERNING PAPER YUKATA」



ブライアン・ウィリアムズ「琵琶湖展望日の出」



利茶土 ミルグリム



林乐成



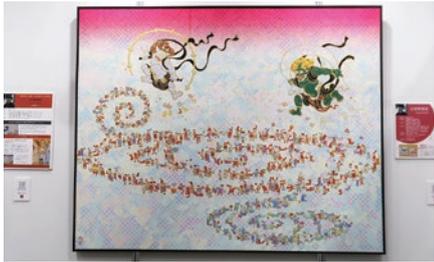
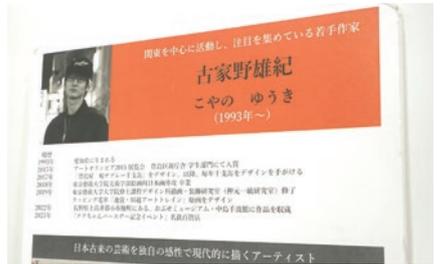
麻田 脩二「ならんで ならんで」

B - 12 Takato Kano Gallery + Iskra



タカト・カノウギャラリーは、古家野雄紀の《群像図》シリーズを通じ、日本文化の再定義と次世代への継承を試みます。岩絵具など日本画の伝統技法を基盤に、現代の感性と素材を取り入れた作品は、ポップで親しみやすく、若い世代にも広く支持されています。代表作《二重螺旋群像図》では、胎児の回転やDNA構造に見られる“螺旋”を生命の根源的なかたちとして捉え、無数のいのちが織りなす大きな螺旋として描き出します。人と人、時代と時代をつなぎながら、文化を未来へと紡いでいく本作は、見る者に日本美術の新たな可能性を提示します。豊島屋やデニーズとの企業コラボレーションにも展開されるなど、社会との接点も積極的に模索しています。

展示テーマ 二重螺旋群像図 いのちをつなぐ絵画のかたち



B - 16 玄 (GEN)



1997年生まれ、大阪出身の画家。“アートは世界を救う”を信念に活動。貧しい地域の家の壁や屋根、道路にペイントし、アートであふれる街「アート街」として観光地化するプロジェクトを主導しているほか、海外の子どもたちへのアート授業や内装デザイン、ホテルルームのデザインも手がけています。全国各地で展示会を開催しながら、現在はフィリピンやネパールを拠点とし、世界各地でのアートプロジェクトも視野に活動しています。

展示テーマ アート街プロジェクト in 万博

"アートは世界を救う"という理念の基 活動をする画家 玄(GEN)によるネパールやフィリピンのセブ島の貧困地域やスラム街で実施する地域の課題解決及び活性化を目的とする、家の壁や屋根や道にアートを施すアート街プロジェクト。その世界観を体感して頂けるような、そしてこれまで目の当たりにしてきたネパールやフィリピンの貧困地域やスラム街での光景を皆様に感じて頂く事が出来るような、アートハウスを日々 玄(GEN)が共に活動する仲間達と共同制作をして発表しました。"明るい未来"は一人だけでは決して実現する事が出来ない、今を生きる私達で力を合わせて構築していく様子・想いを本企画で体現。当日はアートハウスの発表だけでなく、作品の展示販売・グッズ販売も行いました。



B - 14 天才アート KYOTO (特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構)



天才アートKYOTOは、京都の一部の総合支援学校で取り組んでいた、美術を深く楽しむ、指導をしない創作の授業を継承。こうしたチカラが消えてしまう前に、新しい社会参加のカタチを生み出す場所(アトリエ)を確保し、作品、そのアーカイブ化、デザイン化による作家の自己実現をめざしています。個々の作品をはじめとする創作活動を推進し、アーティスト活動への支援と共に、さまざまな事業や取り組みの推進・研究のための活動を展開しています。

展示テーマ 天才アートEXPO展

NPO法人障害者芸術推進研究機構(通称:天才アートKYOTO)は、専門的な美術教育を受けることなく独自の表現活動を行っているアーティストに創作の場を提供し、あふれる才能をのびのびと生かせるように支援活動を行っています。本展では所属アーティストの中から選抜した大場多知子・木下アラン海・足立茉莉・石原寛子・三津田一輝ほかの作品を出展いたしました。大場は日常の中で見つけた「面白い、美しい、印象に残った」と感じたものを日本画の要素を取り入れて表現しています。木下は画用紙にクレパス1箱を腕全体を動かしながら刷り込むようにして描きます。描き出された作品にはクレパスの破片がこびり付き、彼自身の持つ「生命」すらも塗り込まれているかのように強烈なエネルギーを放ちます。さらに、渦巻きを描き続ける足立茉莉作品、セロハンテープを丸めて制作する石原寛子作品、三津田のユーモラスにデフォルメされた作品は観る者の心を掴みます。会場では作家独自の作品世界をお楽しみいただくと共に、普段はご覧いただけないアーティストがアトリエで制作に励む姿をとらえた動画映像も上映いたしました。





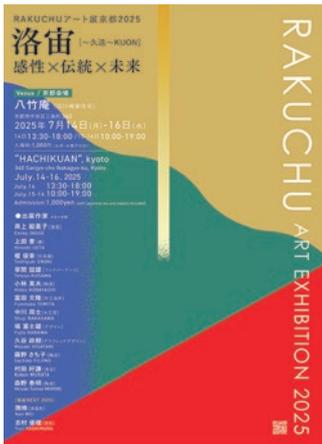
天才アート KYOTOとは

作品、そしてアーティストを、おくり出すために。
 いま世界で「アール・ブリュット (Art Brut) ※」に関心が集まっています。
 「天才アート KYOTO」は、いち早くその創作支援に取り組んできました。
 それは、作品をみていただくこと。
 そして、そのアーティストと芸術活動を、垣根や余分な意図を除いて社会に
 区分なくおくり出すことです。
 作品制作は誰もが参加できる芸術活動であり、そのなかに楽しみがある。
 天才アート KYOTO は、障害* がある人の表現能力に着目し、未知のアーティ
 ストとの出会いやひとりでは困難な作業でも、作品を世界に届けるために活
 動を続けています。
 やさしい視点から専門家の評価まで幅広く見渡しながら、美術としての創
 造を広げることに取り組みます。

※アール・ブリュット (Art Brut) は仏語で「生の芸術」を意味。正規の芸術教育を受けていない
 が創作する技巧や流行にとらわれない自由な芸術作品のこと。



B - 15 洛宙 KANSEI アート展実行委員会



洛宙とは、志を同じくする表現者たちが、一つの流れの様に連なって広大なキャンバスに自己の思いを散りばめていく決意を表しています。芸術の感性は無限であり、その広がりを期待し「宙」を意識しました。洛は元来、洛陽の都に沿って流れる川「洛水」を指し、漢字としての洛には、「連なる」「つながる」「続く」という意味があります。「洛」は京都を意識しており、京都から天空・全方位に向かってアートを発信していく意気込みを込めています。

展示テーマ 洛宙アート展 2025

**久遠～KUON～プロジェクト「感性・伝統・未来」展
RAKUCHU ART EXHIBITION 2025 KUON PROJECT**

洛宙アート展2025 KUONプロジェクトは、「感性・伝統・未来」をテーマに、長きにわたり受け継がれてきた日本の伝統美を未来へ繋いでいくことを目指し、日本の伝統文化および伝統工芸の振興、同時に未来を担う若手作家達の更なる発展に寄与することを目的としています。日本の芸術、食、文化に世界中が注目し、多くの人達が日本を訪れる2025年、洛宙展は大阪・関西万博会場および京都に残存する歴史的に貴重な町家建築「八竹庵」(京都市指定有形文化財)の2会場より日本の美を発信しました。*八竹庵会場での展示は第3回日本国際芸術祭 連携企画としてもご紹介しています

万博会場出展作家：森野泰明(陶芸)、富田文隆(木工造形)、久谷政樹(グラフィックデザイン)

中川周士(木工芸)、榎 俊幸(日本画)、塙 富士雄(デザイン)、上田 普(書)、井上絵美子(漆芸)





B - 18 村田好謙



漆芸家

好謙漆工房主宰・日展会員

一般社団法人工芸美術日工会常務理事、事務局長

京都工芸美術作家協会副理事長

工芸美術創工会会員 好謙漆工房 [E-MAIL]koken@iris.eonet.ne.jp

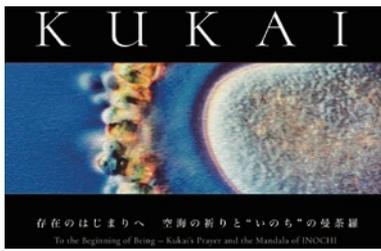
展示テーマ **村田好謙展「天照の恵」光と水が織り成す生命の力**

「天照の恵」は、水と光がもたらす生命の力をテーマにした個展です。この展覧会では、自然の恵みである水と光が、私たちの生活や心にどの様に影響を与えているのかを深く探究。水は生命の源であり、私たちの体や環境に欠かせない存在です。そして、光は私たちの視覚を通じて世界を彩り、心に温かさや希望をもたらします。展示作品は、伝統的な漆芸技法に加え、多様な表現方法を駆使し、観る人々に新たな視点を提供いたしました。作品を通じて、自然の美しさや神秘を感じていただければ幸いです。観覧者の皆様が、自らの感情や思考を深めるきっかけとなる事が出来れば、私にとってこれ以上の喜びはありません。この特別な空間では、訪れる人々がリラックスし、心を開いて作品と向き合う事ができる様、温かみのある雰囲気を大切に展示しました。「天照の恵」が、私たちが日常生活の中で見過ごしがちな水と光の尊さを再認識し、生命の力を感じる機会となることを願っています。





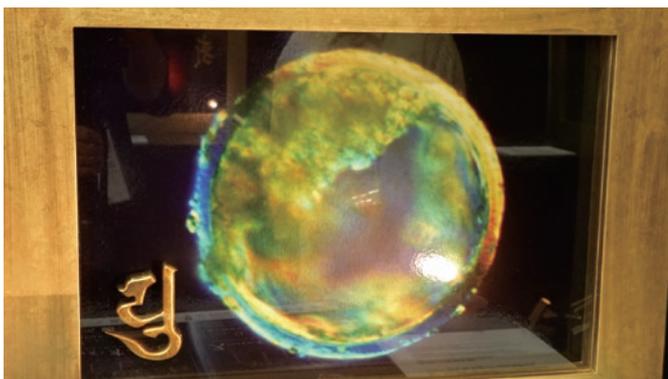
B - 17 一般社団法人 Feel&Sense



音楽・映像・展示を融合し、宇宙的視点から“いのち”の尊さを体感するアートプログラムを国内外で展開しています。AWE体験型アート映像作品「LIFEいのち うまれることを再体験」やオーケストラや合唱を通じ、世代や国境を越えて心をつなぎ、未来へ“いのち”の響きを手渡すことを目指し、大阪関西万博ではEXPOホールにて9月27日「LIFEいのちwithスーパーキッズオーケストラ」を「いのち会議」と連携し実施いたしました。

展示テーマ 存在のはじまりへ — 空海の祈りと“いのち”の曼荼羅

世界遺産・高野山「貴賓室奥殿」にて執り行われた、空海誕生1250年記念特別展「いのち展」製作：Feel&Sense（橋本昌彦・橋本さやか）の新作を公開しました。弘法大師・空海の直筆と伝わる「梵字」を用い、祈りの象徴として、荘厳なる造形へと昇華された本作に映し出される生命の神秘は、すべて実写によって構成されています。作品《胎蔵界大日如来》の中心に浮かぶ神秘的な光は、卵子の姿 — すなわち“いのち”の原像です。わずか数ミリのその微光は無数の細胞へと分かれ、星団が宇宙へと広がるように、壮大な生命の交響を奏で始めます。それはまさに、胎蔵界曼荼羅が象徴する、無限にして内奥なる世界の縮図であり、母胎に宿る「いのち」と宇宙に遍在する「いのち」とをつなぐ、目に見えぬ連続です。空海の筆に宿る梵字は、宇宙の声を綴る“光の言葉”として、曼荼羅に描かれし諸仏のごとく、深遠なる真理を静かに、力強く照らし出します。また本展示では、竹製尺八と同じ重さで作られ、0.01mm単位の精度で加工された、マグネシウム合金製尺八も併せて紹介しました。梵字、光、音。それはまるで、空海が海を越えて密教の光を携えたように、時空を超え、見えない「宇宙=いのちの源」を表現しました。



C - 3 泉佐野市

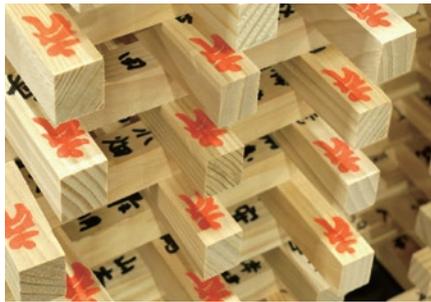


泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境のもと育まれた商・工・農・漁業がバランスよく栄えています。また、最近では関西国際空港を利用したアジア圏をはじめとしたインバウンド旅客が増加し、それに伴いホテルの新設が相次いでいます。世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市を目指したまちづくりに取り組んでいます。

展示テーマ

「泉佐野 極みの旅～日本遺産、伝統文化、修験、武道、天恵の食をたのしむ至福の体験～」

大阪府泉佐野市は、豊かな自然と伝統文化が共存する地。関西国際空港の玄関口として、訪れる人々に極上の旅を提供します。会場では泉佐野の魅力を五感で体験できるラグジュアリーーツリズムを提案。3つの日本遺産「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地、旅引と二枚絵図が伝えるまち一中世日根荘の風景、荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船首集落～などの歴史・文化を紹介。山間部に位置する名勝犬鳴山での自然との調和・デジタルデトックス・こころの安らぎなど、人々の精神的な成長や自己探求を深める修験道修行体験メニューを紹介。武道では、重要文化財施設等で初心者でも日本の伝統的な居合道を学べる機会を提供し、日本チャンピオンからの指導による体験メニューを紹介。その他泉佐野の誇る食文化、相撲エンターテインメントショーなど、本市ならではの「極みの旅」を通じ、世界中の旅行者に特別な時間を届け、2025年大阪・関西万博のテーマと調和するサステナブルな観光の可能性を示し、日本の奥深いおもてなし文化を発信しました。



C - ① 一般社団法人和栗協議会



一般社団法人和栗協議会は、日本の一次産業と文化の持続的発展を目的に、2025年に設立されました。静岡県掛川をはじめ全国の栗産地と企業・自治体・研究機関が連携し、生産支援、技術研究、商品開発、文化発信を推進。和栗の魅力国内外へ広め、次世代へ継承するため、農業支援イベントや国際的な茶会「和栗茶事」などを企画・運営。地域資源を核に、食文化と農業の未来を創る共創プラットフォーム。

展示テーマ 「お茶」と「和栗」でつなぐ、いのち輝く和の共創体験
春華堂 with 和栗協議会が紡ぐ“Having Fun!”な地域循環茶会

「地域志本主義」で描く、リジェネラティブなまちづくり 春華堂with和栗協議会が紡ぐ“Having Fun!”な地域循環茶会
創業138年目を迎える有限会社春華堂は、「うなぎパイ」をはじめとする和洋菓子の製造販売のみならず、地域のつながりやご縁、遊び心を大切に、様々な事業を展開しています。その事業の一つとして、静岡県掛川の貴重な農作物である和栗が、後継者不足や農家の高齢化により、存続の危機に瀕していることを受け、2022年7月「遠州・和栗プロジェクト」を遠州地域の企業・団体9者とともにスタートしました。春華堂は、毎年約二万本の栗蒸し羊羹や栗を使用したお菓子を販売していますが、掛川産栗の安定的な供給が難しくなったことから約二十年前に使用をやめ、県外産の栗へと変更した過去があります。栗農家や地域を持続発展させるため、掛川栗を地域へ周知させ、更には日本全国の栗農家と連携することで、世界に通用する「WAGURI」ブランドの創出を目指し、本プロジェクトを推進しています。

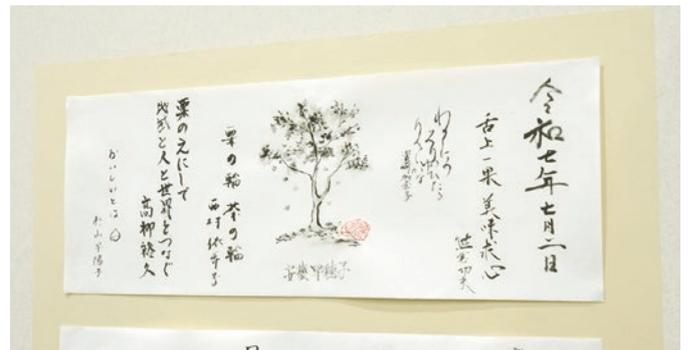


地域を越えて、世代を越えて、生産と未来をつなぐ

この大きな目標を達成するため、志を同じくする遠州地域の異業種企業や自治体、農業協同組合、大学機関と連携し、2024年に5つの専門部会（生産/研究/技術/イベント・商品/広報・人事）を立ち上げ、農業支援を行っています。「地域」志本主義を理念に、産×官×学×農の業種・世代を超えた共創を進めることで、イノベーティブな包括的コミュニティを構築し、2025年2月には51者へと座組を広げ、一般社団法人「和栗協議会」を設立しました。

日本国際芸術祭の「日本の美と心を世界に伝え、未来を創る」というミッションと我々の進めている和栗協議会への親和性を感じ、今回は日本固有の奥ゆかしい精神性や美学をたしなむ「茶の湯文化」と「和栗」の融合を図り、「茶事」という格式高いフォーマットを応用し、「お茶」と「和栗」この2つの地域資産を同時に楽しむことができる世界で唯一無二の「和栗茶事」を開催させていただきました。





C - ② 株式会社青木松風庵



青木松風庵は、大阪・泉州を拠点に和洋菓子を製造・販売するメーカーです。代表銘菓「月化粧」は、2秒に1個売れている実績を誇り、全国のお客様に親しまれています。素材と製法にこだわり、四季折々の味わいと和の心を届ける菓子づくりを通じて、地域に根ざした企業として成長を続けています。贈答品や土産品としても高い評価をいただいております。

展示テーマ **オリジナル和菓子で創る、未来の味わい体験**

Create Your Own Future Taste Experience with Japanese Sweets

大阪・関西万博のEXPOメッセにて、和菓子の新しい可能性を体験できるブースをご用意しました。伝統的な技術と未来のテクノロジーを融合させたこの空間では、和菓子が持つ創造性と文化の深さを体感していただきました。

まず、「世界にただ一つオリジナル月化粧」コーナーでは、タブレットを使って絵や文字を自由に描き、それを特製の月化粧に印刷。自分だけの特別な和菓子をその場で作り上げる楽しさを体験していただきました。次に、10種類以上の餡から3種類を選び、最中の皮で挟んで楽しむ体験型コーナーでは、新たな味の組み合わせを発見していただきました。ゼラートのように多彩なフレーバーの餡により、和菓子の無限の可能性を感じていただけたと思います。さらに、北海道産の豆から生まれる餡の魅力を深く知ることができる展示も開催。映像とともに、豆がどのようにして和菓子の核心である餡に変わるのか、その秘密に迫る展示を行いました。和菓子の伝統に新たな未来を見いだすこれらの体験を通じて、その文化の魅力を改めてご堪能いただきました。





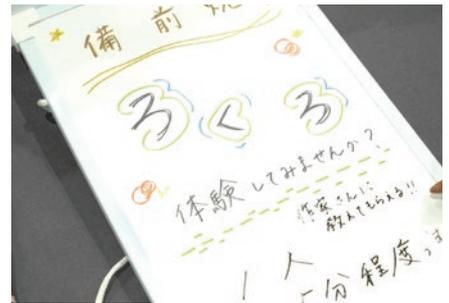
C - 4 岡山県備前市



備前市は岡山県南東部に位置し、瀬戸内海に面した美しい自然と歴史文化が息づく街です。800年の歴史を誇る備前焼は日本六古窯の一つで、無釉薬かつ高温で焼締めることにより生まれる窯変の美しさは世界的に高い評価を得ています。現在も200人余りの作家が活躍し、5人の人間国宝を排出した陶芸の聖地として知られています。日生諸島では新鮮な魚介類が水揚げされ、豊かな食文化を育てています。自然と伝統、人々の営みが調和した日本の美と文化を感じられる地域です。

展示テーマ 備前焼作陶体験～土と水が生み出す自然の芸術～

千年を超える時を紡ぐ備前焼。平安時代に始まり、備前市の誇る伝統文化として日本遺産にも認定されています。釉薬を使わず土と水と炎のみから生まれるその姿は素朴でありながら奥深く、作り手の技と想いが息づいています。ブースでは備前市伊部地区で採れる貴重な土「干寄（ひよせ）」の質感に触れながら、作陶工程のひとつであるろくろ作業の体験をしていただきました。さらに、次世代を担う若手作家によるろくろ実演をショーのように間近でお楽しみいただき、伝統と革新が響き合う瞬間の感動を肌で感じていただきました。



C-5 株式会社リョービツアーズ



岡山県岡山市に本社を置く株式会社リョービツアーズは、日本のエーゲ海とも例えられ世界的な注目を集める瀬戸内の多様性に富む観光コンテンツを提供する旅行会社です。瀬戸内国際芸術祭に代表される瀬戸内の島々のアートや固有のユニークな日本食文化、地域特有の景観を体感していただける宿泊の提供など、国内外からの旅行者のニーズを満たす瀬戸内オリジナルな商品・サービスをご提案いたします。

展示テーマ 魅惑の瀬戸内海へようこそ
 ~ Welcome to SETOUCHI Land and Sea ~

日本のエーゲ海とも例えられ、世界的な注目を集める瀬戸内の多様性に富む島々の景観。瀬戸内海沿岸の都市や島々が有する魅力的な観光資源の数々を世界中の人々に知っていただき、瀬戸内を訪れたいくなるような企画展示を行いました。2025年は大阪・関西万博とともに、6回目となる瀬戸内国際芸術祭2025も開催されており、瀬戸内国際芸術祭を中心とした岡山県玉野市の宇野港エリアの芸術や食文化に関する様々な情報を発信しました。また、2024年秋に初めて開催された岡山県北部を舞台とした「森の芸術祭 晴れの国 岡山」や岡山県南部の吉備路エリアで実施される桃太郎伝説ゆかりの地をめぐる「吉備ロマン無料循環バス」など、海・山里・森といった多様な観光資源もご紹介しました。さらに、日本国際芸術祭の開催に合わせて、瀬戸内海をめぐる新たな旅行形態として「スーパーヨットクルーズ」を企画。期間中、会場内ブースではプレミアムなスーパーヨットクルーズの旅行商品紹介も行い、新たな瀬戸内観光コンテンツ情報を発信しました。



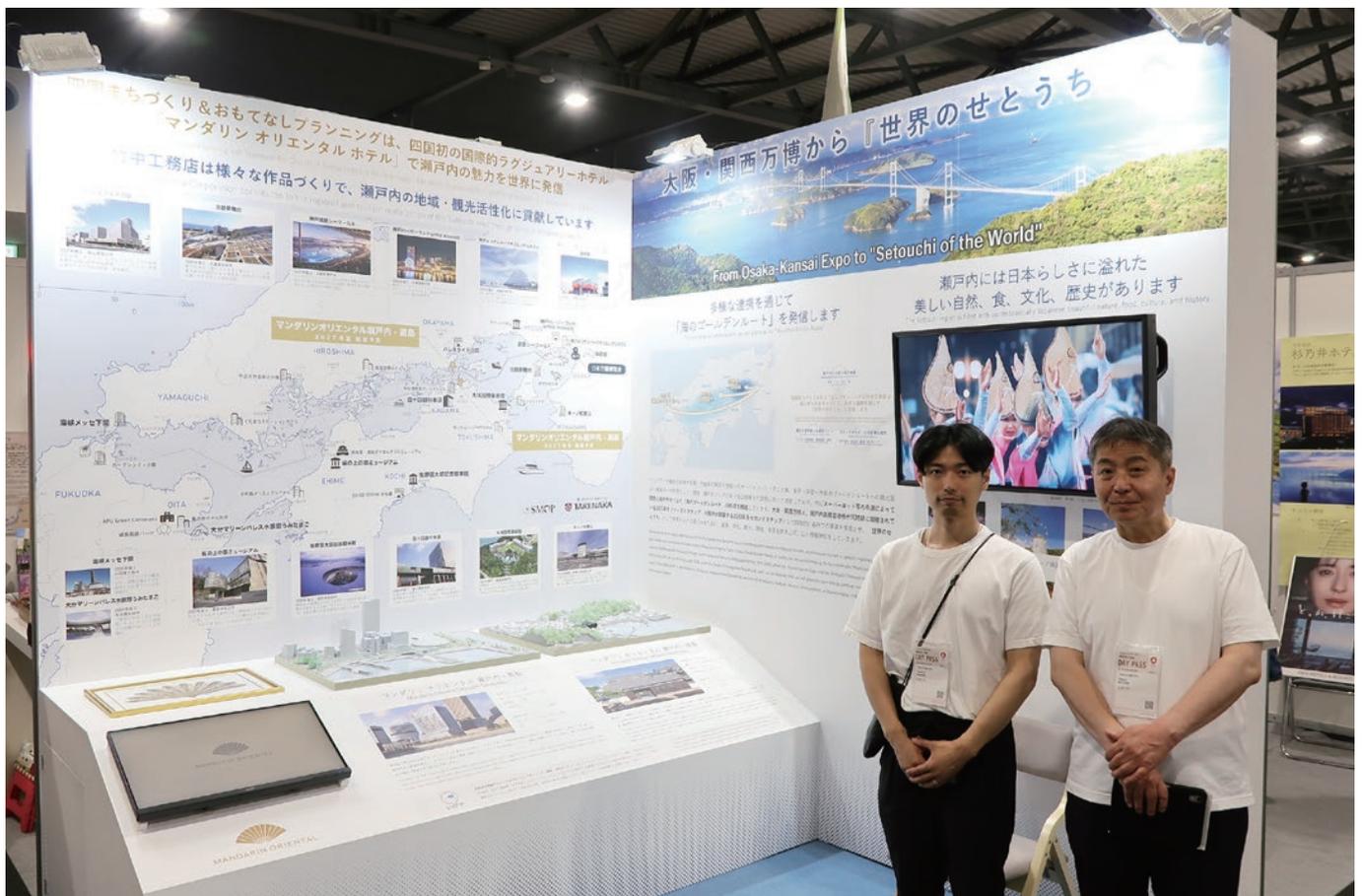
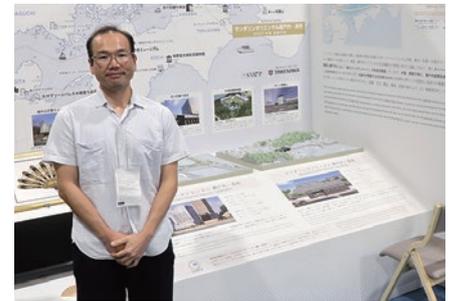
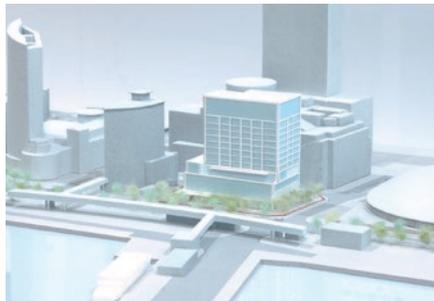
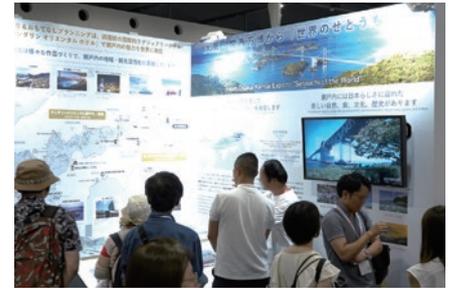
C-6 竹中工務店・四国まちづくり&おもてなしプランニング (SMOP)



建築・まちづくりを手掛ける竹中工務店と、マンダリンオリエンタル瀬戸内(高松・直島)を手掛ける四国まちづくり&おもてなしプランニングは、万博を契機として関西から世界に向けてせとうち・四国の魅力を世界に発信し、新たな旅のゴールデンルート化を目指しています。

展示テーマ 瀬戸内海へのいざない
(関西からせとうちへの海のゴールデンルート)

その情報発信として、自然や文化などせとうち・四国の観光資源の紹介をはじめ、竹中工務店が取り組むせとうち・四国エリアにおける観光関連プロジェクトなど様々な取り組みをご紹介します。さらに、せとうち周遊を加速する目玉プロジェクトとして、2027年夏の開業を予定しているマンダリンオリエンタルホテルグループによる瀬戸内プロジェクトについてご紹介します。世界的なラグジュアリーホテルブランドによるせとうちを旅する皆様へのメッセージを当ブースでご体感いただきました。



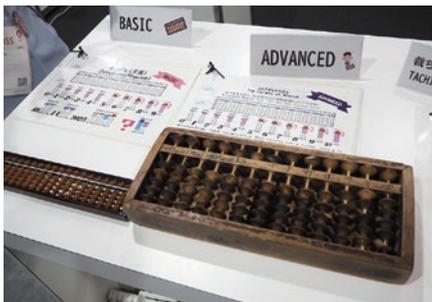
C-7 教育遺産世界遺産登録推進協議会



教育遺産世界遺産登録推進協議会は、世界教育史上独自の発展を遂げたわが国の教育を象徴する「近世の教育遺産」の世界遺産登録を目指すため、近世教育遺産が所在する茨城県水戸市、栃木県足利市、岡山県備前市、大分県日田市の4市が設立した広域連携組織です。本協議会では、これまでの世界遺産にはない新たな種別の遺産「教育遺産」の概念を提唱し、産・学・官が一体となって、教育遺産の調査研究や普及啓発事業を進めています。

展示テーマ 日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」

江戸時代の日本では、儒学、漢学、天文学、詩文、算学等の学問のほか、歌学、日本画、版画等の芸術も発展しました。こうした芸術文化は、官立学校・藩校・郷学・私塾等の学校施設で教養を学んだ文人と呼ばれる知識人が担いました。本ブースでは、江戸時代の学校施設と関連する庭園・町並みから構成されるストーリーである日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」の魅力を映像やパネル等の掲示、和算体験等を通じて発信いたしました。



C - 8 公益財団法人 山本能楽堂



写真 | 中村健太 (LOBJET)

約100年の歴史を持つ大阪市で最も古い国登録有形文化財の能楽堂から、観世流能楽師の山本章弘を中心として、観世流能楽の普及と継承につとめています。これまで約10万人の子ども達にも能の魅力を伝え、海外でも80公演以上能の公演を実施し、日本文化による国際相互理解を推進し、国際交流を継続して行ってきました。これらの活動が認められ、大阪文化賞、外務大臣表彰、国際交流基金地球市民賞、関西元氣文化圏賞等多くの賞を受賞しています。

展示テーマ ユネスコ世界無形文化遺産「能楽」の世界へ、ようこそ！

～ Welcome to the world of Noh, it is a performing art loved by the Samurai

能を紹介するブースを出させて頂き、「葵上」に使用する能面（般若、泥眼、小面）を、能面や能装束のタペストリーとともに華やかに展示し、それらを題材とした缶バッジも約2500名の来場者の方に無料で製作体験をして頂きました。能への理解や親しみを深めて頂くことで、能の魅力を多くの方々に発信させて頂くことができました。



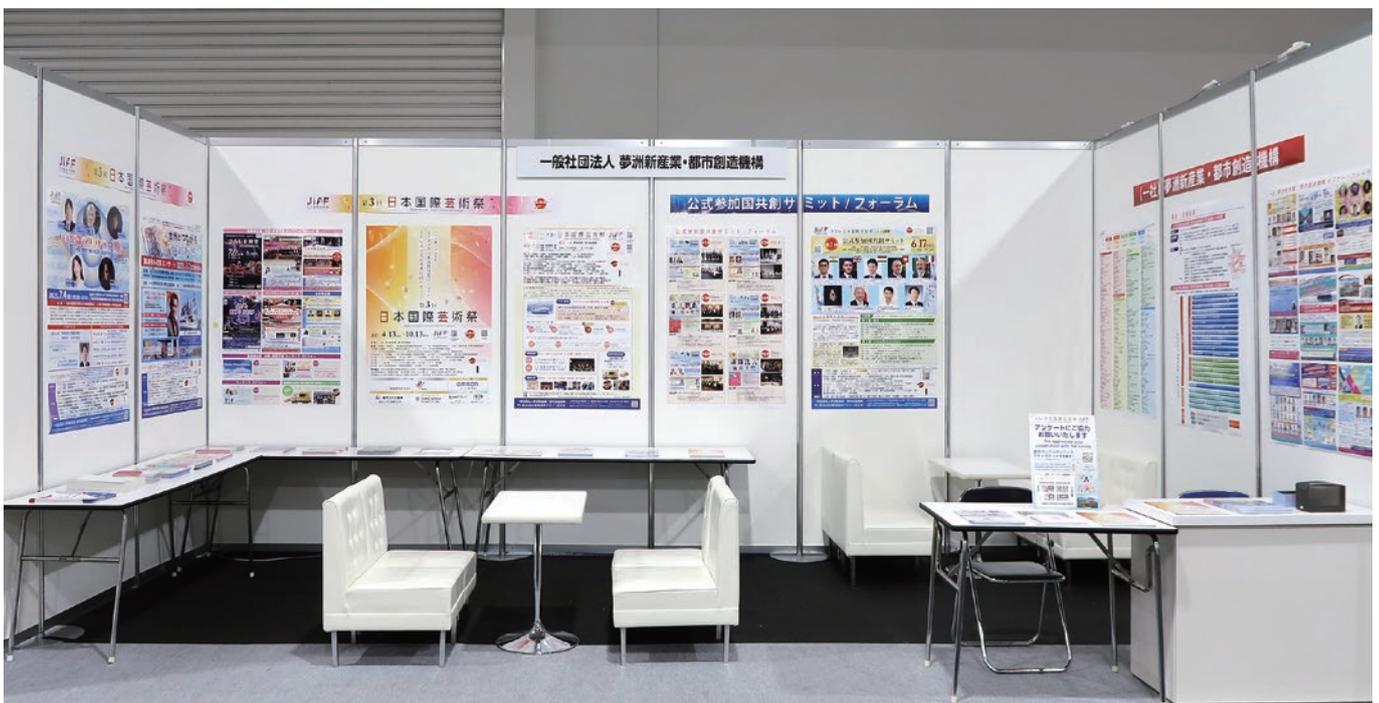
C-9 一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構



(一社)夢洲新産業・都市創造機構は、大阪・関西万博を契機に設立された産学公共創のオープンイノベーション・プラットフォームです。新産業創出、環境・エネルギー、医療、アート、観光、地方創生など幅広い分野で共創を推進しています。158か国・地域が参加した大阪・関西万博の成果を活かし、2030年開業の大阪IRも踏まえ、国内外のネットワークを繋ぎ、夢洲から大阪・関西～全国で持続可能で創造的な“いのち輝く”未来社会を実現するために貢献します。

展示テーマ 世界の国々との国際共創～International Co-Creation～

夢洲新産業・都市創造機構(産学公354法人・1825名会員/2025年10月時点)は、いのち輝く未来に向けて、さらにその先の未来に向けて、産学公民と世界の国々との持続的な交流・共創に繋げていくため、関係機関や各国総領事館等と連携・共創しながら活動しております。当機構が毎年開催している「日本国際芸術祭」は、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創をミッションに、今年は大阪・関西万博会場のEXPOメッセなどをメイン会場として開催し、最高峰の「日本の美と心」を世界に伝え、いのち輝くWellbeingな日本の未来創りへ貢献します。本ブースでは、夢洲機構の紹介、「国際共創」として、産学公民が交流・共創していくために、世界の国々のパビリオンのご紹介や経済の発展のために活動されている各国の商工会議所などにご出展いただきました。また、「第3回日本国際芸術祭」の企画や、京都～関西の有名寺社で開催するサミットなどもご案内し、来場者に向け、多様な文化や価値観が交差する中で生まれるイノベーションや共創をお伝えするブースとなりました。



C - 10 株式会社 Plan・Do・See



日本/世界に計 51 店舗、ホテル/ご宴会場/レストラン/結婚式場を運営しています。日本のおもてなしを世界中の人々へという企業理念のもと、その街ならではの土地や風土を活かしながら、関わる方々が誇りに思えるような店舗運営を行っております。50年100年と大切に残ってきた建物をリノベーションし現代にも愛されるお店作りを展開しております。街開発やケータリング事業、地域創生プロジェクトなども展開しております。

展示テーマ ホテル/宴会・MICE・イベント会場/レストラン/ウェディングを
全国展開する Plan・Do・See

日本のおもてなしを世界中の人々へお届けするMISSIONのもと東京、埼玉、伊豆、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡、沖縄にてホテル/宴会・イベント・MICE・パーティー会場/レストラン/ウェディングを展開しています。元々ある歴史的な建物を取り壊しすることなく、リノベーションして古き良き建物を残しながらもこの先100年、200年愛されるお店にしていくことで、街の価値をあげるVISIONを持って運営しております。地域創生の取り組みや地産地消の食材を厳選したレストランはイタリアン、フレンチ、中華、お寿司、ステーキ鉄板焼き、和食など様々なジャンルでお出迎えをしております。最近ではサステナブルウェディングにもチャレンジしており、環境にやさしい、新しい形のウェディングに取り組んでおります。



C - 11 オリックス・ホテルマネジメント株式会社



ORIX HOTELS & RESORTS は、オリックス・ホテルマネジメント株式会社の旅館・ホテルの運営事業ブランドです。ラグジュアリーからカジュアルまで、旅館とホテルを両軸に幅広いカテゴリーを有し、「また行きたい、と思っただけの場所。」をご提供するべく、お越しいただく皆さまのさまざまなライフステージに合わせた体験をお届けしています。

展示テーマ **ORIX HOTELS & RESORTS の各施設の魅力をご紹介します**

現在、ORIX HOTELS & RESORTS では、北は北海道から南は福岡、大分まで、5ブランドにて14の旅館・ホテルを展開しています。各施設が持つ個性や、地域とのつながりを感じていただける展示を致しました。



D - ① 関西大学



本学は1886年に設置された関西法律学校を前身とし、現在は、14の学部と13の大学院研究科、2つの専門職大学院、1つの別科を擁する総合大学です。1922年に当時の総理事であった山岡順太郎により提唱された「学の実化(がくのじつげ)」を学是(理念)として掲げ、教育研究活動を展開しており、世界各地からの留学生を含め、約3万人が在籍しています。

展示テーマ 未来を拓く知の連携：SDGs と地域連携の研究発表

関西大学や連携大学が取り組んでいるSDGs達成に向けた教育・研究・地域連携活動の成果を、広く社会に発信することを目的とした研究発表イベントを行いました。学生・教員が中心となり、ポスター展示や発表を通じて、多様な社会課題への実践的な取り組みや、地域との協働による課題解決の成果を紹介。持続可能な未来社会の実現に向けた「知の連携」を体現する場として、来場者との対話や意見交換により、大学の知が社会とつながる意義を広く伝えることができました。大阪・関西の地域性や国際性を背景に、学生たちの専門領域とSDGs、地域連携の関係性や大学間の協働による新たな価値創造の可能性を発信する機会となりました。さらに、参加者同士が多様な視点や専門性を共有し合うことで、新たな学びや気づきが生まれる交流の場となりました。



D - ③ かねひさ株式会社 / KANEHISA CORPORATION



弊社は、大阪府南部・泉州エリアの「岸和田市」において、木材に特化した物流業務とモノづくりを行っている会社です。創意工夫をもって需要の創造をおこない、木材を中心とした、「唯一無二」のオリジナル商品とサービスを展開しております。

地域産木材を積極的に活用し、小ロット物や1点物、記念品やノベルティまで、業界を問わず、幅広い分野・ニーズにご対応可能です。

あなただけの「一品」を一緒に創りませんか？

**展示テーマ 木材に特化した「物流業とモノづくり」の会社。
唯一無二の商品を展開。**

本展示ブースは、廃棄予定の木材や不要材・竹材などを再活用し、自社のUVインクジェットプリント技術で仕上げたオリジナル構造物で構成し、世界へ発信しました。持続可能性と匠匠性を両立させた空間は、資源の「もう一仕事」を象徴するものとして、多くの来場者の注目を集め、展示・体験を通じて、環境と地域とつながる取り組みを「リアルと映像」で紹介。2025 大阪・関西万博の公式ライセンス商品として、数量限定で自社ECサイトのみで販売している、大阪府産ひのきを使用した「ミヤクミヤク木製バッチ」も沢山の方へお披露目でき、沢山のお褒めのお言葉をいただきました。「第3回日本国際芸術祭/大阪・関西万博展」は世界中の方々と直接触れ合える貴重な機会となり、グローバルな視点とローカルな想いが交差する現場で、多くの学びと気づきを得ることができました。



D-2 サンコーインダストリー株式会社



サンコーインダストリー株式会社は、メイドインジャパンを中心に、約205万点という業界屈指の幅広い商品ラインナップを誇るねじの専門商社です。ねじ1本からでも迅速にお届けできるよう、物流倉庫は限りなく自動化され、高効率な供給体制を実現しています。

**展示テーマ 東大阪から日本のねじを世界に届ける
(モノづくりを支えるねじをアートな視点で捉える！)**

関東大阪から世界へ——私たちは、日本のモノづくりを支える「ねじ」を、単なる工業部品ではなく“アート”として捉えています。小さな部品でありながら、構造を支えるねじには、精密さと機能美、そして職人の情熱が宿っています。そしてこのたび、ねじの魅力や東大阪の技術力を世界に伝える情報マガジン『SOCKETBOY』を創刊。『SOCKETBOY』では、日本のねじ産業の最前線や東大阪の高度な技術、モノづくりにかける想いを、職人たちが培ってきた匠の技と情熱を、アーティスティックに世界へ発信していきます。ねじの魅力、そしてそれを支える人々の物語を伝えることで、東大阪の技術力と日本のモノづくりの底力を世界に届けたい。小さなねじに込めた大きな情熱を、今こそ世界へ。



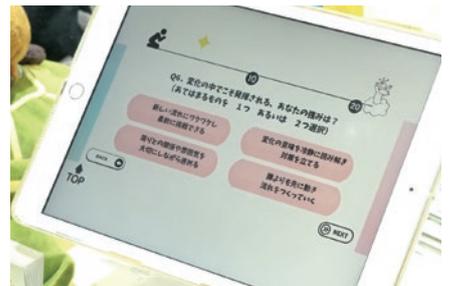
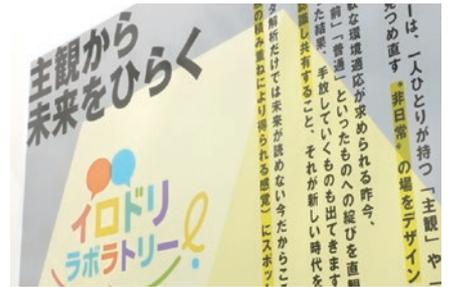
D-4 イロドリラボラトリー



感覚と想いから未来を創造する—イロドリラボラトリーは、非日常の場のデザインを通じて個人と組織の変革を支援。独自開発の「未来みくじ」「組織みエール」「組織共鳴診断」、POINTS OF YOU®、レゴ®シリアスプレイ®等の対話型メソッドを活用。企業や自治体など様々な組織の組織開発・人材開発において、データでは見えない本来持つ力とパワーを引き出します。

展示テーマ 「人とデータで奏でる未来診断」～組織と自分の共創～

イロドリラボラトリーは「人と組織の可能性を彩り、持続可能な未来をともに創る」をミッションに、「組織みエール（組織診断）」と「未来みくじ（個人診断）」という二つの診断ツールを提供しました。私たちは変化の激しい時代において、データと直感の融合から生まれる気づきを大切にしています。診断は単なるタイプ分けではなく、「理解→仮説→検証→改善」の成長サイクルの起点となる体験です。人とデータのつながりから生まれる「知の共鳴」が、次の一步への勇気と道筋を示します。変化に立ち尽くす不安を、つながりの力で背中を押し、個人と組織の共進化を促進することで、持続可能な社会づくりに貢献します。数分の診断体験と、レゴ®シリアスプレイ®やPOINTS OF YOU®を活用したミニワークショップにより、来場者の未来を彩る新たな選択肢を提案しました。



D-6 一般社団法人エコロジーウォーキングジャパン



京都伏見を中心に全国各地で活動を展開しています。【バランス下駄®】ブランド「GETA LABO」の製品を使用しながら行うゴミ拾い活動を『エコロジーウォーキング®』と名付けており、地域の人々と連携するなかで「環境」「健康」「防犯」「防災」「教育」「国際交流」「地域活性」「コミュニティ創り」にアプローチし、伝統を通じ一人一人が健康で自分の可能性に挑戦できる未来社会を足元からサポートします。

展示テーマ **エコロジーウォーキング Ecology Walking**
けんこうは足元から 拾って歩こう繋がる未来

エコロジーウォーキング®は、「Ecology (自然環境保全)」と「Walking (歩く)」を組み合わせせた造語です。“下駄を履いて健康に、拾ってエコに、新たな交流を” 下駄を履くだけで日本の伝統を感じ、国籍を問わず老若男女誰もが笑顔で楽しめる全員参加型のプログラムです。この活動を通じて日本の伝統工芸の素晴らしさ、健康促進、環境保全、社会課題など地域コミュニティから生まれる新たな活動を伝えていきます。



D - 5 特定非営利活動法人おくちのけんこう



【歯科×エンターテイメント】という新しい発想で、口元の健康の魅力を伝えるNPO法人おくちのけんこうです。「楽しく学び、楽しく守る」をテーマに、お口の健康を通じて子どもから高齢者まで幅広い世代の健康増進を目指しています。オリジナルキャラクター「はみがきうさぎ」を活用したイベントや絵本作制、幼稚園・保育園・児童福祉施設でのショーを実施。むし歯予防や食べることの大切さを全国で楽しく発信しています。

展示テーマ はみがきうさぎとロクローと学ぼう

歯みがきからはじまる Well-being な未来へつながる笑顔

子どもたちに大人気のキャラクター「はみがきうさぎ」と仲間の「ロクロー」がEXPOメッセに登場！NPO法人おくちのけんこうがプロデュースするふれあいイベントでは、キャラクターたちと一緒に写真を撮ったり、楽しく学べる歯みがき体操で口の健康を考えるきっかけをお届けしました。未来の笑顔を守るために、歯科医療の大切さや歯科医院での仕事の魅力もご紹介。医療や教育、地域をつなぐ活動を展開するブースに、たくさんのお客様にご来訪いただきました。





D-7 ブリラロツソ株式会社



日本の生活文化に息づく茶箱に、伝統工芸の精緻な技と選び抜かれた素材を融合し、唯一無二の品格ある作品を創造しています。国産杉材を用いた木工技術、京都西陣織や加賀友禅といった希少な織物、漆や金具の職人技を凝縮し、一つひとつ丹念に仕立てます。季節を映す着物地や伝統文様を纏う茶箱は、収納を超えたアートピースとして世代を超えて受け継がれる価値を宿し、国内外で永く輝き続ける日本の美として発信しています。また、茶箱を通して、日本の道具や工芸品が持つ真の魅力を世界へと広げています。

展示テーマ **“ Tradition meets Future ” — 響きあう伝統と未来 —**

江戸時代後期より、お茶の葉を新鮮に守り運ぶために使われてきた杉の木箱“茶箱”。その素朴で美しい姿を、異国情緒漂う蘭字茶箱、そして匠の技と感性が生む西陣織美術工芸あざぎ丸帯を張った豪華な布張り茶箱と共に披露しました。同時に茶箱の可能性を広げるインテリア茶箱®を展開。実用性と美しさが融合した「用の美」はまさしく日本の美意識。SDGsの理念と文化継承をもって、未来社会へ。自然素材とクラフトマンシップが織りなす“Japanese Harmony”をご覧いただきました。



D - 8 彩り



2019年より若い世代も気軽に和に触れる機会をつくりたい、と「和文化発信プロジェクト」を発足。地元住吉大社・てんしば・阪急うめだ本店・京都・万博でも開催。様々なエリアから職人さんが集結する催しへと発展し、海外のプロパフォーマーの参加や日舞×TikTokと新しい革新も取り入れ古き良き歴史と現代が融合したフェスティバルも開催。日本の森林を守り継承していくアドプトフォレストの活動も行なっています。

展示テーマ **和文化フェスティバル / Japanese Culture Festival**
— WAVISTA わびすた —

和文化フェスティバル—WAVISTA—

古き良き伝統と革新が織りなす厳選されたクリエイターの作品展を行いました。

「組子細工kumicotoha×アトリエ白雲×表具師・八上松竹堂」日本の伝統工藝・組子細工のブランド「くみことは」(福井県)と、アトリエ白雲(奈良県)のアート・グッズ、堺で3代続く表具師「八上松竹堂」(大阪府)の共同出展/日本酒や和紅茶を輸出しているEclendeur株式会社による10年熟成の日本酒や伝統的紅茶販売/@kikoによる大正～現代の着物・帯の生地を活かした美しいバッグの販売/ Coosan × Tamatebako × M's tableによる日本の現代作家の陶器、オブジェ、和の所作ワークショップ / ネオジャパニーズスタイル



D-9 有限会社斗六屋 (SHUKA/ 種菓)



京都で1926年創業の甘納豆専門店"斗六屋"発の古くて新しい種の菓子ブランド。甘納豆づくりで用いられる古来の食品保存技術・砂糖漬けを活かし、日本で親しまれてきた豆類だけでなく、国際的に愛されるナッツ類も採用。「種を愉しむ」というコンセプトの元、種の個性を活かした菓子を創作。種で作る独自の植物性ジェラートを開発するなど、甘納豆を世界へ通じる菓子へとアップデートすることに挑戦しています。

展示テーマ 甘納豆を世界へ。

古くて新しい種の菓子ブランド「SHUKA/ 種菓」。

古くて新しい種菓子ブランド「SHUKA/種菓」。甘納豆づくりで用いられる古来の食品保存技術・砂糖漬けを活かしつつ、日本で親しまれてきた豆類に加え、国際的に愛されるカカオやピスタチオ等のナッツ類も採用。「種を愉しむ」をコンセプトに、種の個性を活かした菓子を創作・販売いたしました。従来は砂糖漬けの副産物であったシロップをアップサイクルし、地元の豆乳と合わせた独自の植物性ジェラート「SHUKA gelato」など、甘納豆を世界へ通じる菓子へとアップデートした商品もご好評をいただきました。



D - 10 総合地球環境学研究所 (地球研)



総合地球環境学研究所 (地球研) は、「地球スケールで地域から人と自然の関係のあるべき姿を描き、平等かつ公平で、未来可能な地球社会の実現を目指す」というビジョンのもと研究を進めています。地球環境問題は、一つの学問分野や単純な対処法では解決できないやっかいな問題であることがわかってきました。そこで私たちは、専門分野や立場を超えて問題解決に取り組む「超学際研究」というアプローチを推進しています。

展示テーマ サテライト地球研から こんにちは
—研究者との対話から未来をさぐる—



「サテライト地球研」では、京都・上賀茂にある総合地球環境学研究所 (地球研) の研究者たちがみなさんと対話を行います。様々な価値観が交差する万博会場で、研究者と来場者のみなさんの間で生まれる対話が、新たな問いを生み、未来を創る一歩となることを願っています。人と自然の未来について、一緒に考える貴重な時間となりました。



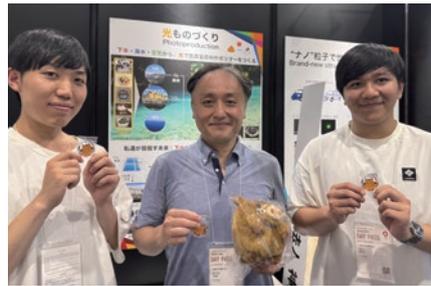
D - 11 国立大学法人神戸大学



神戸大学は、SDGsの実現に向けた共創の挑戦を通じて、未来社会を創造する学生、教員、企業のビジネスアイデアを発信しました。神戸大学が展開するこの取り組みでは、地域社会や産業界との連携を深め、持続可能な未来のための革新的な解決策を提案しています。学生、教員、企業それぞれが異なる視点から生み出したアイデアを紹介し、共に未来を切り拓くための協力を呼びかけました。この機会を通じて、新たなビジネスの可能性を広げ、SDGsへの積極的な貢献を促進します。

展示テーマ 共創の挑戦で未来社会を創造する SDGs ビジネスアイデア発信

学生スタートアップ「HIM (シロアリ由来の水素生成事業)」「SkinNotes (アトピー性皮膚炎の小学生向け緑茶染めインナーシャツ開発事業)」の展示に加え、杉本 泰准教授 (工学研究科) のシリコンナノ粒子による色材、津田明彦准教授 (理) の光を用いた化学品生成など最先端研究も紹介。「SDGs未来ビジネス学生コンテスト」発の防災アイデアも展示され、産学連携や次世代の可能性を実感できる、有意義な場となりました。



D - 12 同志社大学 文化情報学部 ソーシャルロボティクス研究室



本研究室では、人と共生するロボットの実現を目指し、心理・行動の理解に基づいたインタラクションの設計と実証的研究に取り組んでいます。ロボットの言動が人の行動や他者との関係性に与える影響を明らかにしてきたほか、近年は地域や学校、職場などでの信頼関係を示す「ソーシャルキャピタル」に注目し、その醸成にロボットが貢献できる可能性を探っています。研究成果は実環境でのデモや実証実験を通じて社会との接続を図っています。

展示テーマ ロボットと語ろう、いのち輝く未来

最先端のAI技術を搭載した3体のロボットと、来場者が対話を通じて「いのち輝く未来社会」について考える体験型デモンストレーションを行いました。テーマは「Well-beingとSDGs、その先へ」。ロボットたちは異なる視点から、未来の価値観、共生、テクノロジーの役割などについて意見を交換。参加者はその議論に耳を傾けたり、時には問いかけを通して、未来社会のあり方を共に模索しました。人とAIが対話を通じて共創する新しい社会の可能性を体感いただきました。



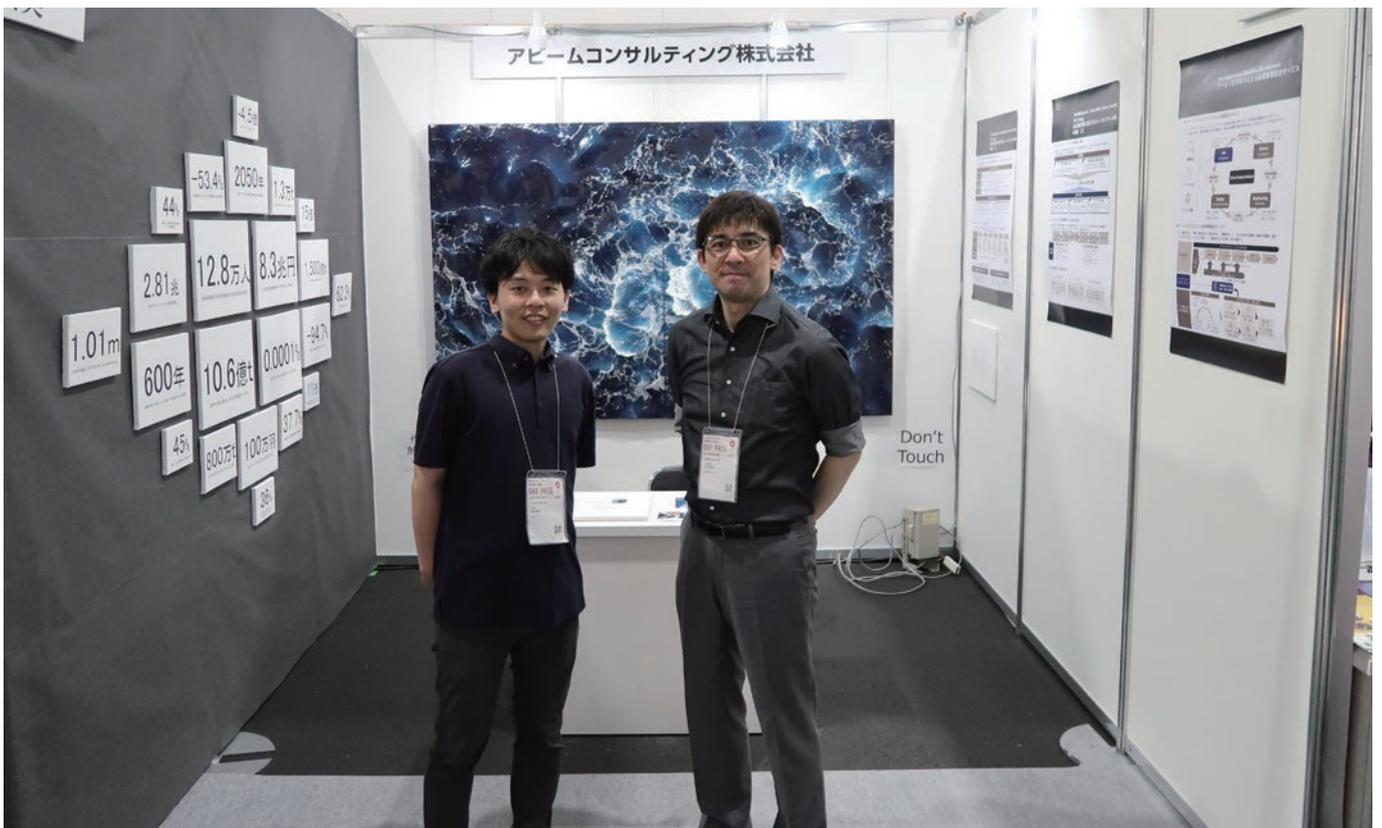
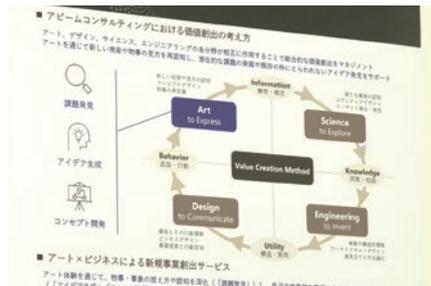
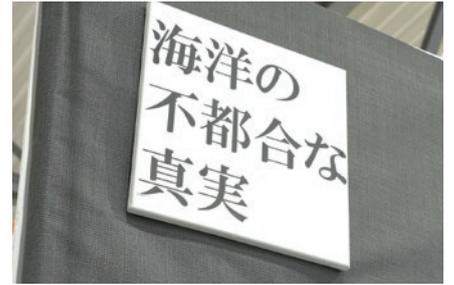
D-13 アビームコンサルティング株式会社



アビームコンサルティングは、日本発、アジア発のNo.1グローバルコンサルティングファームを目指し、各業界・業種・サービスにおけるプロフェッショナルと世界各地のアライアンス・パートナーにより、それぞれの国や地域に即したサービスを提供している総合マネジメントコンサルティングファームです。未来の価値とテクノロジーの組合せをトータルにデザインし、5年、10年、20年先を見据えた価値創造と変革支援を目指しています。

展示テーマ アート × ビジネスが生み出す新時代の価値創造

デジタルイゼーション、グローバル化、消費者の価値観の多様化など不確実性の高いVUCAの時代において、従来の枠にとらわれない創造的な発想が求められています。アビームコンサルティングは、アートとビジネスの融合を通じて、新たな視点から社会課題の解決を目指します。会場では、海洋のごみ問題・資源のトレーサビリティ確保、オーバーツーリズムを解消するインバウンド向けサービス、エコシステム形成・共創による新規事業創出等のコンサルティング会社としての取組をアーティストが持つ「あるべき世界観を描く力」「コンセプトを創造する力」で表現し、社会が目指すべき未来を可視化しました。感性を刺激し物事・事象の捉え方や認知を深化、人々の共感を呼ぶアートの力が、企業や自治体の視座を変え、ビジネスの可能性を広げます。



D - 14 アデコ株式会社



Adeccoは、世界60の国と地域で人材派遣、アウトソーシング、HRソリューションなどを展開する、グローバルな人材サービスブランドです。日本でも、働く人々のキャリア形成を支えながら、企業の業務最適化と業績向上に貢献する多様なサービスを提供しています。2025年には、日本でサービスを展開し、創立40周年を迎えます。これからも、未来を担うグローバル人材の発掘・育成に取り組み、国際社会で活躍できる人材を育てることで、社会と企業に新しい価値を届けていきます。Adeccoは、いのち輝く未来社会の実現に貢献し続けます。

展示テーマ アデコ 40年の活動と未来につながるグローバル人材育成



展示テーマ：「いのち輝く未来社会」へ。人が未来を創る。

「いのち輝く未来社会」を実現するためには、次世代を創造するグローバル人材の存在が欠かせません。グローバルHRカンパニーであるアデコは、そのような人材を育み、社会とともに未来を創る企業です。今回の展示では、アデコが目指す未来社会の姿と、それを実現につなげる現在の取り組みを紹介しました。



D - 15 オッペン化粧品株式会社



オッペン化粧品は1953年の創業以来、「女性の内面と外面の調和の美」を信念に、独自の研究開発と厳格な品質管理による化粧品・健康食品を提供しています。全国のローズメイトによるきめ細やかなカウンセリング販売や、学びと体験の場となるサロン展開、海外事業を通じて、一人ひとりの理想の美を叶える活動を続けています。地域社会への貢献にも力を注ぎ、これからも全国・世界へ美と喜びを発信し続けます。

展示テーマ 「輝きは、外観と内面の調和の美である」

信頼で結ばれたコミュニティーを通じて、美と豊かさを追求する。

オッペン化粧品は「美しさの本質」を見つめ続けてきた化粧品メーカーです。私たちがつくるひとつの化粧品には、見えないところで支えてくれる多くの企業や人の想いと技術が込められています。本ブースでは、オッペン化粧品の中核となる製品開発の姿勢に加え、それを支えるグループ企業、そしてともにものづくりを進めるパートナー企業の取り組みを紹介しました。原料の選定から製造、パッケージ、物流、販売に至るまで、ひとつの製品が生まれるまでには、実に多くの連携と物語がありそれぞれの専門性が発揮されています。単なる下請けや発注先ではなく、私たちはそれぞれの企業を「共に美を創る仲間」と考えています。「未来の美しさ」は決して一社ではつukれない。「つながり」こそが未来を照らす。万博という未来を語る舞台上、企業同士がつながり、補い合い、信頼し合いながら、未来の美しさを共に創っていることを来場者の皆さまに感じていただけるブースを展開しました。



D - 16 株式会社ステーションナリーマーケット



テレビでおなじみの文房具ソムリエ「石津大」がプロデュースする文具店「ステーションナリーマーケット」。「マツコの知らない世界」をはじめ、「TVチャンピオン極」で文房具王獲得。文具屋の息子に生まれ、7歳から文具屋に立ち続けていましたが文具チェーン店を経営した後、コロナで文具店を閉店。現在は文房具プロデュース・手帳プロデュース・文具売場のアドバイザーなどを行っております。2024年には著書「文房具ソムリエの手帳時間」を出版し、新たな手帳の概念を知っていただく活動を行っております。

展示テーマ 日本の文具と伝統産業のモノづくりの世界

「日本のものづくり」を世界へ届けるため、共に挑む仲間たちと熱量あふれる共同ブースを展開しました。文具、雑貨、工芸品——ジャンルを超えて集まった日本の技術と感性を、ただ“見せる”のではなく、“感じてもらう”空間に。製品に込めた想い、背景にある物語、使うことで広がる体験。そのすべてを通して、世界中の来場者の心を動かす展示を実現しました。



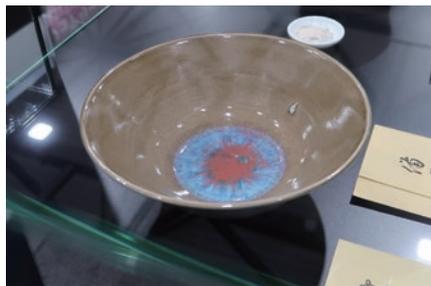
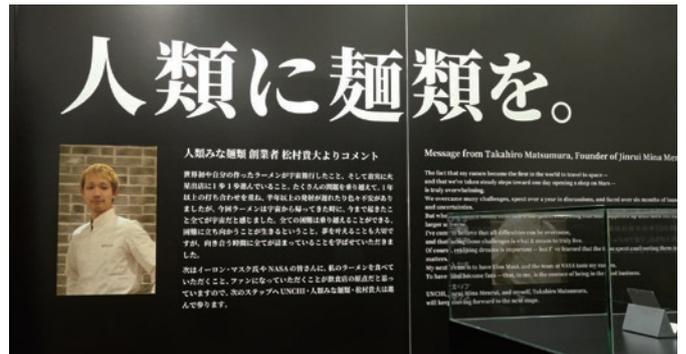
D - 17 UNCHI 株式会社



世界初ラーメンを宇宙に飛ばした男・松村 貴大により創業。「ラーメンの力で世界をかえる」革命を掲げ、世界中に笑顔を届ける挑戦を続行中。国内オープン実績：2021年10店舗、2022年22店舗、2023年31店舗、2024年約300店舗（イベント含む）。海外実績：中国、香港、ネパール、NY、パラオ、韓国。次なる舞台は宇宙。

展示テーマ 世界初！宇宙に行って帰って来た「らーめん」を展示
／人類みな麺類のラーメン原点

日本時間の2023年11月10日10時28分に、イーロンマスク氏率いるアメリカの航空宇宙メーカーSpaceX社の宇宙ロケット「Falcon 9」に、UNCHI株式会社が運営するラーメンブランドの一つである「人類みな麺類」のラーメン食材などを乗せて宇宙に打ち上げる、宇宙ラーメンプロジェクト「人類みな麺類 宇宙へ!!!」が行われました。約10カ月間の宇宙の旅を経て、2024年12月18日に地球へ帰還し、世界初の偉業を達成。実際に宇宙への旅を果たした「ラーメン具材」などを展示しました。



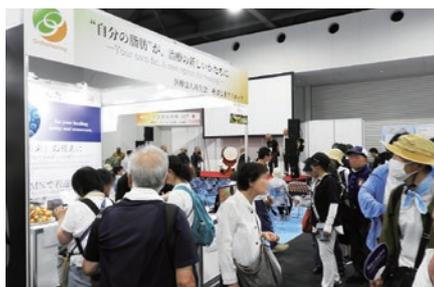
D-18 医療法人再生会そばじまクリニック



当クリニックでは、主に関節の疾患に対し、自身の脂肪から採取した細胞を用いた再生医療を提供しています。細胞の製造・管理を自施設で行い、国内トップレベルの症例数を有しているため、患者様に安心して治療を受けていただくことができます。さらに、医療機関や企業との共同研究を進めるとともに、近年注目成分の若返り成分「NMN」も導入し、先進医療の力を最大限に活用して、日々患者様の健康を追求しています。

展示テーマ **Well-being** を実現する2つのキーワード
—再生医療 × NMN—

『Well-beingの実現に向けて』そばじまクリニックでは、「Well-being (心身の健康・幸福・社会的な充足)」の実現を目指し、日々治療を行い、研究も進めています。その中で現在注目している2つのキーワードが「再生医療」と「NMN」です。再生医療は、あなたがけがをしたり病気になったとき、あなたの体の中にある細胞を用いて自然治癒力を高めることにより、悪いところを修復する治療法です。日本でも徐々に広がりを見せており、様々な研究機関や企業からも注目されています。「あなたの力で、あなたを救う」——そんな言葉が実現する世界がすぐそこまで来ています。そして、近年世界中で「若返りの鍵」として注目を集めている、「NMN (ニコチンアミドモノヌクレオチド)」を取り入れた新たな治療法の開発にも取り組んでいます。あなたも、「自分の力」と「NMNの力」で、未来の医療を一步先に体験してみませんか？新しい技術でWell-beingの実現へ。そばじまクリニックがサポートします。



2025年日本国際博覧会会場 EXPO メッセ「WASSE」 セミナー会場イベント

「第3回日本国際芸術祭/大阪・関西万博展」の会期中、会場の一角に“セミナー会場”として特設ステージを開設し、ブース出展団体様のうち有志の皆様には様々なステージを繰り広げて頂きました。初日のオープニングセレモニーにはじまり、寺院様によるコンサート、各団体様によるレクチャー、大学様によるワークショップや未来を担う学生さん達によるステージはいずれも華やかで、会場はお祭りのような熱気に包まれました。ブース展示に加え、ステージでのライブパフォーマンスが加わることで、日本国際芸術祭が目指す「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジーの共創」を、来場者の方々により一層実感して頂けたと存じます。



EXPO メッセ セミナー会場 イベントスケジュール

2日(水)

10:30~11:00
オープニングセレモニー
(一社) 夢洲新産業・都市創造機構

14:00~16:15
天台声明実演・御室金剛講 御詠歌コンサート
天台宗総本山 比叡山延暦寺／真言宗御室派総本山 仁和寺

18:00~19:10
世界とつながる“海の万博”講演会&祝賀コンサート
大阪府漁業協同組合連合会

3日(木)

シャパンデー

11:00~11:30
日本にいらっしゃる海外の方々へのおもてなし事例について
(株) Plan・Do・See

14:00~16:00
古代の色彩染色体験！天然染料で丹後シルクを染色
大手前大学

17:00~20:00
日本の伝統文化を世界に発信するには？
～獅子舞披露×パネルディスカッション～
(株)ステーションリーマーケット

4日(金)

10:30~12:30
山伏問答と法螺の吹鳴
本山修験宗総本山 聖護院門跡

13:00~16:20
「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」をテーマとしたセミナー・書道パフォーマンス
(水戸学院高校書道部) 教育遺産世界遺産登録推進協議会

18:00~20:00
第6回京都ラウンドテーブル
大阪・関西万博きょうと推進委員会
(一社) 夢洲新産業・都市創造機構

5日(土)

10:45~11:05 12:15~12:35
はみがきうさぎとロクローと一緒に
はみがきダンスをしよう！ (特非)おくちのけんこう

14:30~16:30
墨絵イラストレーター茂本ヒデキチ先生によるライブペイント
・ラジオ大阪「大阪芸大スカイキャンパス」公開収録
大阪芸術大学

18:00~20:00
能の魅力を紹介する体験講座と能の上演
(公財) 山本能楽堂

6日(日)

10:30~12:00
SDGs 達成に向けた教育・研究・地域連携活動の研究発表イベント 関西大学



7/2 WED 10:30 第3回日本国際芸術祭 大阪・関西万博展 オープニングセレモニー

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

会場 | 2025年日本国際博覧会会場 EXPOメッセ「WASSE」セミナー会場

「第3回日本国際芸術祭大阪・関西万博展」オープニングセレモニーを華やかに執り行いました。テープカット式は、産学公の著名な方々と1000年を超える歴史と多くの国宝を所蔵されている有名6寺院様等26名様に御登壇頂き、お一人お一人からお祝いのお言葉を頂戴いたしました。多くのお客様にご覧いただく中、多数のメディアに取材いただき、開幕を寿ぐムードに包まれました。



テープカット式ご登壇者様 ※50音順

- ・在大阪インドネシア共和国総領事館 領事 アンディー・ラクスマナ 氏
- ・在大阪ハンガリー領事館 領事館長 アンドラーシュ・ケレケシュ 氏
- ・大阪大学 教授 / ATR石黒浩特別研究所 客員所長
2025年日本国際博覧会協会テーマ事業プロデューサー 石黒 浩 氏
- ・京南倉庫(株) 代表取締役社長 上村 多恵子 氏
- ・(株)長谷エコーポレーション 副社長執行役員
(公財)リそなアジア・オセアニア財団 理事長 岡橋 達哉 氏
- ・(公社)2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局長 小林 浩史 氏
- ・岩井コスモ証券(株) 代表取締役社長COO
岩井コスモホールディングス (株) 代表取締役社長COO 笹川 貴生 氏
- ・世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺 代表役員執行 獅子王 圓明 氏
- ・(学)関西大学 理事長 芝井 敬司 氏
- ・世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺 門跡 瀬川 大秀 氏
- ・(公社)関西経済連合会 専務理事 関 総一郎 氏
- ・世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺(西本願寺)総長 園城 義孝 氏
- ・大阪大学 総長補佐/社会ソリューションイニシアティブ長 堂目 卓生 氏
- ・(一社) 関西経済同友会 常任幹事 事務局長 富森 浩治 氏
- ・2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合 事務局長
中島 知子 氏
- ・(株)竹中工務店 取締役会長 難波 正人 氏
- ・東大阪市長 / 全国市長会 副会長 野田 義和 氏
- ・在大阪スイス領事館 領事・領事館長 フェリックス・メスナー 氏
- ・世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺)執事長 三浦 文良 氏
- ・政府代表 特命全権大使(関西担当)
2025年日本国際博覧会政府代表代理 三澤 康 氏
- ・本山修験宗総本山 聖護院門跡 門主 宮城 泰年 氏
- ・大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 総領事 メラニー・ザクシンガー 氏
- ・駐神戸大韓民国総領事館 総領事 / (一社)関西領事団 団長 李 相烈 氏
- ・真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺 執事 渡邊 恭章 氏
- ・(株)健康都市デザイン研究所 代表取締役社長 / (一社)夢洲新産業・都市創造機構 代表理事 井垣 貴子 氏





アンディー・ラクスマナ氏



アンドラーシュ・ケレケシュ氏



石黒 浩氏



上村 多恵子氏



岡橋 達哉氏



小林 浩史氏



笹川 貴生氏



獅子王 圓明氏



芝井 敬司氏



瀬川 大秀氏



関 総一郎氏



園城 義孝氏



堂目 卓生氏



富森 浩治氏



中島 知子氏



難波 正人氏



野田 義和氏



フェリックス・メスナー氏



三浦 文良氏



三澤 康氏



宮城 泰年氏



メラニー・ザクシンガー氏



李 相烈氏



渡邊 恭章氏



会場の模様



会場の模様



終了後のお茶席での模様



M
03

7/4 FRI
18:00-20:00

第6回京都ラウンドテーブル「大阪・関西万博の成果と未来共創」 会場 | EXPO メッセ「WASSE」

「京都ラウンドテーブル」は、大阪・関西万博と文化庁の京都移転を契機に、京都からの発信が、関西のみならず国内外の産学公の多様な共創に繋がることを目指しています。第6回となる今回は、ジャパンデー(7月3日)翌日、大阪・関西万博会場のEXPO メッセ「WASSE」にて、ラウンドテーブル形式のセミナーを開催しました。今回は、「大阪・関西万博の成果と未来共創」をテーマに、世界158か国・地域が参加している万博の成果を京都をはじめ日本の歴史・文化・芸術や、先端産業・イノベーションと繋ぎ、未来に向けてどのように共創、成長させていくかについて討議しました。本企画を通じ、夢洲新産業・都市創造機構は、文化庁が京都に移転し、文化芸術首都とも言える京都から、SDGsのみならずその先のBeyond SDGsの根幹となる文化芸術を、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を推進する「日本国際芸術祭」と連動し、公式参加国とも連携し、日本から世界へ発信していく取組を推進して参ります。

主催 | 大阪・関西万博きょうと推進委員会
(一社) 夢洲新産業・都市創造機構

会場 | 大阪・関西万博 EXPOメッセ「WASSE」

ご登壇者 開会挨拶 ▶ 京都府知事 西脇 隆俊氏
京都市 副市長 竹内 重貴氏

大阪・関西万博きょうと推進委員会 座長 / 総合地球環境学研究所 所長
大阪・関西万博シニアアドバイザー 山極 壽一氏

2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー 石川 勝氏

2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 河森 正治氏

2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 中島 さち子氏

ビデオメッセージ

2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 石黒 浩氏

モデレーター ▶ (株) 三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸氏



記念撮影



会場の模様



ラウンドテーブルの様様



ラウンドテーブルの様様



京都府知事 西脇 隆俊氏



京都市 副市長 竹内 重貴氏



大阪・関西万博きょうと推進委員会 座長/総合地球環境学研究所 所長
大阪・関西万博シニアアドバイザー 山極 壽一氏



2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー
石川 勝氏



2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
河森 正治氏



2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
中島 さち子氏



2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
石黒 浩氏 (ビデオメッセージ)



(株)三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸氏

7/2 WED 18:00~19:10 世界とつながる“海の万博” 講演会&祝賀コンサート 大阪府漁業協同組合連合会

大阪府漁業協同組合連合会は昭和25年に大阪府内の漁業協同組合で構成する連合会として設立され、日本の食を支える漁業生産活動の発展のため、漁業資材の供給、組合組織の指導、魚介類の販売・広報活動を行われています。また、大阪湾の水産資源や環境の保全のため、資源管理型漁業の構築、海洋ゴミの回収活動を積極的に進め、豊かな海づくりに貢献されています。令和8年11月14・15日には国民的行事の一つである「全国豊かな海づくり大会」が大阪で初めて開催されることとなり、行政と連携して大会の成功に向けて取り組まれています。

セミナー当日は大阪湾の漁業・魚介類の魅力をご来場の皆様にとって頂くため、大阪湾の成り立ちや漁業の歴史を紐解き、そして現在の大阪の漁業の姿を実際に操業している動画を用いてご説明いただきました。また、大阪湾で漁獲される魚介類の種類、魅力とともに、観光資源としての大阪湾の美しさをご紹介いただきました。自然環境に立ち向かいつつ、豊かな大阪湾の恵みに感謝し漁業を営んでいる漁師さんの思いを、同連合会会長の岡修様の歌唱により披露くださいました。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構
協力 | 大阪府漁業協同組合連合会

ご登壇者

大阪府漁業協同組合連合会 代表理事 会長 /
大阪府鰻巾着網漁業協同組合 代表理事組合長 岡 修氏
大阪府漁業協同組合連合会 岡本 英明氏

第3回日本国際芸術祭 大阪・関西万博展 EXPO メッセ「WASSE」セミナー会場イベント JIAF

世界とつながる “海の万博”

講演会&祝賀コンサート 2025.7.2 (水) 18:00~

会場 | 2025年日本国際博覧会会場 EXPO メッセ「WASSE」セミナー会場
【観覧無料】「第3回日本国際芸術祭/大阪・関西万博展」開催中 ※会場内への入場には大阪・関西万博入場チケットが必要です。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 協力 | 大阪府漁業協同組合連合会

世界とつながる「海の万博」
講演会&祝賀コンサート
<ご登壇者>
大阪府漁業協同組合連合会 代表理事 会長 /
大阪府鰻巾着網漁業協同組合 代表理事組合長
岡 修氏

第一部 講演会 / 18:00~
大阪の漁業・魚介類の魅力について

第二部 祝賀コンサート / 18:25~
【曲目】① 夢洲の海 ② 海の叩き上げ
③ 大漁漁港 ④ いつもありがとう

旬魚 魚庭

協賛
ブラチダ協賛：阪急電鉄(株) ゴールド協賛：オムロン(株)/船井コスモ証券(株)/(株)竹中工務店
スポンサー(株) 豊後コーポレーション/住信ユニオン

協賛
京都市/京都市/経済産業省近畿経済産業局/一社) 関西経済同友会/「大阪・関西万博」京都支援協議会/大阪商工会議所(公社) 関西経済連合会/公社) 2025年日本国際博覧会協会/一社) 関西経済同友会
2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する若手会議

後援
在名古屋カナダ総領事館/中華人民共和國駐大阪総領事館/在大阪タイ王国総領事館
駐大阪大韓民国総領事館/在大阪フランス共和国総領事館/在大阪ドイツ連邦共和国総領事館/オランダ王国大使館
大阪・神戸インド総領事館/在大阪インドネシア共和国総領事館/在大阪フィリピン共和国総領事館/在大阪スイス領事館
イタリア文化会館-大阪/在大阪ハンガリー領事館/在大阪・神戸米国総領事館/在京都フランス総領事館

特別協力
仁徳寺/東寺(教王護国寺)/聖護院門跡/建仁寺/浄土宗 泉涌寺/龍谷山 本願寺(西本願寺)/比叡山 延暦寺

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル8階 TEL:06-6136-8803
E-mail: info@yumeshimakou.com
事務局 株式会社健康都市デザイン研究所 大阪府大阪市東淀川区 電話:06-6633-1111
URL: http://yumeshimakou.org/ 事務局URL: http://www.kankoshiki.com/



大阪府漁業協同組合連合会 代表理事 会長 岡 修氏



コンサートの模様





コンサートの模様



コンサートの模様



大阪府漁業協同組合連合会 岡本 英明 氏



会場の模様



7/2 WED 14:00-16:15 天台声明実演・御室金剛講 御詠歌コンサート

天台宗総本山 比叡山延暦寺
真言宗御室派総本山 仁和寺



真言宗御室派総本山仁和寺と天台宗総本山比叡山延暦寺は、合同で御詠歌、声明のコンサートを行いました。仁和寺は、御室金剛講による金剛流御詠歌と舞踊の共演、ピアノの生演奏との合唱曲が唱えられました。延暦寺は、叡山流御詠歌を唱えたほか、経文に旋律をつけた日本音楽の源流とも言われる天台声明を披露しました。また、ステージ終盤には、仁和寺と延暦寺の合同による般若心経が太鼓と共に唱えられ、会場内の聴衆と共に世界平和を祈願する法楽を行いました。



7/3 THU 11:00-11:30 日本にいらっしゃる海外の方々へのおもてなし事例について

株式会社 Plan・Do・See



海外の方々が日本にお越しいただくことがここ数年需要があがり、観光大国になっている日本ですが、その中で日本にお越しただけだからそのおもてなしをホテルやご宴会場、レストラン、ウェディングを通して提供しております。その中でも海外の方々により日本のおもてなしを感じていただきたい想いから、お食事やサービス以外での観点から舞妓さんを会場にお呼びして演舞していただくパフォーマンスやその他琴の演奏や日本文化体験などの演出も数多く展開しており、その事例のご紹介をさせていただきました。



7/3 THU 14:00-16:00 古代の色彩染色体験！天然染料で丹後シルクを染色

大手前大学



古代の染の説明を聞きながら、蘇芳、くちなしなど古くから使用される植物染料を、生地は着物生地の丹後ちりめんなど丹後シルクを使用し、天然染料体験をしていただきました。本学学生を中心としたスタッフが参加者の皆さんをサポートし、約250名の皆さまに体験いただき、ご自身で染色した生地を持ち帰っていただきました。



7/3 THU 17:00-20:00 日本の伝統文化を世界に発信するには？～獅子舞披露×パネルディスカッション～
株式会社ステーションリーマーケット



日本のモノづくりは、長い歴史と伝統に支えられ、機能や性能を重視して語られることが多くあります。しかしその背景には、ひとつひとつに込められた作り手の想いがあります。本セミナーでは、その想いを万博の場で世界へと発信し、多くの方々に日本のモノづくりの本質を感じていただく機会を創出しました。



7/4 FRI 10:30-12:30 山伏問答と法螺の吹鳴

本山修験宗総本山 聖護院門跡



偽山伏が横行する時代に、本当に聖護院配下の山伏かどうかを確かめるために行われたのが山伏問答です。現在は儀式の一つとして行われていますが、修験道の宗旨や開祖、身につける衣装の意味などを問答の中で知ることができます。来場の皆様には実際に行われている山伏問答をわかりやすい解説を交えながらご覧いただき、山伏が合図として使用する法螺の吹鳴を聞いていただきました。その他、法螺吹き体験や山伏への質問など、日常では稀な山伏の世界に触れる体験をしていただきました。



7/4 FRI 13:00-16:20 「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」をテーマとした
セミナー・書道パフォーマンス(水戸葵陵高校書道部) 教育遺産世界遺産登録推進協議会



日本の近世史学者で時代考証学会会長も務める大石 学氏(東京学芸大学名誉教授)による基調講演「徳川の平和(Pax Tokugawana パクス・トクガワーナ)と江戸のリテラシー」、学校教育と観光分野における日本遺産の活用をテーマとした水戸市・足利市・備前市・日田市の市長等と大石 学氏の対談、近世日本の学びのひとつで、芸術分野でも海外から高い評価を得ている「書道」について、水戸葵陵高等学校書道部による書道パフォーマンスを通して、日本遺産「近世日本の教育遺産群」の魅力伝えました。



7/5 SAT 10:45-11:05
12:15-12:35

はみがきうさぎとロクローと一緒にはみがきダンスをしよう！

特定非営利活動法人おくちのけんこう



「はみがきうさぎのショー」は、【歯科×エンターテインメント】の発想で、お口の健康を楽しく学べる参加型ステージです。オリジナルキャラクター「はみがきうさぎ」とおともだちの「ロクロー」が登場し、オリジナルソングやダンス、体操を交えて、むし歯予防や歯みがきの大切さ、よく噛んで食べることの重要性をわかりやすく伝えます。子どもから大人まで笑顔で学べる内容で、観客が一体となって楽しみながら健康意識を高められるショーを実施しました。



7/5 SAT 14:30-16:30

墨絵イラストレーター茂本ヒデキチ先生によるライブペイント
・ラジオ大阪「大阪芸大スカイキャンパス」公開収録

大阪芸術大学



大阪芸術大学デザイン学科卒業生・客員教授で墨絵イラストレーターの茂本ヒデキチ氏がライブペインティングを披露。ステージ上の壁面に貼られた高さ1.8m、幅0.9mの3枚の和紙へ生き生きと躍動感のあるアスリートを描き出しました。続いて今回出展したデザイン学科卒業生の松本セイジ氏、茂本ヒデキチ氏、キャラクター造形学科卒業生の石塚大介氏、デザイン学科卒業生のTHREE [スリー]の二人の計4組のアーティストをゲストに迎えた、ラジオ大阪「大阪芸大スカイキャンパス」の公開収録を行いました。



7/5 SAT 18:00 -20:00 能の魅力を紹介する体験講座と能の上演

公益財団法人 山本能楽堂



セミナー会場を能舞台に見立て、国内外からの多くの来場者の方に、能の魅力を知り、楽しんで頂くため、能の中でも人気の高い、源氏物語を題材とした「葵上」を上演させて頂きました。「葵上」は世阿弥の作としても知られています。同時にメッセの会場で能を紹介するブースを出させて頂き、「葵上」に使用する能面(般若、泥眼、小面)を、能面や能装束のタペストリーとともに華やかに展示し、それらを題材とした缶バッジも約 2500 名の来場者の方に無料で製作体験をして頂きました。能への理解や親しみを深めて頂くことで、能の魅力を多くの方々に発信させて頂くことができました。

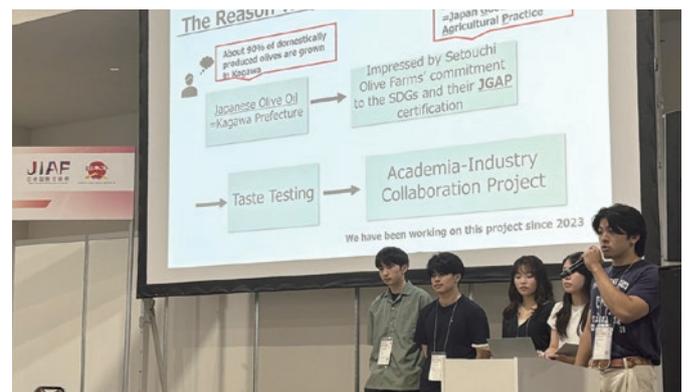


7/6 SUN 10:30 -12:00 SDGs達成に向けた教育・研究・地域連携活動の研究発表イベント

関西大学



関西大学や連携大学が取り組んでいる SDGs 達成に向けた教育・研究・地域連携活動の成果を、広く社会に発信することを目的としています。学生たちの発表を通じて、多様な社会課題への実践的な取り組みや、地域との協働による課題解決の成果を紹介しました。持続可能な未来社会の実現に向けた「知の連携」を体現する場として、大学の知が社会とつながる意義を広く伝えるとともに、大阪・関西の地域性や国際性を背景に、学生たちの専門領域と SDGs、地域連携の関係性や大学間の協働による新たな価値創造の可能性を発信する機会となりました。





7/3 THU 15:45-16:15 ジャパンデーパレード



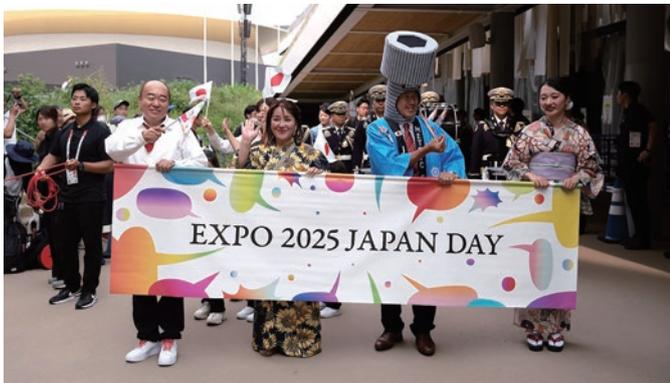
大阪・関西万博の、日本のナショナルデーであるジャパンデー・7月3日に、会場を練り歩く華やかなパレードが行われました。大阪・関西万博の公式キャラクターである「ミャクミャク」や人気キャラクターと共に「第3回日本国際芸術祭大阪・関西万博展」にご出展の寺院様、企業・団体様の有志の方々が、陸上自衛隊中部方面音楽隊によるドラム演奏に合わせパレードに参加。記念すべきジャパンデーを盛大にお祝いしました。

会場 | 大阪・関西万博
EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」
▶日本館前 ▶関西バビリオン付近（大屋根リング下）

パレード参加団体（夢洲機構より）

彩り
ケンブリッジコンサルタンツ（株）
サンコーインダストリー（株）
スケールアウト（株）

世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺
本山修験宗総本山 聖護院門跡
（公財）山本能楽堂



安芸高田神楽協議会



和歌山県立橋本高等学校



神戸市立神港橋高等学校 龍獅團



大阪高等学校 和太鼓部 笑龍



ポップアップステージ 南

7/2 WED 12:00-16:20 日本国際芸術祭 in EXPO 2025 ~ KAGURA ~ 出演 | 広島県 安芸太田町の神楽団

神楽(かぐら)は、日本の伝統的な舞踊や音楽を含む芸能で、神道の祭祀や儀式に奉納されるものです。神話や伝説を題材とし、華やかな衣装や神楽面を用いて、太鼓や笛の囃子に合わせて舞います。古代から神々への感謝や祈りを表現する目的で行われ、地域ごとに独自のスタイルが発展しました。現在では、祭りやイベントなどで上演されることが多く、地域文化の象徴として親しまれています。当日は気温が高い屋外での開催にも関わらず多くのお客様にお立ち寄りいただき、勇壮な笛・太鼓の音色に合わせて繰り広げられる迫力のステージに惜しめない拍手が送られました。

【出演】安芸太田町 松原神楽団 / 本郷神楽団 / 川北神楽団 ほか
 【演目】土蜘蛛、八岐大蛇、塵倫、神武など



ご挨拶
 安芸太田町長 橋本 博明氏







ポップアップステージ 南



7/3 THU 11:00-14:00 16:00-19:00

日本国際芸術祭 in EXPO 2025 ~ 吟剣詩舞で巡る日本の美 ~

出演 | (公財)日本吟剣詩舞振興会

(公財)日本吟剣詩舞振興会による「吟剣詩舞」を開催致しました。日本で昔から変わらない、そして今も大切にされているものに日本の美と武士(さむらい)の心があります。この度はそれを伝統芸道である「吟詠(歌)」と「剣詩舞(舞)」でお楽しみいただきました。総勢 180 名の出演者による艶やかで情緒溢れる舞台が繰り広げられ、昼夜 2 公演とも多くのおお客様にご鑑賞いただきました。







ワークショップ



和太鼓ワークショップ



ミニ和太鼓手作りワークショップ



たご焼き試食



2025年日本国際博覧会会場 ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier 「WA」スペース



Victor Picon © Cartier

「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」パビリオンは、内閣府及び経済産業省、カルティエ、2025年日本国際博覧会協会が共同で出展しました。「When women thrive, humanity thrives～ともに生き、ともに輝く未来へ～」をコンセプトに掲げ、すべての人々が真に平等に生き、尊敬し合い、共に歩みながら、それぞれの能力を発揮できる世界をつくるきっかけを生みだしました。パビリオンの2階に位置する「WA」スペースでは、「大いなる地球」「ビジネスとテクノロジー」「教育と政策」「芸術と文化」「フィランソロピー」「役割とアイデンティティ」という6つの重要なテーマでイベント開催。ビジョナリーリーダーや活動家、専門家とともに、人々の行動を喚起する発信を行いました。



7/9 WED 14:30-18:00 Global Presentation グローバルプレゼンテーション コミュニティのチカラ、事業のチカラ

ウーマンズ パビリオンが掲げる「ともに生き、ともに輝く未来へ」のコンセプトに基づき、日本国内はもとより、国境を越え様々なテーマで社会課題を解決し、事業を推進されている女性起業家、女性経営者による「プレゼンテーション」と「トークセッション」を発信いたしました。世代や分野の違うコミュニティリーダーがともに発信をすることにより、ここからまた新たな価値が生まれ、大きな力となり、未来につながることを予感させるイベントとなりました。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 共催 | (株) ママそら

会場 | 2025年日本国際博覧会会場 ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier 2F 「WA」スペース

ご登壇者

PRESENTATION 1 女性起業家・事業化によるプレゼンテーション

アーティスト/神職 涼恵氏
37Company(同)代表 ARICA氏
(株)As Mama 代表取締役 甲田 恵子氏
(株)鮎忠 代表取締役副社長 安孫子 由実氏
MC▶(株)ママそら 広報 小菅 隆太氏 ※PRESENTATION 1、2

PRESENTATION 2 女性起業家・事業会社によるプレゼンテーション

(株)ママそら 副社長/みらいのたからばこ統括 見谷 麗氏
(株)MIRAIE 代表取締役 Co-Founder 大宮 千絵氏
NGO団体 GIFT OF BANANA 代表 津田 久美子氏
ベストアメニティ(株) 取締役副社長 菰方 順子氏

TALK SESSION <Theme1>フィランソロピーとコミュニティ

アーティスト/神職 涼恵氏
37Company(同)代表 ARICA氏
(株)As Mama 代表取締役 甲田 恵子氏
(株)ママそら 副社長/みらいのたからばこ統括 見谷 麗氏
ファシリテーター▶(株)ママそら 代表取締役CEO 奥田 絵美氏

<Theme2>ジェンダーとアイデンティティで考えるテーマ「食」

(株)鮎忠 代表取締役副社長 安孫子 由実氏
(株)MIRAIE 代表取締役 Co-Founder 大宮 千絵氏
NGO団体 GIFT OF BANANA 代表 津田 久美子氏
ベストアメニティ(株) 取締役副社長 菰方 順子氏
ファシリテーター▶(株)ママそら 広報 小菅 隆太氏

PRESENTATION 1,2 / TALK SESSION



アーティスト/神職 涼恵氏



37Company(同)代表 ARICA氏



(株)As Mama 代表取締役 甲田 恵子氏



(株)耐忠 代表取締役副社長 安孫子 由実氏



(株)ママそら 副社長/みらいのたからばこ 統括 見谷 麗氏



(株)MIRAIE 代表取締役 Co-Founder 大宮 千絵氏



NGO団体 GIFT OF BANANA 代表 津田 久美子氏



ベストアメニティ株式会社 取締役副社長 菰方 順子氏



(株)ママそら 代表取締役CEO 奥田 絵美氏



会場の模様

9/12 FRI 13:30 - 18:30 Gender-responsive and Inclusive Design Summit ジェンダーデザインサミット

全ての女性が活躍できる社会を目指し、日本と世界の女性活躍を広く国内外に発信するサミットです。SDGsの重要課題の一つであるジェンダー平等について、世界中から智慧を出し合い、先進的な取組を学び合い、Gender-responsive and Inclusive Design による新ビジネス、都市づくり等の新たな取組を紹介。「ジェンダーに敏感なデザイン＝Gender-responsive and Inclusive Design」として、日常生活の道具から住まい、都市のあり方や社会の仕組みにいたるまで、あらゆる場面においてジェンダー平等への貢献を意識して設計（デザイン）する考え方を提唱しました。本サミットを契機に Gender-responsive and Inclusive Design による新商品や新製品、新技術、新事業が創出され、ジェンダー平等が達成された、いのち輝く未来社会のデザインへと集大成されることを願います。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構
 会場 | 2025年日本国際博覧会会場 ウーマンズパビリオン
 in collaboration with Cartier 2F 「WA」スペース

第1部 基調講演
 13:30 - 14:25
 坂東 真理子 氏
 ナンシー・ゴードン 氏

第2部 テーマセッション
 14:35 - 16:10
 光嶋 由佳 氏
 フェリックス・メスナー 博士
 中島 さち子 氏
 本田 孝子 氏

第3部 パネルディスカッション
 16:25 - 17:45
 光嶋 由佳 氏
 フェリックス・メスナー 博士
 中島 さち子 氏
 本田 孝子 氏

第4部 総括・アランチング (17:45 - 17:55) / 閉会の挨拶 / 第5部 参加者交流会 (18:00 - 18:30)

ご登壇者 第1部 基調講演

昭和女子大学 総長 坂東 真理子氏
 オーストラリア外務貿易省 2025年大阪・関西万博 オーストラリア館
 陳列区域政府代表 ナンシー・ゴードン氏

第2部 テーマセッション

リーダーシップ111 代表 モーハウス代表 光嶋 由佳 氏
 在大阪スイス領事館 領事・領事館長 フェリックス・メスナー 博士
 2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
 音楽×数学×STEAM教育 (株)steAm 代表 中島 さち子 氏
 (株)日建設計 執行役員 設計監理部門 設計グループ代表 本田 孝子 氏

第3部 パネルディスカッション

モデレーター ▶ (株)三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸 氏

第1部 基調講演



昭和女子大学 総長 坂東 真理子 氏



オーストラリア外務貿易省 2025年大阪・関西万博 オーストラリア館
 陳列区域政府代表 ナンシー・ゴードン 氏



オーストラリア外務貿易省 2025年大阪・関西万博 オーストラリア館
 陳列区域政府代表 ナンシー・ゴードン 氏



オーストラリア外務貿易省 2025年大阪・関西万博 オーストラリア館
 陳列区域政府代表 ナンシー・ゴードン 氏

第2部 テーマセッション



Theme1 職 「働く/work」 / リーダーシップ111 代表 モーハウス代表 光畑由佳氏



Theme2 都市 「創る/Learning City」 / 在大阪スイス領事館 領事・領事館長 フェリックス・メスナー 博士



Theme3 学 「育つ/Nurture Growth」 / 2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 音楽×数学×STEAM教育 (株)steAm 代表 中島さち子氏



Theme4 共 「生きる/Public space」 / (株)日建設計 執行役員 設計監理部門 設計グループ代表 本田孝子氏

第3部 パネルディスカッション



記念撮影



パネルディスカッションの様様



パネルディスカッションの様様



(株)三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸 氏



会場の様様



ウーマンズパビリオン

Victor Picon © Cartier

9/16 TUE 13:30-18:50 World Parenting Summit 世界子育てサミット

人類が成しえる最大の偉業である出産、そして育児は地球の次世代に貢献していることを再認識することがグローバルな世界で必要不可欠です。本サミットでは世界各国の著名な方々から子育てに関連する講演とパネルディスカッションを行っていただきました。さらに、世界各国の母親や育児に携わる人々から経験や課題を発表頂き、特に女性の創造性、知識、たくましさなどの活動状況を広く共有すると共に、希望のある未来に繋がる子育てについて、参加者との質疑も交え語り合いました。母親だけでなく育児に携わる家族や各界の人々が、愛を持って世界を平和で持続可能な発展に導く灯火となり得ることを確認する重要な機会となりました。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

会場 | 2025年日本国際博覧会 会場ウーマンズパビリオン
in collaboration with Cartier 2F 「WA」スペース

ご登壇者 第1部 ご講演 第2部 パネルディスカッション

大阪商工会議所 副会頭・女性会顧問 (株)広瀬製作所 代表取締役社長
廣瀬 恭子 氏

2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー
音楽×数学×STEAM教育 (株)steAm 代表 中島 さち子 氏

京都精華大学元学長 名誉教授 東京都公立大学法人理事
2025大阪・関西万博 副会長 (理事)・シニアアドバイザー
ウスビ・サコ 氏

リンクトイン・ジャパン(株) 日本代表 田中 若菜 氏

ご挨拶/第2部・第3部モデレーター▶

滋慶学園グループ/大阪ホテル・観光&ウエディング専門学校 教育顧問
大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校 教育顧問
グローバルキッズプレイス 英語アフタースクール 東京 創設者
オーストラリア キーンズランド大学 社会科学・人間学・言語文化学部
名誉講師
内山 加代子 氏



第3部 各国の子育て発表

- (株)クレ・ドウ・レーブ 人事部キャリアプランニングマネージャー 山下 由衣子 氏
- 京都先端科学大学 キャリアディベロップメントセンター キャリアマネジメント課 主査 デラート・ジャクソン 氏
- オーストラリア キーンズランド大学 ビジネススクール ツーリズム科主査 准教授 チェン・モニカ 氏 ※オンライン登壇
- オーストラリア ニューサウスウェルズ州知事室 教育庁主査 フォーサイス・伊織 氏 ※オンライン登壇
- 主婦/教会サンデースクール 教育コーディネーター ラトリフィ・ジュリア 氏 ※ビデオメッセージ
- 英語教師/ITインストラクター/美術工芸教師 ニキチナ・インナ 氏 ※ビデオメッセージ
- 薬剤師 エノウター・ダイアン 氏 ※ビデオメッセージ

第1部 ご講演



ご挨拶/第2部・第3部モデレーター▶ 滋慶学園グループ/大阪ホテル・観光&ウエディング専門学校 教育顧問
大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校 教育顧問 グローバルキッズプレイス 英語アフタースクール 東京 創設者
オーストラリア キーンズランド大学 社会科学・人間学・言語文化学部 名誉講師 内山 加代子氏



大阪商工会議所 副会頭・女性会顧問
(株)広瀬製作所 代表取締役社長 廣瀬 恭子氏



2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー
音楽×数学×STEAM教育 (株)steAm 代表 中島 さち子氏



京都精華大学元学長 名誉教授 東京都立大学法人理事
2025大阪・関西万博 副会長 (理事) ・シニアアドバイザー ウスビ・サコ氏



リンクトイン・ジャパン(株) 日本代表 田中 若菜氏



第2部 パネルディスカッション



パネルディスカッションの様相



第3部 各国の子育て発表



(株)クレ・ドウ・レーブ 人事部キャリアプランニングマネージャー
山下由衣子氏



京都先端科学大学 キャリアディベロップメントセンター キャリアマネジメント課 主査
デラート・ジャクソン氏



オンライン・ビデオメッセージにてご登壇



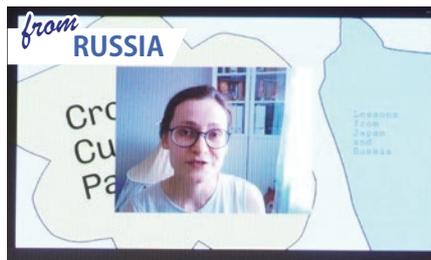
オーストラリア キーンズランド大学
ビジネススクール ツーリズム科主査
准教授 チェン・モニカ氏 ※オンライン登壇



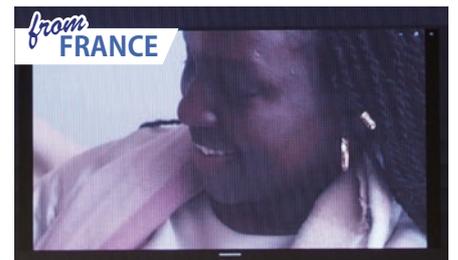
オーストラリア ニューサウスウェルズ州知事室
教育庁 主査 フォーサイス・伊織氏
※オンライン登壇



主婦 / 教会サンデースクール
教育コーディネーター
ラトリフィ・ジュリア氏 ※ビデオメッセージ



英語教師 / IT インストラクター
美術工芸教師
ニキチナ・インナ氏 ※ビデオメッセージ



薬剤師 エノウター・ダイアン氏
※ビデオメッセージ

大阪・関西万博未来型チャレンジショップ「月化粧×うなぎパイ 大阪・関西万博店」

(株)青木松風庵 × (有)春華堂

大阪・関西万博会場の「未来型チャレンジショップ」

大阪・関西万博会場で、飲食や物販、サービスに関わる新たな技術・社会システム・生活スタイル等を来場者が実際に体験できることを目的とした「未来型チャレンジショップ」として、(一社)夢洲新産業・都市創造機構の幹事会員である(株)青木松風庵と(有)春華堂が同機構の協力のもとに、大阪名物「みるく饅頭月化粧」と静岡名物「うなぎパイ」でお菓子の魅力を発信する店舗を共同出店致しました。多くの方がご来場になる東ゲートから歩いて5分の好立地で(マレーシアパビリオンの隣)、お客様から「海外パビリオンに囲まれ、楽しい雰囲気が入りやすい」「歩き疲れた時に一息つけて嬉しい」などのお声を沢山いただきました。

“日本初の機能性表示食品”のお菓子や「WAGURI」ブランドのお菓子

未来の「食」や「くらし」を体感、実感できる新メニューへの挑戦、持続可能性に配慮した国産食材を使用した食品や、健康と福祉を促進するウェルビーイングな取り組みなどをコンセプトとする「未来型チャレンジショップ」として、「月化粧 × うなぎパイ 大阪・関西万博店」では、未来型の“日本初の機能性表示食品”の「金の月化粧」や「WAGURI」ブランドの和栗のお菓子も提供致し、ご好評をいただきました。

古往今来、国や民族を超えお菓子は人々に好まれ、笑顔と素敵な時間をもたらしてきました。

日本のお菓子の美味しさと素晴らしさを日本国内だけでなく世界各国の人々に伝え、お菓子が持つ「人を笑顔にする力」で世界中の人々を幸せにしたいという思いを多くのお客様にお伝えすることができたと感じております。

月化粧 (株)青木松風庵

月化粧キッチンカーでは「焼きたて月化粧」「大阪名物ミックスジュース」「伊右衛門グリーンティー」をご提供しました。“焼きたて月化粧”は話題となり、多くのお客様にお買い上げいただきました。

また未来型のお菓子として“日本初の機能性表示食品のお饅頭”である「金の月化粧」や、巨大ガチャでのお菓子とグッズの販売を行いました。



うなぎパイ (有)春華堂

うなぎパイキッチンカーではうなぎパイを練りこんだ「うなぎパイジェラート」「WAGURI 能登 マラサダまるーん」「茶霞ラテ」「茶霞」をご提供しました。掛川栗をはじめとして日本各地の和栗の魅力を発信し「WAGURI」ブランドの創設を目指す遠州・和栗プロジェクト。その一環と石川県能登地区の名産品である能登栗の栽培農家松尾栗園の栗を使用した熟成能登栗の実演と販売も行いました。



M
04

8/25 MON 9/17 WED・26 FRI 10/10 FRI 10:00-16:00
次世代リーダー育成事業「事業企画スペシャリスト養成講座2025」

会場 | 大阪大学中之島センター

持続可能性への意識の高まり、多様性やガバナンスなど新たな社会規範の登場、戦後の平和を支え続けた国際レジームの綻びなど、いま社会のパラダイムが大きく変化し始めています。こうした中で新たな未来を切り拓いていくためには、過去に学び未来を予測する思考力と、他者に共感を与え行動を促す表現力を備えた「企画力」が重要となります。大阪・関西万博をSDGs+ beyond への飛躍の機会にし、事業企画のスペシャリストとして社会を動かすことのできる若手人材を育成するために、これまで3回にわたり開催した本講座の4回目となる「事業企画スペシャリスト養成講座2025」を開講しました。

8月～10月の計4日間、各界のトップクラスの石川勝先生、河森正治先生、瀧渦伸次先生、大崎洋先生を講師としてお招きし、塾長でもある石川勝先生から全4回直々に企画のワークショップをご指導いただく、他にはない貴重な研修を行いました。

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 後援 | (一社) 関西経済同友会

協賛 | (株)青木松風庵 / サラヤ(株) / サントリーホールディングス(株) (一社) 滋慶学園グループ / (有) 春華堂 / (株) 竹中工務店 (株) 丹青社 / 阪急阪神ホールディングス(株) / まねき食品(株) (株)ミライト・ワン / ロート製薬(株)

会場 | 大阪大学中之島センター

次世代リーダー育成事業
「事業企画スペシャリスト養成講座2025」
—いのち輝く Beyond SDGs KANSAI ~ 大阪・関西万博後に向けて—

各界のトップ講師による
若手人材の企画力育成を目的とした貴重な講座です

持続可能性への意識の高まり、多様性やガバナンスなど新たな社会規範の登場、戦後の平和を支え続けた国際レジームの綻びなど、いま社会のパラダイムが大きく変化し始めています。こうした中で新たな未来を切り拓いていくためには、過去に学び未来を予測する思考力と、他者に共感を与え行動を促す表現力を備えた「企画力」が重要となります。大阪・関西万博をSDGs+ beyond への飛躍の機会にし、事業企画のスペシャリストとして社会を動かすことのできる若手人材を育成するために、これまで3回にわたり開催した本講座の4回目となる「事業企画スペシャリスト養成講座2025」を開講いたします。

1日目 8月25日(月) 2日目 9月17日(水) 3日目 9月26日(金) 4日目 10月10日(金)

会場 | 大阪大学中之島センター (大阪府北区中之島4丁目3-5-3)

講師: 石川勝氏, 河森正治氏, 瀧渦伸次氏, 大崎洋氏

ご協賛一覧 (後援): 青木松風庵, SARAYA, SUNTORY, 滋慶学園グループ, 春華堂, TAKENAKA, Tanseisha, 阪急阪神ホールディングス株式会社, まねき食品, MIRAIT ONE, ROHTO

主催 | 一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 後援 | 一般社団法人 関西経済同友会

一社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 | 大阪府北区梅田3-4-5毎日新ビル6階 TEL:06-6136-8803
E-mail: info@yueshimakikou.com
株式会社 健康都市デザイン研究所 | 大阪府北区梅田3-4-5毎日新ビル6階 TEL:06-6136-8803
E-mail: info@yueshimakikou.com

講師

【塾長】プランナー / (株)シンク・コミュニケーションズ 代表取締役 / 2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー 石川勝氏
アニメーション監督 / メカニックデザイナー / ビジョンクリエイター / 2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 河森正治氏
NOT A HOTEL(株) 代表取締役 瀧渦伸次氏
大阪・関西万博備事検討会議 共同座長 大崎洋氏

プログラム

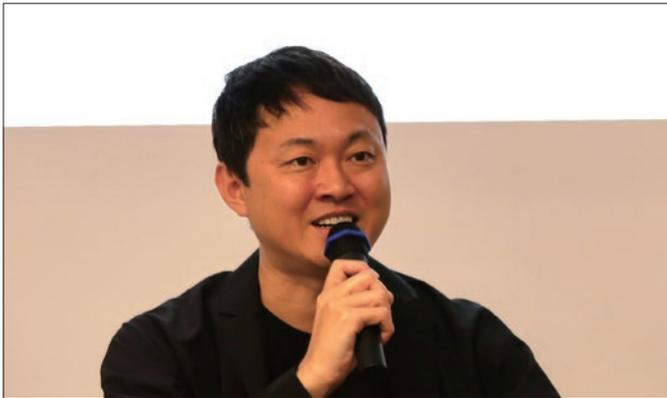
	1日目 8/25 MON	2日目 9/17 WED	3日目 9/26 FRI	4日目 10/10 FRI
10:00	講義 各界トップクラスの専門家や経営者から物事を捉える視点や発想法などを学ぶ			
12:00	塾長 石川勝氏	河森正治氏	瀧渦伸次氏	大崎洋氏
13:00	ワークショップ プランナーとして数多くの実績を持つ石川勝塾長が全4日間ファシリテーターとして直接指導			
16:00				



1日目 8/25 MON | プランナー / (株)シンク・コミュニケーションズ 代表取締役 / 2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー 石川勝氏



2日目 9/17 WED / アニメーション監督/メカニックデザイナー/ビジョンクリエイター
2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 河森 正治氏



3日目 9/26 FRI / NOT A HOTEL (株) 代表取締役 濱渦 伸次氏



4日目 10/10 FRI / 大阪・関西万博催事検討会議 共同座長 大崎 洋氏



会場の模様



会場の模様

特別体験プログラム企画

M
05

9/25 THU

世界遺産 真言宗総本山 東寺 (教王護国寺)

M
06

10/3 FRI

世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺

国宝に囲まれた特別な歴史文化の時空間で、日本文化の精髓と特別な文化体験を提供する本企画は、各国総領事様や経済界、学界、官界のVIPの方々等、国内外の産官学のリーダーをお招きし、日本の伝統と歴史、日本の最高の美と心を世界に向けて発信することを目的として開催しました。

9/25 THU 10:00~14:00 開催

世界遺産 真言宗総本山 東寺 (教王護国寺)

真言宗総本山。延暦13年(794年)桓武天皇の平安京造営に際し、その2年後、国家鎮護のため羅城門の東に創建、弘仁14年(823年)嵯峨天皇より弘法大師空海に下賜されました。講堂(重文)には大日如来、国宝の五大明王など立体曼荼羅21体の仏像、金堂(国宝)には本尊の薬師三尊像(重文)、御影堂(国宝)には弘法大師像(国宝)と不動明王像(国宝)を安置しています。五重塔(国宝)は徳川家光が再建し、高さ55mでわが国最高です。平成6年(1994年)に世界文化遺産に登録されました。



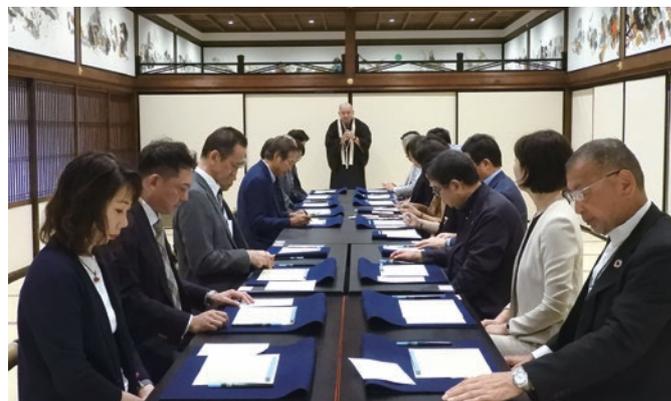
主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構 特別協力 | 世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺)
会場 | 世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺)

プログラム

開会のご挨拶 世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺) 執事長 三浦文良氏 於:客殿
立礼式でのお抹茶、写経(般若心経偈文) 於:客殿
特別拝観 於:金堂・講堂・五重塔等
お能上演(山本能楽堂) 於:小子房
ご昼食・ご歓談・意見交換会 於:客殿



開会ご挨拶



写経



特別拝観



集合写真

10/3 FRI 10:30~14:30 開催

世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺

天台宗の総本山で、延暦7年(788年)伝教大師最澄により開創されました。国宝の本堂根本中堂(一乗止観院)は、京の都の鬼門を護る鎮護国家の道場となっています。比叡山は、東には「天台薬師の池」と詠われた日本一の琵琶湖を眼下に望み、西には古都京都の町並を一望できる景勝の地でもあります。このような美しい自然環境の中で、1200年の歴史と伝統が世界に高い評価を受け、平成6年(1994年)には世界文化遺産に登録されました。



主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構
 特別協力 | 世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺
 会場 | 世界遺産 天台宗総本山 比叡山延暦寺

プログラム

特別拝観	於.根本中堂
特別拝観、和ロウソク坐禅体験	於.大書院
ご昼食・ご歓談・意見交換会	於.延暦寺会館
お念珠づくり体験	於.延暦寺会館



特別拝観



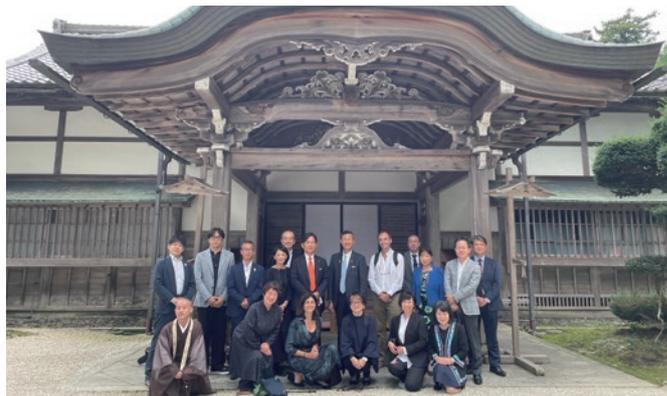
特別拝観



和ロウソク坐禅体験



お念珠づくり体験



集合写真



9/29 MON - 30 TUE スーパーヨットで大阪湾～せとうちを結ぶ社会実証実験

2025年大阪・関西万博会場―瀬戸内国際芸術祭会場を、世界最高峰のスーパーヨットのルートで結ぶ社会実証実験を行いました。かねてより2025年日本国際博覧会とその先の未来社会のあり方の検討を深める中、令和7年度日本博2.0の委託事業を受け、せとうちに眠る日本文化遺産を発掘し、繋ぎ、インバウンド観光客への高付加価値な文化体験提供の検討を進めました。日本では特定の地域に観光客が集中するオーバーツーリズムが社会問題化しており、その解決策の1つとして、首都圏と関西圏を結ぶゴールドルートの他に関西圏～瀬戸内海～九州圏までを結ぶ「西のゴールドルート」を開発、整備し、インバウンド観光に経済効果の大きい富裕層～超富裕層も対象に量から質への転換を図り、それらの圏域を海上ルートで結ぶことで、陸・海・空がシームレスに連携できれば、より日本文化の全世界への発信、観光活性化、地域振興、地方創生に寄与すると考えます。この社会実証実験で岡山、香川、兵庫、大阪の各府県を巡り視察調査で得た知見を基に、歴史、伝統、文化にあふれた瀬戸内海の多島を世界にアピールし、思いを同じくする関係者に対する羅針盤として、瀬戸内の国際的な観光地位向上を目指し、後世へ継承してゆく機運の醸成を図りました。

主 催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

協 力 | (一社)せとうち観光推進機構 / (一社)関西経済同友会 / 広域観光推進委員会(委員長会社: (株)竹中工務店)

企画・実施 | (株)リョービツアーズ (両備HDグループ) / (株)ジーライオン / (株)せとうちクルーズ (常石グループ)

プログラム 1日目 備前焼 茅葺きギャラリー陽山居 (日本の土器文化に通じる伝統を学ぶ) @岡山県
 瀬戸内国際芸術祭作品 ワン・ウェンチー「抱擁・小豆島」鑑賞 @香川県
 ヤマロク醤油 (日本の発酵文化の代表である醤油蔵を訪ね、伝統と革新を学ぶ) @香川県
 意見交換会 オリビアン小豆島 @香川県

2日目 神戸空港第2ターミナル見学 @兵庫県
 大阪・関西万博会場で意見交換会・お食事「アオと夜の虹のパレード」見学 @大阪

今後の展開について

引き続き有志を募り、賛同者を増やしてゆきます。並行して、様々な機会を通じて事業を継続し、瀬戸内海の文化と観光のポテンシャルを感じている多くの方々へのアピールに努めて参ります。また産官学や広域 DMO などとも連携し、瀬戸内海の舟運活性化と地域振興、地方創生に関する様々な支援をして参ります。最終的には関係者でビジネス化を目指し、2030年のMICE/IR開業時には、夢洲～せとうち間で島旅・船旅の魅力を最大化し、新たな体験価値を提供できるよう取り組んで参ります。



新岡山港出港前集合写真



備前焼 茅葺きギャラリー 陽山居 視察



瀬戸内国際芸術祭作品 ワン・ウェンチー「抱擁・小豆島」見学



ヤマロク醤油 視察



船内にて



大阪・関西万博 会場内レストランにて

「世界のせとうち 2025」宣言

1. 関西⇄西日本への大東西軸の形成を目指して西のゴールデンルートの整備を図り、その軸の東端としての関西のいちづけと意味を強く自覚する
2. 自然、歴史、文化、芸術などの魅力にあふれたせとうちの地域創生を果たすため、広域観光と地域産業の好循環形成のため、観光と産業の振興に努め、日本の文化観光の魅力在海外に発信する
3. 特定の地域にインバウンド観光客が集中して起こるオーバーツーリズム問題の解決のため、関西～せとうち～西日本～九州にある地域経済交流活動を一層強化し、瀬戸内海クルーズを大阪湾から楽しめる海域とし、グローバルツーリズム、文化交流に役立てる。特にモダンラグジュアリー層に注目して、様々な体験をサービスすることに努める
4. せとうちに眠る歴史、伝統、カルチャー、観光、食＝ガストロノミ、環境、アドベンチャー、産業などの各資源の再発見と保存、活用に努めて、島に眠っている観光需要の可能性を確かめ、発掘して、それをエデュケイティッド・ツーリストを中心とした富裕層などにアピールするための見せ方や、特別サービスを提供できるコンシェルジュ機能を充実させる
5. 交通について、「西のゴールデンルート」では陸・海・空のシームレスな連携と、特に海上舟運交通の活性化を図り、インバウンド観光客などへのスーパーヨット(=SY)、プライベートジェット、空の次世代モビリティを組み合わせたラグジュアリーで多様な旅の提供を図る
6. せとうち各地域の地域性を生かした開発に努め、エンターテインメント性とレクリエーション性が、居住、労働、交通、産業と融合したゾーンとなるよう努力することで、SYによる舟運が活性化することで世界のせとうちが実現する
7. 大阪湾とせとうちを繋ぐルートとして小豆島～淡路島間が大事であるが、様々な工夫が必要であり、観光客にとっての魅力向上に格段の配慮をする
8. 小豆島、高松、岡山、神戸(スーパーヨット BASE KOBE)、大阪(夢洲北護岸、中之島ゲートなど)、交通結節点となる拠点開発(MICE/IR、5☆ホテルなど)を重点的に働きかけ、またコラボすることも検討しながら、空と海のそれぞれのゲートウェイを大切に、夢洲計画も視野に入れた体験をSYで高付加価値化してゆく
9. 絶えず変化し続けているせとうち地域の実情に合わせ、2034年瀬戸内海国立公園100周年記念～2050年に向けて活動を継続する。特に、せとうちにある日本伝統文化は重要であり、島旅などの貴重な体験を広くPRをすることを通じて、海外、モンゴルなどの在大阪総領事館、世界のマリナーやヨットクラブなどと日本の観光交流に役立てる
10. せとうちのブランドイメージ向上と活性化のために、陸海空それぞれのキャリアが協力、また産官学すべての関係者が一致協力してプラットフォームを創り、この世界のせとうち宣言をビジネスとして立ち上げて、万博で上がった大阪関西のイメージをテコに、さらに新しい国際的ヨットイベントなども利用しながらエリアのブランドイメージを上げ、地方創生のために永く対応する

以上、私たちは瀬戸内海をスーパーヨットで巡ったことを契機に、ここに「世界のせとうち 2025」宣言として広く世界に周知する

2025年9月29日 小豆島にて

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 スーパーヨット社会実験有志

遠北 光彦
アルタイ・エンヘアマガラン
井垣 貴子
ウスビ サコ

ヴォルテール・デラクルス・マウリシオ
加藤 好文
鹿毛 輝雅
北村 豪

田畑 利彦
都司 尚
難波 正人
山谷 佳之

第3回日本国際芸術祭 連携企画

日本国際芸術祭の主旨「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創」にご賛同いただける全国の美術館・博物館・企業、またイベントやお祭りなど、幅広いジャンルの企画を「連携企画」として紹介して参りました。2023年の第1回より毎年募集し、回を重ねるごとに多くの連携をいただき、今回の第3回目は43団体・67企画もの連携先様にご応募いただきました。また今回は京都を中心とした関西圏を飛び出し、北陸・中国・四国地域にもネットワークが広がりました。明年以降の「日本国際芸術祭」でも、個性あふれる様々な団体様や企画と、芸術祭を創り上げて参りたく存じますので、何卒宜しくお申し上げます。※各連携企画のご紹介はお申込み時に支給いただきましたものをそのまま掲載させていただきます。

第3回 日本国際芸術祭 連携企画の一例

画像はイメージです



美術館・博物館 企画展示
アートフェア



体験事業
ツアー・地域発文化・伝統芸能など



音楽イベント
コンサート・ライブ
(リアル/オンライン)



講演・コンテスト

など

L
01

一般財団法人ギルドハウス京菓子



描かれし京菓子

5/17(土)～9/15(月・祝)

会場 | 京菓子資料館

京都府京都市上京区烏丸通上立売上ル柳園子331-2

本企画展では、近代までに絵師や著名画家などによって描かれた京菓子や、源氏物語に因んだ菓子図案を元に創作した工芸菓子などを展示いたします。

また、今回新たに、ジャンルの異なる四名の作家(水墨画、日本画、イラスト、版画)に、四季の京菓子とその菓子から想像される世界を描いていただきます。会期中には四名の作家によるワークショップや講演会も開催されます。

L
02

一般社団法人 Feel&Sense



LIFE® いのち with スーパーキッズオーケストラ

9/27(土)

会場 | 大阪・関西万博 EXPO ホール

「シャインハット」 大阪府大阪市此花区夢洲中

「宇宙といのちの繋がり」を壮大なスケールで体感する ART 映像作品「LIFE® いのち～うまれることを再体験」を、世界的指揮者の佐渡裕氏が指導するスーパーキッズオーケストラによる生演奏による「AWE 体験＝超感動体験」プログラム。美しい純粋な音の旋律と壮大な映像作品が融合することで生まれる、価値観が変わるほどの感動体験をお届けします。

L
06

西陣織あさぎ美術館



浮世絵 北斎と広重を西陣織で魅了する

1/10(金) ~ 6/29(日)

会場 | 西陣織あさぎ美術館

京都府京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町 661
ツカキスクエア 7F

江戸時代に庶民に広く普及した浮世絵は日本が誇る芸術です。浮世絵の名作を極細の糸で絵画のように表現できる「1800口織ジャガード織機」で織り上げた西陣織作品がご覧いただけます。西陣織は、日本最古の伝統産業です。平安の世から、うるわしい日本の美意識をたて糸に、職人たちの匠の技をよこ糸に織り継がれて、多くの人々を魅了しつづけています。

L
07

琵琶湖疏水記念館



常設展示

会場 | 琵琶湖疏水記念館

京都府京都市左京区南禅寺草川町 17

琵琶湖疏水記念館は、琵琶湖疏水竣工100周年を記念して平成元(1989)年8月に開館した施設であり、京都の近代化に果たした琵琶湖疏水の役割やその先駆性などを紹介しています。蹴上インクライン上を舟を載せた台車が行き来していた様子などが分かるミニチュア模型のほか、蹴上・岡崎エリアのジオラマやアーカイブ映像の視聴コーナーなどもあります。

L
08

泉屋博古館



中国青銅器の時代

4/26(土) ~ 8/17(日)

会場 | 泉屋博古館

京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町 24

いまから約三千年前、殷や周といった王朝が栄えた中国古代では、現代でも再現不可能なほどの高度な鑄造技術によって、さまざまな造形の青銅器が生み出されました。泉屋博古館では、世界最高峰とも称される住友コレクションを青銅器館にて展示公開してきましたが、この度、約半世紀ぶりにリニューアル。最新のテクノロジーも駆使しつつ、中国青銅器の魅力をさまざまな角度からご紹介します。

L
09

泉屋博古館



帰ってきた泉屋博古館 いにしへの至宝たち

4/26(土)～6/8(日)

会場 | 泉屋博古館

京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町 24

リニューアルオープンを記念して開催する名品展の第一弾は、住友家伝来の美術品より、仏教美術、絵画・書、茶道具など、日本・中国・朝鮮の美術工芸を精選してご紹介します。いにしえより名高い逸品、時代とともに新たな価値が見いだされた優品は、出会う度に違った表情を見せてくれます。観る人の心に寄り添う不朽の住友コレクション、その奥深さに再び出会うまたとない機会です。

L
10

泉屋博古館



続・帰ってきた泉屋博古館 近代の美術、もうひとつの在り方

6/21(土)～8/3(日)

会場 | 泉屋博古館

京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町 24

近代美術を語るとき欠かせないのが、作家が技巧を尽くして新時代の表現を切り開いた展覧会出品作です。一方で近代美術の別の在り様、来客をもてなしハレの日を彩るため注文された作品からは、当主の美意識に応えようとする作家たちの挑戦をみるすることができます。また、文人趣味の土壌のもと同好の士の交流のなかで生み出された作品など、住友コレクションの近代美術から名品を公開します。

L
11

泉屋博古館



生誕 151 年目の鹿子木孟郎 — 写実絵画の精髓 —

9/27(土)～12/14(日)

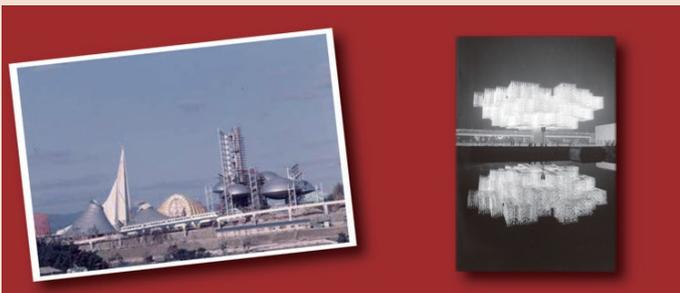
会場 | 泉屋博古館

京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町 24

近代の日本洋画に本格的な写実表現を移植した鹿子木孟郎(1874～1941)の生誕 150 年を記念する特別展。初期の素描から、フランス古典派の巨匠ジャン＝ポール・ローランスに学んだ作品、帰国後の関西美術院などの活動を作品により網羅し、生涯の画業を紹介しつつその功績を再考します。古典派写実表現の系譜とその行方を、鹿子木と師・ローランスの作品を中心に紹介します。

L
12

吹田市立博物館



大阪・関西万博開催記念 令和7年度(2025年度) 春季特別展

戦後日本の博覧会

— 70年万博から55年 —

大阪・関西万博開催記念

令和7年度(2025年度) 春季特別展

「戦後日本の博覧会—70年万博から55年—」

4/26(土)～6/1(日)

会場 | 吹田市立博物館

大阪府吹田市岸部北 4-10-1

大阪万博を含めた万国博覧会や、神戸ポートアイランド博覧会などの地方博覧会に焦点をあて、戦後日本の博覧会がどのように変容したのかを、パンフレットや記念品などを通じて紹介します。多種多様な博覧会を振り返ることで、2025年に開催される大阪・関西万博を考える機会とします。

L
13

お茶と宇治のまち歴史公園茶づな



茶摘み体験

4/13(月)～5月中旬頃

会場 | お茶と宇治のまち歴史公園茶づな

京都府宇治市菟道丸山 203-1

京都宇治駅そばにある昔ながらの茶園の営みの風景を再現した史跡の上にある「修景茶園」で、特別なお茶摘み体験を開催します！さらには、宇治茶をより深く知ることができるミュージアム見学つき！

この期間でしか体験できない茶摘み体験はHPからご予約ください。土日祝限定、なりきり衣装プランも！

L
14

お茶と宇治のまち歴史公園茶づな



茶づなミュージアム

+ 茶臼から抹茶づくり体験

4/12(土)～10/13(月・祝)

会場 | お茶と宇治のまち歴史公園茶づな

京都府宇治市菟道丸山 203-1

お茶や宇治のまちを深く学べるミュージアムチケット付き！目の前に広がる茶畑や宇治の風景を見ながら、ご自身で茶臼を挽き抹茶を作って頂けます！

日本茶インストラクターから指導を頂きながら、『挽く』『点てる』『飲む』の三拍子が揃った抹茶づくりの体験を是非お楽しみください。

L
15

白沙村荘 橋本関雪記念館



The Rite of Spring ~Lavrenty Bruni Exhibition in Kyoto 2025

4/5(土) ~ 5/11(日)

会場 | 白沙村荘 橋本関雪記念館

京都府京都市左京区浄土寺石橋町 37

2016年に白沙村荘で開催した花を主題として描く画家、ラブレンティ・ブルーニの個展を再度開催いたします。ラブレンティ・ブルーニ(1961~)はロシアの現代美術を牽引するアーティストの一人。ブルーニ家はメンドリシオから帝政ロシアに移住して以来、代々画家を排出した名門の系譜。モスクワ大学で絵画の技法を学んだ後、国内外で多くの個展やグループ展を展開しています。

L
16

阪南市役所 未来創生部 まちの活力創造課



空港までの近さを活かし出国直前の 隙間時間を思い出作り & 観光消費へ ラストミニッツまで日本文化に触れ、日本を 遊び尽くす(食べ尽くす)体験造成事業

4月~

インバウンドや関西を訪れる国内旅行者に向け、阪南市内の観光事業者が連携し、観光消費促進と地域経済の活性化を図ることを目的とし、これまで活用できていなかった地域資源の掘り起こしや、既存資源の十分な磨き上げを行い、新たな観光コンテンツ(浪花酒造 酒米おにぎり作り体験・日本酒カクテル作り体験/尾崎別院書道体験・煎茶体験)を造成しました。

L
17

逸翁(いつおう)美術館



2025 展示 II 「四条派ですが、実は—詩情派。呉春」

4/12(土) ~ 6/15(日)

会場 | 逸翁(いつおう)美術館

大阪府池田市栄本町 12-27

四条派の祖、呉春(ごしゅん)の生み出す作品は、蕪村(ぶそん)譲りの叙情性と応挙(おうきょ)に並ぶ写実性とを併せ持つ、豊かな魅力を有しています。本展では、美術史だけでなく文学史からの視点も盛り込んで、詩情豊かな呉春の作品世界を解きほぐします。

L
18

逸翁(いつおう)美術館



2025 展示Ⅲ

「二次元刀剣物語

~浮世絵をのぞいてみたら~」

7/12(土) ~ 9/7(日)

会場 | 逸翁(いつおう)美術館

大阪府池田市栄本町 12-27

人間が持てるとは思えないほど大きな太刀(タチ)や鉞(マサカリ)、波乱万丈の御家騒動を巻き起こす宝刀など、歌舞伎に登場するさまざまな刀剣を浮世絵で紹介。

由緒正しき名刀から不思議な力で暴れまわる妖刀、はたまた名もなき刃まで、お芝居になくはならない刀剣の物語を読み解いてみましょう。

L
19

逸翁(いつおう)美術館



2025 展示Ⅳ

「あの作品に会いたい!

~推しの作品、紹介します~」

9/27(土) ~ 11/30(日)

会場 | 逸翁(いつおう)美術館

大阪府池田市栄本町 12-27

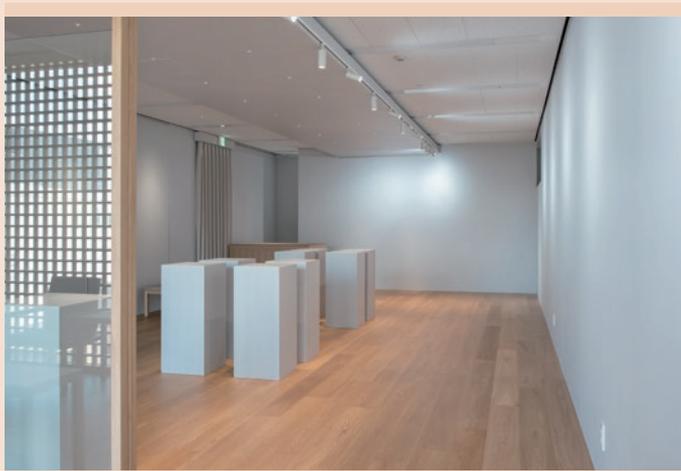
書籍や映像にたびたび登場する豊臣秀吉の肖像。誰もが一度は目にしたことのある、その馴染みの作品の1つを当館が所蔵しています。

本展では、当館が推すこうした名品たちを、イチ押しポイントとともに紹介。

あなたの推しの一品を見つけてみて下さい。

L
20

アートスペース福寿園



新野洋企画展「茶木化蝶」

4/3(木) ~ 6/1(日)

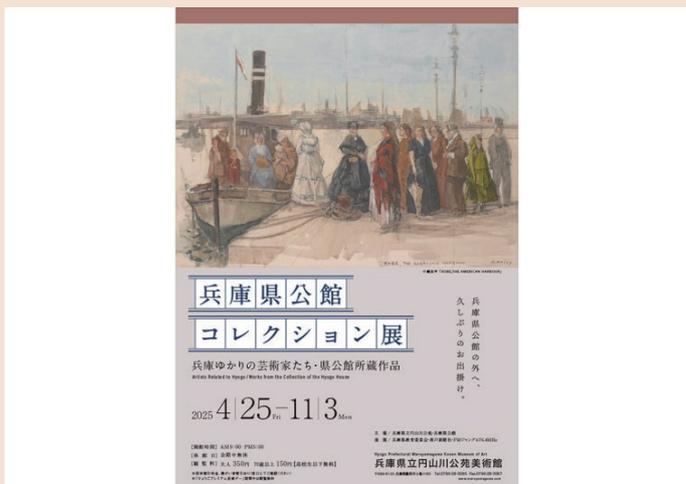
会場 | アートスペース福寿園

京都府京都市下京区四条通富小路角 福寿園京都館
(京都本店)7F

京都の茶の産地として知られる京都府山城南部を拠点とするアーティスト。植物や動物たち、自然が生み出す造形に着目し作品を制作しています。山城の茶花や周辺に生息する生物たちをテーマとしたリアルかつファンタジックともいえる立体造形や、昆虫や植物をモチーフとした生命感が溢れる「いきもの」たちの作品を展示販売いたします。

L
21

兵庫県立円山川公苑美術館



兵庫県公館コレクション展 「兵庫ゆかりの芸術家たち ・県公館所蔵作品」

4/25(金)～11/3(月・祝)

会場 | 兵庫県立円山川公苑美術館

兵庫県豊岡市小島 1163

県政の重要な式典などに利用する“迎賓館”に生まれ変わった「兵庫県公館」が所蔵する芸術作品のうち、昭和を代表する日本画家の東山魁夷、永きにわたり日本の洋画界に大きく貢献した小磯良平をはじめ、伊藤清永、金山平三、横尾忠則など、兵庫県に深くゆかりがある作家たちの日本画・油彩画・版画・彫塑作品などを展示いたします。

L
22

ミジカムジカ



子どもへの思い、女の愛 —シューマンのよろこび—

6/14(土)

会場 | 原田の森ギャラリー別館 401 室
(兵庫県立美術館王子分館)

兵庫県神戸市灘区原田通 3-8-30

丹野桃子プロデュース/シューマンの世界 2。
シューマンのピアノ曲集『子どもの情景』、歌曲集『女の愛と生涯』を、丹野桃子(ピアノ)と大野裕子(ソプラノ)でお送りします。阪神間で音楽活動をつづける2人の女子が描き出すシューマンの愛の世界をお楽しみください。

L
23

黎明教会資料研修館



琳派展 2025

5/3(土・祝)～6/15(日)

会場 | 黎明教会資料研修館

京都府京都市左京区吉田神楽岡町 3-6

本阿弥光悦・俵屋宗達・尾形光琳・尾形乾山を中心とした琳派作家が紡ぎだす書跡・絵画・陶芸・漆芸などの作品を展示します。当館では、美術資料室で管理されていた琳派を中心とする美術資料に加え、教祖・岡田茂吉師(明主様)の書画などを収蔵・公開しています。

L
24

黎明教会資料研修館



ReimeiArt2025 夏季展

7/3(木)～8/18(月)

会場 | 黎明教会資料研修館

京都府京都市左京区吉田神楽岡町 3-6

黎明教会資料研修館は、1983年に黎明教会初代会長・故多田光行が開室した黎明教会美術資料室を前身とし、京都市洛東の吉田山(神楽岡)の地において、3階建の建物で2004年9月に開館しました。季節の図柄を中心に書跡・絵画・彫刻・陶芸・漆芸など幅広い分野から古代～現代までの日本美術の作品を展覧します。

L
25

黎明教会資料研修館



在原業平 - 王朝文化と三十六歌仙

9/4(木)～10/19(日)

会場 | 黎明教会資料研修館

京都府京都市左京区吉田神楽岡町 3-6

今年是在原業平生誕1200年。在原業平に関連した書跡・絵画などを展示します。

本館は、京都府福祉のまちづくり条例に適合し、京都市から国際基準に合った福祉の整備がなされていることを認められた建物です。車イスやベビーカーで自由に観覧いただけるように、スロープ、エレベーター、多目的トイレを設置しております。

L
26

福田美術館・嵯峨嵐山文華館

万博・日本画繚乱 - 北斎、大観、そして翠石 -

7/19(土)～9/28(日)

会場 | 福田美術館・嵯峨嵐山文華館

京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町 3-16 (福田美術館)

万博は、最先端の科学や技術の粋を集めて開催される、世界最大の国際博覧会です。美術が先進的な技術の一つだと考えられていた時代に、日本政府は葛飾北斎などの浮世絵や、現役の画家たちの意欲作を万博に送りました。本展では、55年ぶりに関西で万博が開催されることを記念し、国際的な場に挑んだ画家たちの名品の数々を、福田美術館と嵯峨嵐山文華館の二館共催で展示します。



L
27

大阪大谷大学博物館



改善美 — 美で社会を変革する —

4/2(水)～6/22(日)
会場 | 大阪大谷大学博物館
大阪府富田林市錦織北 3-11-1

国際的に活躍するデザイナーの幾田桃子(株式会社サヴァン CEO)はファッションやアートなど「美」を活用して社会問題を提起してきました。デザインの中に「改善」すべきメッセージを埋め込むことで、社会変革を促そうと様々な取り組みを創出してきました。その軌跡を展示します。人権や平和問題など社会課題に目を向け、その解決の方法について、新たな視点から考える企画展示です。

L
28

京都工芸繊維大学美術工芸資料館



畠山崇の写真2 — 京都を切り撮る —

1/20(月)～5/31(土)
会場 | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

「畠山崇の写真」展シリーズの二回目となる今回は、地元京都を熟知し、京都の工芸の世界、芸事の世界、華道・茶道の世界とも繋がりが深かった畠山が撮影し切り取った京都のさまざまな表情を紹介。京都の代表的な観光地でもある名所旧跡、祇園祭や京町家の情景といった京都ならではのイメージとともに、菓子や料理、日々の道具など京都の暮らしに欠かせないモノたちを切り取った写真を展示する。

L
29

京都工芸繊維大学美術工芸資料館



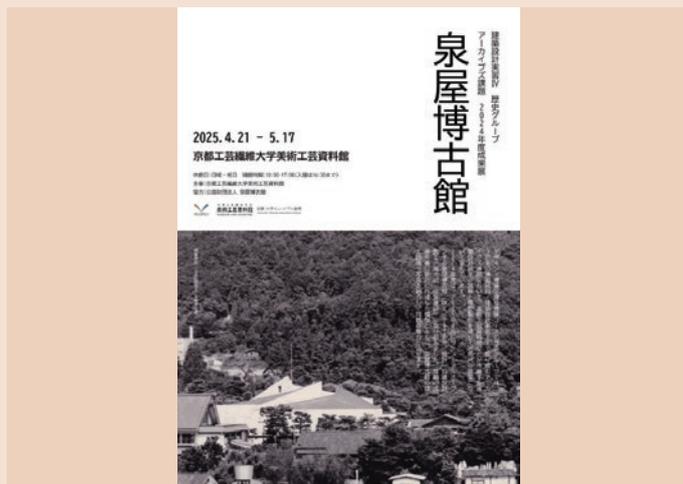
鐔・髪飾りのかたちとデザイン — 新収蔵品を中心に —

3/3(月)～7/12(土)
会場 | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

美術工芸資料館では新たに鐔をはじめとする刀装具約670点と髪飾り約180点を収蔵。本展は、刀装具や髪飾りの一部を公開するとともに、鐔を中心にそのデザイン教材としての可能性を探る。鐔はさまざまなかたちを持ち、戦いのための適切な大きさ・重さといった条件を満たしながらデザインされている。鐔そして髪飾りのかたちとデザインを通して、日本で育まれてきた身に着けるものへ美を追い求める心を学ぶ。

L
30

京都工芸繊維大学美術工芸資料館



建築設計実習Ⅳ 歴史グループ アーカイブズ課題
2024年度成果展：泉屋博古館（竣工：1970年、
設計：日建設計、施工：鴻池組・住友建設）

4/21(月)～5/17(土)

会場 | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

デザイン・建築学課程建築コースの歴史グループでは、3回生の演習科目・建築設計実習Ⅳで取り組むアーカイブズ課題において美術工芸資料館などが所蔵する建築設計図面の読解と模型製作を通して近現代の建築について学ぶ。2024年度は、2025年4月にリニューアルオープンする泉屋博古館に取り組んだ。課題の成果を基に新たに作成した模型とともに、泉屋博古館の竣工図面や写真を紹介し同館の魅力に迫る。

L
31

京都工芸繊維大学美術工芸資料館



建築アーカイブズをひらく Vol.3
— 愛仁建築事務所資料

4/21(月)～5/17(土)

会場 | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

シリーズの第3回は、坂尻一郎が1921年に京都で立ち上げた愛仁建築事務所の資料群を第1回に続いて取り上げる。施主の要望に応じてさまざまに取り組みられた同所の仕事は、メディアを賑わす先端的な建築表現の建物とも、伝統的な建築物とも異なる表現で、京都に暮らすひとびとの日常を彩った。その実態を記録した資料群は、近代京都のまちを理解する重要な手掛かりとなるはず。

L
32

米子市立山陰歴史館



企画展「新米子市ができるまで」

4/27(日)～6/8(日)

会場 | 米子市立山陰歴史館

鳥取県米子市中町20番地

平成17年(2005)3月31日に米子市(鳥取県)と淀江町(当時、鳥取県西伯郡淀江町)が合併し、「新米子市」(現鳥取県米子市)が発足しました。

令和7年(2025)に、「新米子市」発足から20年になることを記念し、米子の合併の歴史や、米子市制が始まった昭和2年(1927)からの米子市の軌跡などを中心に、歴史資料や写真の展示で紹介します。

L
33

菘翁(すうおう)美術館



常設展

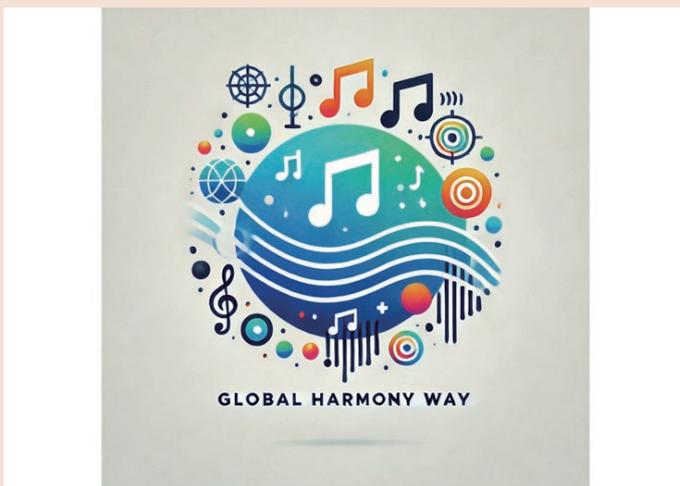
会場 | 菘翁(すうおう)美術館

徳島県徳島市新蔵町 1-46

幕末の三筆のひとり、貫名菘翁(ぬきなすうおう)の書画作品を展示している。貫名菘翁は1778年徳島に生まれ、後に京都で私塾、須静堂を開いた儒学者・画家・書家である。中でも、王羲之・空海の流れを汲むその書は特に評価が高く、空海以来の能筆家とも評されている。菘翁の他、多くの号を持ち、貫名海屋(ぬきなかいおく)としても知られる。

L
34

スケールアウト株式会社



みんなでつくる歌の物語 - Global Harmony Way

8/14(木)

会場 | 万博会場 フューチャーライフビレッジ TE1会場
大阪府大阪市此花区夢洲東1丁目

世界中の人々の演奏や歌声を収録し、それらをつなぎ合わせて一つの楽曲を完成させます。楽曲にはOggy Live Todayの「Get Well」を使用し、最新バージョンは公式ウェブサイト(<https://oggy.net>)で公開しています。音楽を通じたパートナーシップを大切に、社会課題の解決につなげることを目指しています。万博のTeam Expo 共創チャレンジにエントリーしており、8月14日にステージ発表を予定しています。

L
35

高槻市立しろあと歴史館



小さきものの魅力～装いと遊びの工芸品～

3/15(土)～6/1(日)

会場 | 高槻市立しろあと歴史館

大阪府高槻市城内町 1-7

くらしに役立つ携帯用の道具や書物には、使いやすいように小さく作られたものがあります。また、三月や五月の節句人形に添えられた生活道具や武具、お守りの郷土玩具など、日々を彩る小さな工芸品は、時代を超えて愛されています。本展では、小さいことで機能性や魅力を増している装身具や玩具などをしろあと歴史館の収蔵品から紹介します。

L
36

高槻市立今城塚古代歴史館



たかつき発掘—遺跡が語る高槻の歴史—

3/15(土)～6/1(日)

会場 | 高槻市立今城塚古代歴史館

大阪府高槻市郡家新町 48-8

高槻市内には数多くの遺跡が所在し、旧石器時代以来の人々の営みをたどることが可能です。本展では、旧石器時代から近世に至るまで各時代の教科書に載る歴史的な出来事と並行して、高槻の地では何が起こっていたか、遺跡(場所)と、遺された考古資料(モノ)から高槻の歴史を概観します。

L
37

姫路市立美術館



大阪・関西万博記念事業 「高田賢三展 パリに燃ゆ、永遠の革命児」

4/12(土)～7/21(月・祝)

会場 | 姫路市立美術館

兵庫県姫路市本町 68-25

日本人ファッション・デザイナーとしていち早くパリに進出し、斬新なアイデアで常識を打ち破るスタイルを次々と生み出した高田賢三(1939-2020)の没後初の大規模回顧展。パリより借用した衣装作品を含む約100点によりそのファッションの変遷をたどるとともに、絵画や衣装デザイン画等を紹介、日本人デザイナーのパイオニアとして世界で活躍した高田賢三の人物と創作活動を振り返ります。

L
38

洛宙 KANSEI アート展実行委員会



洛宙 久遠～KUON～プロジェクト 「感性・伝統・未来」展

7/14(月)～7/16(水)

会場 | 八竹庵

京都府京都市中京区三条町 340

世界的な文化都市京都で、長きにわたり受け継がれたきた日本文化を通して、日本が誇る伝統美を国内外の多くの人達に体感していただく場とすると同時に、次世代を担う若手作家や職人達の作品を広く世の中へPRすることを目的とした展覧会。オリジナリティー溢れるアート作品と日本の伝統工芸とのコラボレーション。芸術文化と伝統技術を受け継ぐ逸品の数々を展示いたします。

L
39

笹倉鉄平ちいさな絵画館



「シットリ心おちつく絵」展

3/7(金)～5/26(月)

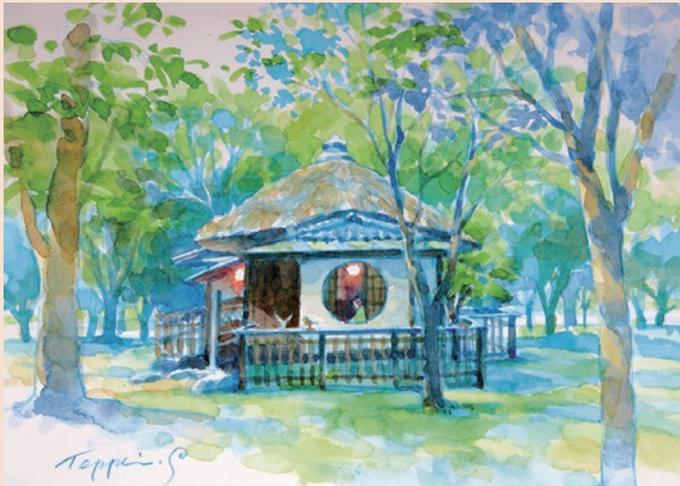
会場 | 笹倉鉄平ちいさな絵画館

兵庫県西宮市能登町 11-17

新聞やテレビ、ネットのニュースサイト等を見れば、政治や経済動向、環境問題だ戦争だ…と幅広い話題がめまぐるしく動き続け、気持ちを翻弄される時間がますます増えていると感じてしまう昨今——時には、心の中に静けさや穏やかさを取り戻したくなるものです。そんな願いを託した作品を選び、展示いたしました。当館でのひと時が、良い気分転換となりましたら幸いです。

L
40

笹倉鉄平ちいさな絵画館



「コンニチワ！日本情緒みつけた」展

6/13(金)～9/1(月)

会場 | 笹倉鉄平ちいさな絵画館

兵庫県西宮市能登町 11-17

四季それぞれに、画家が感じた自然の色合いや日本独自の折々での繊細な味わいを、光の表情の変化を通して、ごらんください。大阪万博が開催され世界の視線が集まる中、日頃忘れがちな“日本の感性”を味わう絵を集めました。絵の中で穏やかで優しい四季に触れ、皆さまそれぞれの中にある思い出や感覚に心遊ばせるひと時となりますように。

L
41

笹倉鉄平ちいさな絵画館



「フンワリ心ときめく絵」展

9/19(金)～12/15(月)

会場 | 笹倉鉄平ちいさな絵画館

兵庫県西宮市能登町 11-17

デザイナー時代に仕事に追われていた頃、たまに絵を見る機会を持てた時には、明るい色彩で、気分も軽くなるような、思わずフツと笑顔になれるような、心地よく癒される作品に、元気をもらっておりました。光や色彩が、優しく、穏やかに、心がフツと浮き立ち軽くなるような情景を楽しみながら、心に抱える日常の憂さを手放して見てください。

L
42

泉佐野市



りんくう EXPO・まるかじり JAPAN

4/12(土)～10/13(月・祝)の土・日・祝日に開催
会場 | りんくうアイスパーク芝生広場
大阪府泉佐野市りんくう往来北 1-23

新聞やテレビ、ネットのニュースサイト等を見れば、政治や経済動向、環境問題だ戦争だ…と幅広い話題がめまぐるしく動き続け、気持ちを翻弄される時間がますます増えていると感じてしまう昨今——時には、心の中に静けさや穏やかさを取り戻したくなるものです。そんな願いを託した作品を選び、展示いたしました。当館でのひと時が、良い気分転換となりましたら幸いです。

L
43

中信美術館



「京都中央信用金庫創立85周年記念 所蔵品展～職員が選ぶ「私の推し！」～」

4/4(金)～5/16(金)
会場 | 中信美術館
京都市上京区下立売通油小路東入西大路町 136-3

京都中央信用金庫創立85周年を記念し、当金庫が所蔵する優れた美術品の数々を展覧いたします。
本展では、職員自らが「推し」の一品を選出、作品に対するそれぞれの「推しポイント」ともにご紹介します。多様な見方や楽しみ方に触れることで、新しい発見と感動が広がる鑑賞体験をお楽しみください。

L
44

帝塚山大学附属博物館



常設展示

会場 | 帝塚山大学附属博物館
奈良県奈良市帝塚山 7-1-1

博物館では開館10年を迎え、平成26年度に常設展示をリニューアルしました。「瓦の来た道～東アジアの瓦の歴史～」と題する常設展示の中心となるのは東アジア各地域の古瓦です。常設展示は当館が所蔵する中国、朝鮮半島、日本の古瓦を地域ごと時代順にならべています。展示を通じて、三千年をさかのぼる東アジアの瓦の歴史や古瓦の魅力をご堪能していただければ幸いです。

L
45

帝塚山大学附属博物館



第44回特別展示「古瓦との出会いⅦ ～朝鮮半島・高麗の古瓦～」

5/24(土)～7/26(土)

会場 | 帝塚山大学附属博物館

奈良県奈良市帝塚山 7-1-1

今回の特別展示は「古瓦との出会い」シリーズの第7回目として、本学が所蔵する朝鮮半島高麗時代(918～1392年)の古瓦を厳選して展示します。この機会に、平安時代の瓦や琉球の瓦にも大きな影響を与えた高麗の古瓦の美と技をご覧ください。

L
46

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館



市民大学講座

5/10(土)～7/26(土)

会場 | 帝塚山大学東生駒キャンパス 1301 教室

奈良県奈良市帝塚山 7-1-1

この講座は、普及活動の一環として一般市民を対象に開催している講座です。帝塚山大学は地域社会への「教育研究成果の還元」を目的として、また広く社会に開かれた大学として、学びたいという意欲を持った社会人や地域の方々を対象としたさまざまな生涯学習の機会を用意しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

L
47

酒ミュージアム (白鹿記念酒造博物館)



令和7年春季展 笹部さくらコレクション「桜歌爛漫」

3/19(水)～5/26(月)

会場 | 酒ミュージアム (白鹿記念酒造博物館)

兵庫県西宮市鞆掛町 8-21

古来より桜と文学の間には深い結びつきがあり、桜を題材とした作品が数多く作られてきました。日本古来の山桜・里桜保護に努めてきた笹部新太郎氏は、桜に関する美術工芸品を収集していました。掛軸や短冊、陶磁器などその形態は多岐にわたります。今回は笹部氏のコレクションから、桜と歌に関する作品を中心に展覧いたします。桜と共に花開く、情趣豊かな詩歌の世界をお楽しみください。

桜部玉緒「名桜五種図」西宮市笹部さくらコレクションより

L
48

日本玩具博物館



日本の節句飾り ～正月の玩具と節句の人形飾り

4/19(土)～10/19(日)

会場 | 日本玩具博物館 6号館西室

兵庫県姫路市香寺町中仁野 671-3

中国から日本に伝わった節句行事は歴史を経る中で、農耕儀礼や祖霊信仰、人形を愛する文化などと混交し、また節句に子どもの成長と幸福を祈るという日本独自の性格をプラスすることで、他のアジア諸国には例をみない節句文化を発展させてきました。本展では、「正月」と他の節句に登場する飾り物の中から、「正月」「上巳」「端午」「七夕」を取り上げ、それぞれの行事を代表する人形や玩具を展示する。

L
49

日本玩具博物館



子どもの晴れ着 ～祝い着にみる招福のデザイン

4/19(土)～10/19(日)

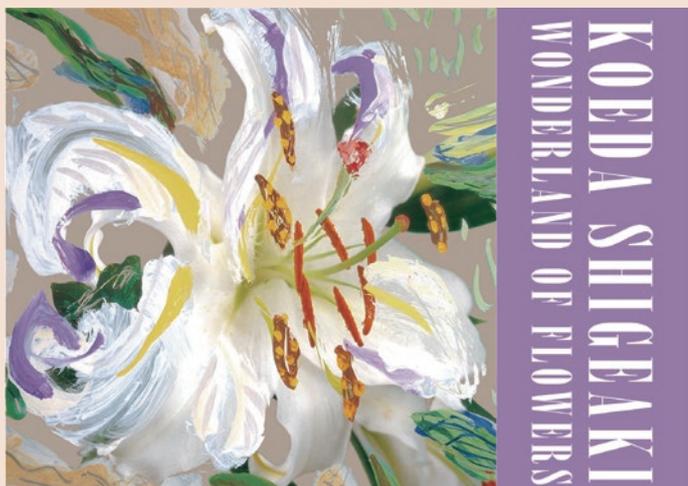
会場 | 日本玩具博物館 6号館東室

兵庫県姫路市香寺町中仁野 671-3

晴れ(ハレ)の日を祝い、子どもたちの健やかな成長と幸福を願って仕立てられた明治時代の子どもの晴れ着(祝い着)と明治・大正時代のちりめん細工作品を合わせてご紹介します。晴れ着に用いられたデザインや細部にほどこされた魔よけの造形を通して、子どもの成長と幸福を願った祖先の心情や日本伝統の美意識にも触れていただければ幸いです。

L
50

西脇市岡之山美術館



「小枝繁昭－花のワンダーランド」展

4/13(日)～6/22(日)

会場 | 西脇市岡之山美術館

兵庫県西脇市上比延町 345-1

小枝繁昭(1953年～)は、何気ない日常や自然との交感をもとに、四季の花々の繊細な表情を捉え、写真と絵画が融合した実験的な表現によって国際的に知られる美術家です。本展では、100種の花にちなんだ「花－眼差しのあいだ」シリーズの中から選んだ代表作を紹介するとともに、絵画への傾倒を一層深めて創作を続ける小枝繁昭の多面的な芸術の秘密に迫ります。

L
51

西脇市岡之山美術館



「にしわき横尾忠則コレクションV」展

7/6(日)～10/26(日)

会場 | 西脇市岡之山美術館

兵庫県西脇市上比延町 345-1

「にしわき横尾忠則コレクションV」展は、当館が所蔵する西脇市出身の世界的美術家横尾忠則の作品をシリーズで紹介するものです。2022年に1回目を開催し、今回は5回目の展覧会となります。

当館所蔵の約500点の横尾忠則コレクションの中から、選りすぐったポスターや関連資料を展示します。

また、来場者の方々による恒例の人気投票を実施します。

L
52

鉄斎美術館



蓮月没後150年 鉄斎が敬慕した大田垣蓮月

9/16(火)～10/26(日)

会場 | 鉄斎美術館

兵庫県宝塚市米谷字清シ1

幕末から明治初めの尼僧・歌人・陶芸家として知られる大田垣蓮月。富岡鉄斎は二十歳頃に蓮月と出会い、学僕として身の回りの世話をするなかで、その慈悲深く謙虚な人柄に接し、大きく感化を受けました。本展では蓮月没後150年を記念し、蓮月が和歌を書き、鉄斎が画を描いた合作や鉄斎愛蔵の蓮月焼きに加え、蓮月遺愛の陶芸道具を紹介します。

L
53

赤穂市立美術工芸館 田淵記念館



常設展示 / 季節の茶道具と美術工芸品

会場 | 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館

兵庫県赤穂市御崎 314 番地 10

江戸時代から塩田・塩問屋などを営んできた田淵家より寄贈された美術品・古文書類を保存・展示する施設として、平成9年に開館いたしました。収蔵品は、茶道具・書画・婚礼道具・蹴鞠道具・藩主もてなしの道具など多岐にわたっており、特に茶道具はその数も多く、季節感を取り入れた展示を心がけています。また、郷土に関する美術品をテーマとした特別展等も随時開催しています。

L
54

公益財団法人 山本能楽堂



初心者も楽しめる能公演 とくい能

5/28(水)～2026/3/21(土)

会場 | 山本能楽堂

大阪府大阪市中央区徳井町 1-3-6

芸術の都、大阪から能の魅力を発信。初心者の方や海外の方でも楽しんでいただけるよう能楽体験も盛り込み、厳選した演目を英語または英語字幕付きで上演します。演目の解説から観覧後のアフタートークまで、より理解を深めるためのプログラムをご準備。終演後はご希望の方へ、「能面」「装束」「楽器」の体験を実施。日・英語の司会、解説や字幕、資料有。入場料 5000 円 / 全席自由席

L
55

公益財団法人 山本能楽堂



山本能楽堂 特別開放

6/21(土)～6/29(日)

会場 | 山本能楽堂

大阪府大阪市中央区徳井町 1-3-6

山本能楽堂は先代山本博之が昭和2年に創立し、戦災で一度焼失しましたが、昭和25年に再建し、平成18年に文化審議会により国登録文化財の指定を受けました。扉を開けると周りの喧噪からは想像できない異次元空間が広がっており、初めて来られた方はその独特の雰囲気さに皆様驚かれます。当日はお能や能楽堂の歴史の解説を展示、舞台裏の見学、能面や能装束などの展示や体験もお楽しみいただけます。

L
56

公益財団法人 山本能楽堂



初心者のための上方伝統芸能ナイト

7/20(日)～2026/3/7(土)

会場 | 山本能楽堂

大阪府大阪市中央区徳井町 1-3-6

大阪は能、狂言、文楽、落語、浪曲、講談、上方舞、雅楽、女道楽、筑前琵琶など多彩な芸術の都です。初心者の方や海外の方でも楽しんでもらえるように体験も盛り込み、能を含めた4種類の芸能を特別に全て英語または英語字幕付きで上演。各公演により、英語、韓国語、中国語、仏語の司会、解説や字幕、資料有。入場料：5000 円 12/31 大晦日スペシャル：7000 円 / 全席自由席

L
57

中信美術館



松本ヒデオ ディテールの連鎖

7/1(火)～8/16(土)

会場 | 中信美術館

京都市上京区下立売通油小路東入西大路町 136-3

伝統的な素材と技法を駆使しながら、独自のコンセプトと手法でユニークな造形を生み出す陶芸作家 松本ヒデオ氏による展覧会。陶磁が持つディテールの発見が、それを生かす次の作品へと繋がり、創作が続いているという松本氏。

本展では、1990年代から最新作に至る各年代を代表する作品を一堂に展示し、作家が向き合ってきたディテールの「連鎖」を追う。

L
58

福井県立恐竜博物館



特別展「獣脚類 2025 ～『フクイ』から探る恐竜の進化～」

7/11(金)～11/3(月・祝)

会場 | 福井県立恐竜博物館

福井県勝山市村岡町寺尾 51-11 かつやま恐竜の森内

恐竜王国福井で発掘された化石を足がかりに、獣脚類4系統の進化をひもとく展覧会。

近年モロッコで発掘された獣脚類では最大級とされる「スピノサウルス」の新たな化石と、最新の研究成果を反映した14mの全身復元骨格をはじめ、日本初公開の標本を多数展示する予定です。

L
59

NPO 法人ドットジェイピー



未来国会 2025 関西 NPO1 大会

9/6(土)～9/7(日)

会場 | 京都アスニー

京都府京都市中京区聚楽廻松下町 9-2

“日本の未来を創る”大学生世代が、インターンシップでの社会経験を経て、「もし私が日本の総理大臣だったら、30年後の日本をどんな国にしたいか」というテーマで理想の日本像を考え、その理想を実現するために必要な政策と予算を、1から考えて提案する国内最大規模の“政策立案コンテスト”です。

L
60

NPO 法人ドットジェイピー



未来国会 2025 関西 NPO2 大会

9/10(水)

会場 | QUINTBRIDGE

大阪府大阪市都島区東野田町 4 丁目 15 番 82 号

“日本の未来を創る”大学生世代が、インターンシップでの社会経験を経て、「もし私が日本の総理大臣だったら、30年後の日本をどんな国にしたいか」というテーマで理想の日本像を考え、その理想を実現するために必要な政策と予算を、1 から考えて提案する国内最大規模の“政策立案コンテスト”です。

L
61

NPO 法人ドットジェイピー



未来国会 2025 関西 NPO3 大会

9/8(月)

会場 | 西宮市市民交流センター

兵庫県西宮市高松町 20 番 20 号

“日本の未来を創る”大学生世代が、インターンシップでの社会経験を経て、「もし私が日本の総理大臣だったら、30年後の日本をどんな国にしたいか」というテーマで理想の日本像を考え、その理想を実現するために必要な政策と予算を、1 から考えて提案する国内最大規模の“政策立案コンテスト”です。

L
62

NPO 法人ドットジェイピー



未来国会 2025 京都大会

9/6(土) ~ 9/7(日)

会場 | ひと・まち交流館 京都

京都府京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1

“日本の未来を創る”大学生世代が、インターンシップでの社会経験を経て、「もし私が日本の総理大臣だったら、30年後の日本をどんな国にしたいか」というテーマで理想の日本像を考え、その理想を実現するために必要な政策と予算を、1 から考えて提案する国内最大規模の“政策立案コンテスト”です。

L
63

NPO 法人ドットジェイピー



未来国会 2025 大阪大会

9/13(土)～9/14(日)

会場 | 茨木市市民総合センター

大阪府茨木市駅前三丁目8番13号

“日本の未来を創る”大学生世代が、インターンシップでの社会経験を経て、「もし私が日本の総理大臣だったら、30年後の日本をどんな国にしたいか」というテーマで理想の日本像を考え、その理想を実現するために必要な政策と予算を、1から考えて提案する国内最大規模の“政策立案コンテスト”です。

L
64

京都: Re-Search 実行委員会



Kaico — 参加型アートプロジェクト — 『音気楽団 (おんきがくだん)』 — 機(はた)の妖精にきく —

10/5(日)

会場 | 実相寺、吉村家別荘桜山荘ほか

ワークショップ「はたおと・さぐり」参加者と講師のサウンドアーティスト・鈴木昭男氏によるパフォーマンスを日本遺産「丹後ちりめん回廊」にまつわる4会場で開催します。各会場、どなたでも観覧可能です。ぜひ機(はた)の妖精が奏でる音との出会いにお越しください。併せて、全4会場のパフォーマンスを丹後半島の風景とともに楽しめる鑑賞バスを運行します。

L
65

京都市



ニュイ・ブランシュ KYOTO in Residence

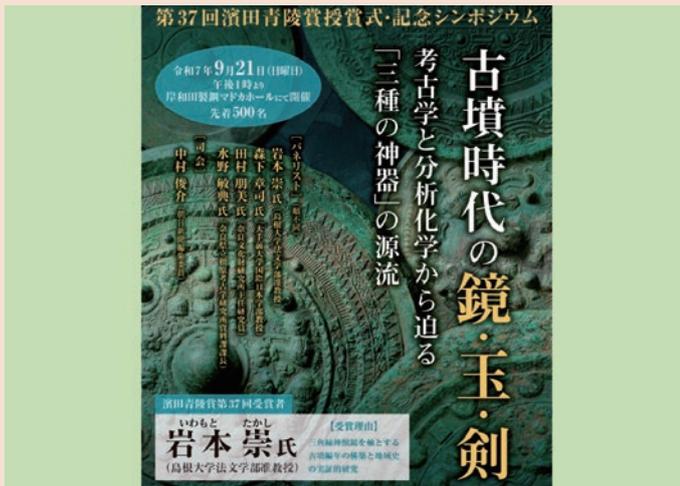
9/27(土)～10/4(土)

会場 | 関西日仏学館、ヴィラ九条山、京都駅ビル、マガザンキョウト、他、市内各所

ニュイ・ブランシュ KYOTO は、京都で開催される国際的なアートフェスティバルです。「ニュイ・ブランシュ KYOTO in Residence」では、選り抜きのフランスのアーティストやクリエイターが京都で1か月間の滞在制作を行い作品を発表します。会期中は参加会場が一般公開され、革新的で国際的な創造の舞台となっているユニークな場所を皆様にご覧いただけます。

L
66

岸和田市



第37回 濱田青陵賞授賞式・記念シンポジウム

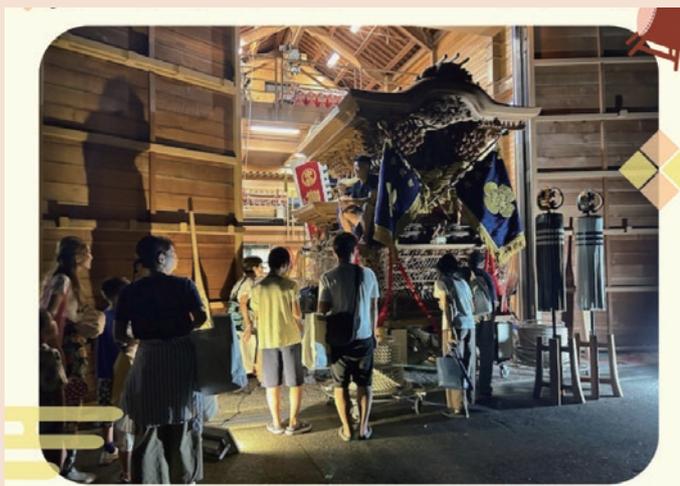
9/21(日)

会場 | 岸和田製鋼マドカホール (岸和田市立文化会館)
大阪府岸和田市荒木町1丁目17-1

濱田青陵賞は、我が国考古学の先駆者として偉大な功績を残され、多くの後進を育成された濱田耕作(号 青陵)博士没後50年にあたる1988年に「岸和田市文化賞条例」に基づき、岸和田市と朝日新聞社が創設しました。博士の業績を称えるとともに、我が国考古学の振興に寄与する目的で、業績のあった新進の研究者や団体を広く選考し表彰するものです。

L
67

岸和田市



きしわだ地車小屋めぐりウォーク 2025

8/29(金) 8/30(土) 8/31(日) 9/5(金) 9/6(土)

会場 | 岸和田市内各所

だんじり祭直前！活気づく岸和田のまち。「だんじり小屋」を、岸和田ボランティアガイドと一緒にめぐり、普段はじっくりと見ることのできない各町のだんじりを見学。だんじりの説明は、そのだんじりを最も愛する各町の方々にしていただけます。さらにまつりに関わる産業のお店もまわります。まつり直前の雰囲気味わってください。7つのコースごとに違った魅力があふれます。

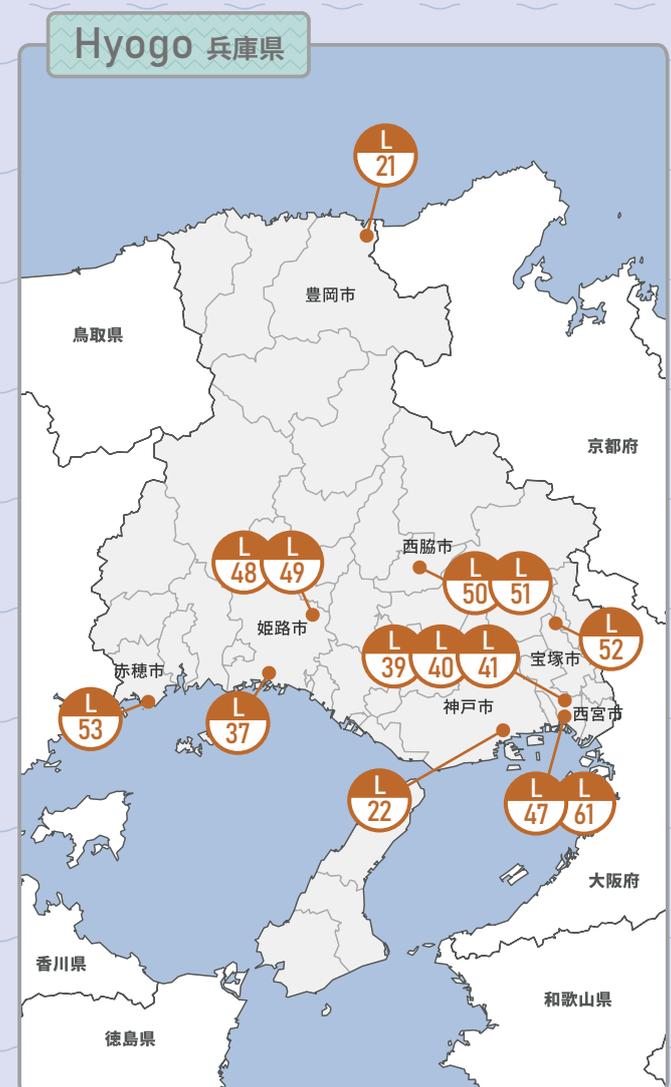
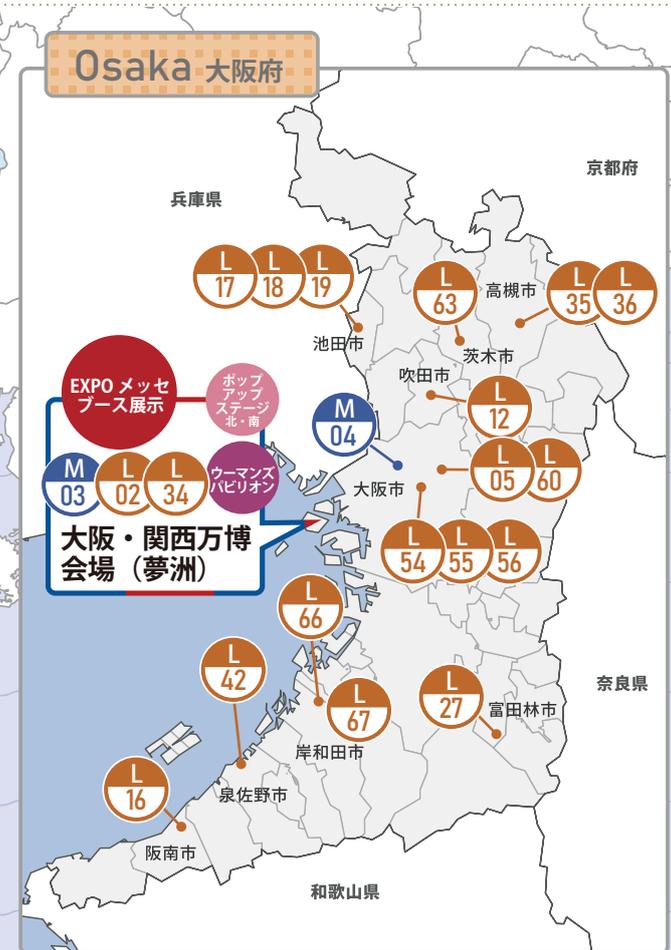
第3回 日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival



第3回日本国際芸術祭
WEBSITE

会場が複数箇所に亘る企画は、代表的な会場のみの記載とさせていただきます。ご了承ください。



第3回 日本国際芸術祭 今後に向けて (ご挨拶)

第3回 日本国際芸術祭 Japan Annual-International Art Festival

第3回日本国際芸術祭では、阪急電鉄(株)様、オムロン(株)様、岩井コスモ証券(株)様、(株)竹中工務店様、(株)長谷工コーポレーション様、(株)ユニオン様のご協賛を賜り、京都府様、京都市様、経済産業省近畿経済産業局様、(一社)関西経済同友会様、「大阪・関西万博」京都支援協議会様、大阪商工会議所様、(公社)関西経済連合会様、(公社)2025年日本国際博覧会協会様、(一社)関西領事団様、在名古屋カナダ領事館様、中華人民共和国駐大阪総領事館様、在大阪タイ王国総領事館様、駐大阪大韓民国総領事館様、在大阪モンゴル国総領事館様、在大阪・神戸インド総領事館様、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館様、在大阪インドネシア共和国総領事館様、在大阪フィリピン共和国総領事館様、オランダ王国大使館様、在大阪スイス領事館様、イタリア文化会館-大阪様、在大阪ハンガリー領事館様、在大阪・神戸米国総領事館様、英国総領事館様、在京都フランス総領事館様のご後援を賜りました。さらに世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺様、世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺)様、本山修験宗総本山 聖護院門跡様、臨済宗建仁寺派 大本山 建仁寺様、真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺様、世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺(西本願寺)様、世界遺産 天台宗総本山 比叡山 延暦寺様より特別協力を賜り、2025年日本国際博覧会と同時期にあたる4/13～10/13の6か月間の会期で開催させて頂くことができました。

これもひとえに皆様のご支援あってのことで、厚く御礼申し上げます。

特に、ジャパンデーを含む7/2～7/6の会期で、大阪・関西万博会場のEXPO メッセ「WASSE」で開催しました「第3回・日本国際芸術祭 / 大阪・関西万博展」では、産学公54団体の皆様にご協力を頂き、計5日間の会期で延べ5万人以上のご来場者に向け、日本が誇る芸術や文化、テクノロジーやプロダクトを発信することができました。更に「公式参加国共創サミット」「日本国際芸術祭サミット」を一昨年の「第1回」、昨年の「第2回」に続き、世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺(西本願寺)様にて開催でき、こちらもこれまで以上のご参加者をお迎えすることができました。「連携企画」に関しても43団体・67企画と多くの連携を頂き、芸術祭を華やかに彩って下さいました。回を追うごとに多くの方々からご賛同を頂き、日本国際芸術祭が標榜する「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創」の輪が幾重にも拡がりゆくことに感謝申し上げます。「日本の美と心を世界に伝え、未来を創る」ミッションを実現するべく、第4回日本国際芸術祭につきましても、ご協賛、ご後援など、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

2025年10月

(一社)夢洲新産業・都市創造機構 代表理事 井垣貴子



一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構

事務局  株式会社健康都市デザイン研究所

大阪市北区梅田3-4-5毎日新聞ビル8階 TEL:06-6136-8803 E-mail: info@yumeshimakikou.com
(機構HP) <https://yumeshimakikou.org/> (事務局HP) <https://www.kenkotoshi.com/> 夢洲新産業・都市創造機構 ホームページ▶

